

山本頼輔著

岡山縣地理

發行所 吉田書房



卷之六

岡山縣地理序

岡山縣地理序

高ニ登ルハ必ス卑ヨリシ遠ニ行クハ必ス邇ヨリ
ス是レ學ヲ修ムルノ訣而シテ郷土地理ノ要是ニ
於テカ在ル從來本縣地理書ノ梓ニ上レルモノ三
數ナキニアラサルモ皆是レ小學課程ノ用タルニ
過キス其師範學校教科書及ヒ小學校教員參考ノ
用ニ資スルニ足ルモノニ至テハ寥々幾ト聞ク希
ナリ予之ヲ憾ムル久シ畏友頼輔山本君地學專攻
茲二年アリ頃者一書ヲ著シ名ケテ岡山縣地理ト

曰フ蓋シ師範學校教科書及ヒ小學校教員參考ノ
 用ニ供センカ爲メナリ書成リ稿本ヲ寄セ序文ヲ
 徴セラル予久シク病褥ニ在リ頭痛涔々細讀ニ勝
 ヘサルヲ以テ書中記スル所何如ヲ詳ニセス故ニ
 一言ヲ贅シテ之ヲ月旦スル能ハス但君ノ嘗テ斯
 學ニ深邃ニシテ文筆ニ巧妙ナル必ス其記事行文
 ノ精確婉麗所謂華實兼有文質彬々卓然トシテ坊
 間利ヲ射ルノ著書ニ逸出スルノ好書ナルハ秋毫
 ノ疑ヲ容レサル所而シテ宿昔ノ憾事此書ノ出ル

ニ依テ消散スルヲ得ヘキハ予ノ固ク信スル所ナ
 リ乃チ病ヲカメ一言ヲ題シテ之ヲ還ス

明治二十八年三月

大村忠二郎識

岡山縣地理叙言

余ノ乏シキヲ岡山縣尋常師範學校ニ承クルヤ常
ニ縣下地理書ノ缺乏ヲ憂フ久シ因ツテ木鐸ノ餘
暇一書ヲ編シテ以テ教授ノ用ニ資セントセシモ
如何ニセン赴任日淺ク縣下三國ノ地茫トシテ未
ダ毫モ知ル所ナシ是ニ於テ同僚佐藤雅之入江勝
胤ノ二氏ニ就キ托スルニ之ガ幫助ヲ仰クヲ以テ
ス二氏ノ懇篤ナル喜ビテコレヲ諾シ爾來主トシ
テ官衙ノ調査ニ關スル諸報告ヲ蒐輯セラレ以テ

人文地理ノ好材料ヲ與ヘラレタリ是ヨリ余ハ主
トシテ自然地理ノ材料ヲ蒐輯スルコトヲ力メタ
リ然ルニ自然地理ニ關スル材料ハ一モ獲ル所ナ
クシテ其ノ完成ヲ期スル望モ今ヤ空シク徒勞ニ
属セントセリ幸ニモ客年八月ニ至リ余ハ地理研
究ノタメニ特ニ縣下三國ノ巡行ヲ命セララル、ニ
至レリ是ニ於テ其宿志ヲ遂クルノ好機會ヲ得タ
ルヲ喜ビ欣然トシテ即日行李ヲ收メテ途ニ上リ
爾來巡行半月備中美作ノ北部ヲ横絶シ高山崇嶺

ヲ攀ヂ大川巨澤ヲ涉リ三國ノ地足跡殆ド偏ク即
千山ニハ大佐山星山櫃山蒜山泉山那岐山ノ絶嶺
ヲ探リ川ニハ高梁朝日吉井ノ源流ヲ究メ傍ラ地
質ノ配置生物ノ分布ヲ觀察シ漸ク所要ノ材料ヲ
蒐輯スルニ至レリ尋テ十月ニ至リ修學旅行ノ舉
アルニ及ビ再ヒ三國ヲ巡行スルノ好機ニ遭遇シ
益精確ノ調査ヲ遂ゲテ茲ニ始メテ大體ノ編成ヲ
見ルニ至レリ然ルニ之ニ副フル所ノ圖畫ニ至リ
テハ一紙半葉モ未ダ獲ル所ナク片翼隻輪ノ嘆ハ

亦是レ余ガ頭腦ヲ懊マシメタリ是ニ於テ余ハ學生影山一雄近藤彌壽太鈴木定一義若準ノ諸氏ニ就キコレガ幫助ヲ請ヒケルモ諸氏ノ懇篤ナル能ク學課ノ繁劇ヲ排シ或ハ圖ヲ製シ或ハ畫ヲ描キ以テ著大ノ贊助ヲ與ヘラレタリ此書ノ出版ヲ今日ニ見ル諸氏ノ功與リテ多キニ居ル其レ諸氏ガ此書ニ與ヘラレタル盡力ハ斯ノ如ク大ナリト雖モ然ルニ余ノ不敏且ツ文字ニ嫻ハザル恐ラクハ諸氏ノ盡力ヲ空シク紙外ニ逸セシメ知ラス識ラ

ズ誤謬ニ陥リタルモノ蓋少ナカラズ其ノ誤謬ノ如キハ其責固ヨリ余ニアリトス況ンヤ僅々二三回ノ探究ヲ以テ縣下三國ノ地理ヲシテ炳然火ヲ見ルガ如ク明カナラシムル如キハ決シテ容易ノ事業ニアラズ其ノ誤謬ノ如キハ固ヨリ期スル所ナリ然レトモコレヲ世ノ著者ガ未タ一回ノ探究ヲ試ミズ一次ノ躋涉ヲ經ズ驚然トシテ能ク書冊ヲ作爲スルモノニ比スレバ其得失果シテ孰與ヤ唯其レ淺學寡聞自ラ揣ラス靦然トシテ進ミテ此

ノ書ノ編述ニ從事セシ所以ノモノハ死馬既ニ買
 ハ、千里ノ馬當ニ至ルベキノ微意アリテ然ルノ
 ミ世ノ讀者幸ニ余ノ微衷ヲ察シ此書ニ與フルニ
 一閱ノ榮ヲ以テセラシム、コトアラバ冀クハ誤謬
 ヲ指摘シテ以テ他日訂正ノ機會ヲ得セシメラレ
 シコトヲ是レ余ノ切望シテ止マザル所ナリ聊本
 書編述ノ始末ヲ畧記シテ以テ叙言ニ代フト爾云

明治二十八年二月二日梅花蕾ヲ破リ柳眼金ヲ舒アルノ朝岡山市西中山
 下ノ僑居ニ於テ

著者識ス

岡山縣地理凡例

一本書は主として尋常師範學校第一學年第一學期間ニ課する本縣地理の教
 案として編纂せりといへども學生が筆記の勞を省かんがためにこれを割
 刷氏ニ命することゝなすべし然れども亦本縣地理を知らんと欲するものゝ
 参考として萬一の裨補あらんことを期す若夫れ其の編纂の體裁に至りて
 は固より従來の地理書と其撰を異にす即ち自然地理と人文地理とを區別
 して成るべく両輪の並行を得せしめ地理學として人生ニ適切の關係を保
 たしめんことを力めたり

一地理學の本領たる既に人生に適切の關係を保たしむるにあれば従つて
 著者の目的とする所も此方針に由らざるべからず故に本書は人文地理の
 篇に於て特に民業物産等の事項を精細に記載することを力めたり然れど
 も固と本書は教科用書と充つるの目的を以て編纂したるものなれば勿論

ノ書ノ編述ニ從事セシ所以ノモノハ死馬既ニ買
 ハ、千里ノ馬當ニ至ルベキノ微意アリテ然ルノ
 ミ世ノ讀者幸ニ余ノ微衷ヲ察シ此書ニ與フルニ
 一閱ノ榮ヲ以テセラル、ゴトアラハ冀クハ誤謬
 ヲ指摘シテ以テ他日訂正ノ機會ヲ得セシメラレ
 シゴトヲ是レ余ノ切望シテ止マザル所ナリ聊本
 書編述ノ始末ヲ畧記シテ以テ叙言ニ代フト爾云

明治二十八年二月二日梅花菴ヲ破、柳眼金ヲ釘アルノ朝岡山市西中山
 下ノ僑居ニ於テ

著者識ス

岡山縣地理凡例

一本書は主として尋常師範學校第一學年第一學期間に課する本縣地理の教
 案として編纂せりといへども學生が筆記の勞を省かんがためにこれを割
 刷氏に命することゝなすぬ然れども亦本縣地理を知らんと欲するものゝ
 參考として萬一の裨補あらんことを期す若夫其の編纂の體裁に至りて
 は固より從來の地理書と其撰を異にし即ち自然地理と人文地理とを區別
 して成るべく兩輪の並行を得せしめ地理學として人生に適切の關係を保
 たしめんことを力めたり

一地理學の本領たる既に人生に適切の關係を保たしむるにあれば従つて
 著者の目的とする所も此方針に由らざるべからず故に本書は人文地理の
 篇に於て特に民業物産等の事項を精細に記載することを力めたり然れど
 も固と本書は教科用書に充つるの目的を以て編纂したるものなれば勿論

大要よ止まらざるを得ず

一地理學なるものは世人の知る如く一の理學なれば徒に目錄的に流れ山嶽河海港灣島嶼の名稱を記憶せしむるか如き恬淡無趣のものにあらず故に本書は力めて此弊を避け成るべく學理を敷説して地理の要義を知らしむることを企てたり然れども未だ著者の意を充たすに足らざるものあり

一本書中一層細字を以て書したる部分は他の部分より比して大なる軒輊あるにあらざる専ら卷帙の輕便を圖りてなり且又本書は數多の圖畫を挿入して言文の足らざることを補ふことを力めたり若し夫れ其の圖畫に至りては縣下修學旅行の際學生諸氏が親しく實地に就て摸寫せる所のものよして一も架定想像のものを用ゐず何となれば地理書の圖畫は即是れ地理の眼目にして徒に讀者の目を歡ばしむる如き稗史小説の挿畫と其趣を異よすればあり

一本書中の諸統計は多く諸官衙の報告書に據るといへども亦其他の参考書に據り或は人の談話に記するものなるとせず而して書中統計の年度を示さざるものは明治二十五年の調査なることを知るべし

一本書中よ記する所の度量衡に關する用例は左に示す如し

里は本邦陸里三十六町なり

湮は海里にして凡十六町九分七厘五毛なり

哩は凡十四町四十五間なり

鎖は一哩の七十八分の一にして凡十一間餘あり

尋は六尺なり

米は三尺三寸なり

耗は一米の千分の一にして三厘三毛あり

馬力は一秒時間よ三萬五千噸(噸は一千六百斤を云ふ)の重を一尺の高よ扛くべき力

と云ふなり

一本書記載の事項中甲は精細に過ぎ乙は疎略に失ふ頗る平衡を失するの嫌あり是れ材料乃不足より出でしもこれにして著者の甚だ遺憾とする所あり由りて更に精細に調査を待ち其れ訂正をなさんことを期せし不幸にして二豎の犯す所となり就摩六旬に彌り遂に健全に復するを得ず今や學期方々に逼り亦如何ともすることを能はず遂にこれを割阿氏に下すの止むを得ざるに至れり讀者幸よこれを諒せよ

明治二十八年三月十五日

著者識す

凡例四

岡山縣地理目次

總叙

- 一、位置 一
- 二、境域 一
- 三、面積 一
- 四、區劃 二

第壹編 自然地理

第壹章 地貌

- 一、地質 三
- (イ) 始原紀 三
- (ロ) 太古紀 三
- (ハ) 中古紀 六
- (ニ) 近古紀 七
- 二、地勢 八
- 三、山嶽 八

第二章 沿海及島嶼

- 一、沿海 一七
- 二、島嶼 一九
- 三、瀬戸 二三
- 四、潮汐 二三

第三章 水誌

- 一、河流 二三
- (イ) 吉井河系 二三
- (ロ) 朝日河系 二六
- (ハ) 高梁河系 二八
- (ニ) 其他ノ諸川 一

(*) 附説	三〇
二、瀑布	三三
三、池沼	三六
四、溝渠	三七
五、鐵泉	三九
(イ) 温泉	二九
(ロ) 冷泉	四二
六、間歇泉	四二
第四章 氣候	四四
一、風位	四五
二、溫度	四六
三、氣壓	四六
四、溫度	四六
五、天氣	五〇
第五章 天産物	五一

一、動物	五一
二、植物	五三
三、礦物	五五
第二編 人文地理	
第一章 政治	五九
一、行政區劃	五九
二、戶數人口	六五
三、財政	六八
四、裁判所	六九
五、警察	七〇
六、監獄	七二
七、兵事	七三
八、衛生	七三
九、教育	七六
(イ) 小學校	七七

(ロ) 縣立學校	七八
八、官立學校	七九
(九) 私立學校	八〇
第二章 宗教	
一、神教及神社	八〇
二、佛教及佛寺	八三
三、三耶蘇教及教會	八七
第三章 都邑	
第一節 朝日川河領ノ都邑	
一、岡山市	八八
(イ) 沿革	九〇
(ロ) 公園	九〇
(ハ) 物産	九三
二、金川	九三
三、福渡	九三

四、弓削	九三
五、落合	九四
六、久世	九四
七、勝山	九四
(イ) 沿革	九四
八、美甘	九五
九、新庄	九五
一〇、湯本	九五
第二節 吉井河領ノ都邑	
一、津山町	九六
(イ) 沿革	九六
二、津山東町	九七
(ロ) 公園	九七
(ハ) 物産	九七
三、二ノ宮	九七

四、坪井	九六
五、吉ヶ原	九八
六、周匝	九八
七、湯郷	九八
八、倉敷	九八
九、勝間田	九八
一〇、真加部	九九
一一、土居	九九
一二、上小原	九九
一三、和氣	九九
一四、三石	九九
一五、澤原	九九
一六、町苅田及輕部	一〇〇
一七、西大寺	一〇〇
一八、金岡	一〇〇

第三節 高粱河領ノ都邑

一、高粱町	一〇〇
(イ)沿革	一〇一
二、新見	一〇二
三、小坂部	一〇二
四、下原	一〇二
(イ)沿革	一〇三
(イ)沿革	一〇三
(イ)物産	一〇三
五、吹屋	一〇三
六、美袋	一〇三
七、總社	一〇三
八、真金	一〇四
九、足守	一〇四
一〇、倉敷	一〇四
一一、撫川	一〇四

第四節 沿海ノ都邑

一二、庭瀬	一〇五
一一、撫川	一〇四
一三、早島	一〇五
一四、妹尾	一〇五
一五、岡田	一〇五
一六、矢掛	一〇五
一七、井原	一〇六
一八、高山	一〇六
一、笠岡	一〇六
二、寄島	一〇七
三、玉島	一〇七
四、呼松	一〇八
五、下津井、吹上、田之浦、	一〇八
六、味野及下村	一〇八
七、田口	一〇八
八、日比	一〇九

第三章 交通

九、胸上	一〇九
一〇、小串	一〇九
一一、郡及八濱	一〇九
一二、鹿忍	一〇九
一三、牛窓	一〇九
一四、虫明	一〇九
一五、片上	一一〇
一六、日生	一一〇
一、道路	一一〇
(イ)西國街道	一一〇
(ロ)四國街道	一一一
(ハ)山陰街道	一一一
(ニ)因幡街道	一一八
(ホ)伯耆街道	一一二
(ヘ)高粱街道	一一二
二、通船	一一三

第四章 各勝

三、鐵道	一三一	一二、古城山	一三四
四、郵便	一三二	一三、桃梨園	一三四
五、電信	一三五	一四、鬼ヶ嶽	一三四
一、鳥帽子岩	一二七	一五、蛇穴	一三五
二、虫明瀬戸	一二八	一六、天神溪	一三五
三、牛窓	一二九	一七、豪溪	一三五
四、兒島	一二九	一八、鷲石	一三六
五、唐琴泊	一三〇	一九、鏡ヶ瀬	一三六
六、芳嵐園	一三一	二〇、松原山	一三六
七、臥龍松	一三一	二一、穴小屋	一三七
八、吉備中山	一三一	二二、高倉山	一三七
九、日間山	一三一	二三、萬歳泉	一三八
一〇、沙美浦	一三一	二四、牧ヶ穴	一三八
一一、白石島	一三三	二五、鐘乳竇	一三八
		二六、鬼窟	一三九

第五章 舊跡

二七、久米皿山	一三九	一一、妙善寺城趾	一四七
二八、二宮松原、宇那提森	一四〇	一二、篠ヶ追城趾	一四七
二九、遊垂山	一四〇	一三、富山城趾	一四八
一、舟坂山及三石城趾	一四一	一四、富山城趾	一四八
二、熊山城趾	一四二	一五、臥龍山城趾	一四八
三、天神山	一四二	一六、虎倉城趾	一四八
四、今木城趾	一四二	一七、藤戸渡	一四九
五、砥石高取山及乙子城趾	一四三	一八、常山城趾	一四九
六、長船及福岡	一四三	一九、福山城趾	一五〇
七、福岡城趾	一四五	二〇、縣守淵	一五〇
八、龍口城趾	一四五	二一、服部山城趾	一五〇
九、關白屋敷	一四七	二二、高松城趾	一五一
一〇、國府舊趾	一四七	二三、新山ノ巨釜	一五一
一一、沼城趾	一四七	二四、淺尾邸趾	一五二
		二五、吉備真備墓	一五二
		二六、猿掛山城趾	一五二

二七、笠岡城趾	一五三
二八、陶山岡壘趾	一五三
二九、高島宮趾	一五三
三〇、鶴首城趾	一五四
三一、紫城趾	一五四
三二、國吉城趾	一五四
三三、山中幸盛墓	一五五
三四、月田城趾	一五六
三五、篠向城趾	一五六
三六、後醍醐帝行在ノ遺跡	一五六
三七、院庄城趾	一五七
三八、升形山城趾	一五七
三九、神樂尾城趾	一五七
四〇、矢筈山城趾	一五八
四一、菩提寺城趾	一五八

四二、鞍懸城趾	一五八
四三、倉敷城趾	一五九
四四、三星城趾	一五九
四五、佐良山城趾	一五九
四六、岩屋城趾	一六〇

第六章 生業及物産

一、農業	一六〇
イ 田圃	一六一
ロ 農産物	一六一
ハ 養蚕	一六三
ニ 牧畜	一六四
二、工業	一六六
イ 製鹽	一六六
ロ 製茶	一六七
ハ 製糖	一六七

第七章 沿革

(ニ) 製絲	一六八
＊ 織物	一六九
ハ 壘表吳坐類	一七〇
ト 陶磁器ノ製造	一七二
チ 製紙	一七三
リ 生蠟漆汁、麥稈紐、製革	一七三
ヌ 醸造及醬油	一七四
ル 其他	一七五
ヲ 附説	一七六
三、漁業	一七七
四、商業	一七九
五、鑛業	一八三
六、樵業	一八四
七、獵業	一八七

卷中挿入圖目次

岡山縣三國全圖	一六九
岡山縣地質分布之圖	一七〇
第四羅城門之圖	一七二
第一羅城門之圖	一七三
岡山縣土地高低及橫断面之圖	一七三
完文年代ニ於ケル備中國海岸地方ノ略圖	一七四
天神瀬戶之圖	一七五
高田川上流之圖	一七六
神場瀑布之圖	一七七
田原堰之圖	一七九
間歌泉之圖	一八三
間歌泉噴出之圖	一八四
雨雪量之圖	一八七
岡山縣植物分布圖	一八七

岡山縣鐵山全圖

沙美海水浴場之圖

岡山藩學校之圖

閑谷學校之圖

國分寺之圖

岡山市街之圖

津山町之圖

高粱町之圖

豪溪天柱石之圖

上水田鐘乳竇之圖

天神山之圖

江島村綾廷社之圖

吹屋銅山之圖

岡山縣地理目次終

廣島縣

兵庫縣

播磨

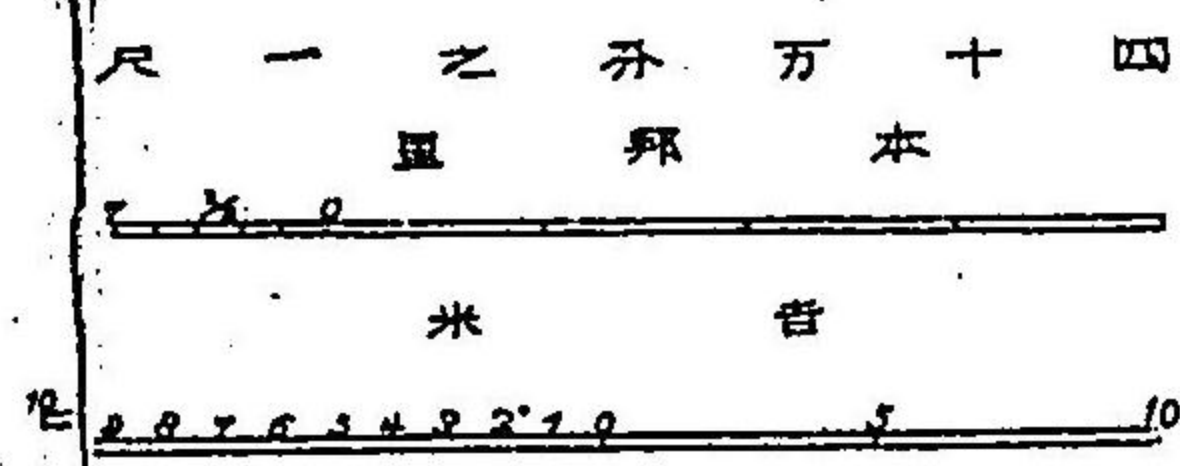
灘

瀬

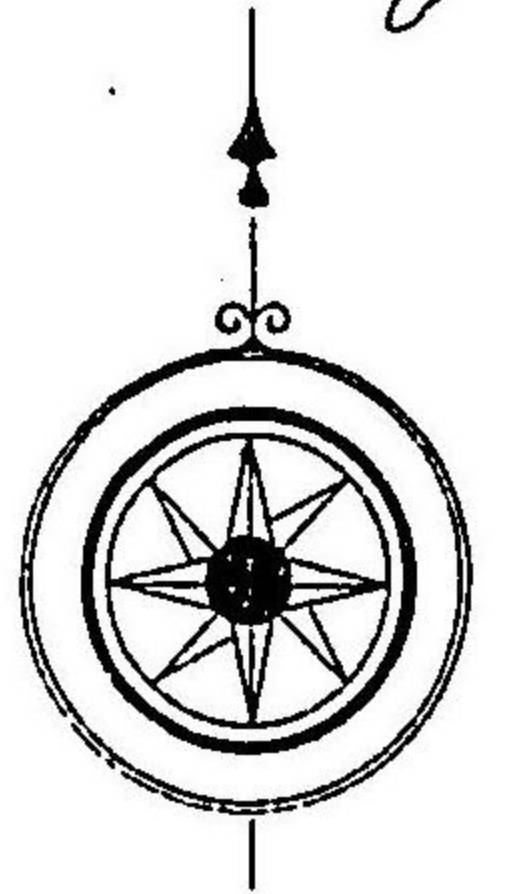
海

縣

川香



例	凡			
二	山	鐵	縣	國
瀑	河	名	道	道
布	流	山	道	道
□	／	／	／	+
旧城跡	郡界	國界	管轄界	家藏地



三度
五分
四分
三分
三分

三度
五分
四分
三分
三分

岡山縣地理

山本頼輔著

總叙



一、岡山縣、備前備中及美作ノ三國ヲ合併シタル名稱ニシテ本邦ノ中央西部

山陽道ノ中部ニ位シ北緯三十四度十八分小田郡ヨリ起リ三十五度二十一分

東經英國緯度ヲ百三十三度十六分智多郡ヨリ百三十四度二十五分

東經ニ至リ經緯度トモニ凡一度ノ間ニ跨レリ東經百三十五度ナル本邦標準時ノ子午線ヲ四二

度四十四分ナルヲ以テ本縣ノ地方時ト標準時トノ差ハ僅々二分二十秒乃至六分五十六秒ニ過キズシテ

而シテ瀨沼都市ノ岡山ハ四分二十秒ナリトス東ハ兵庫縣ノ播磨ニ界シ西ハ廣島縣ノ備後ニ

連リ北ハ鳥取縣ノ因幡及伯耆ニ接シ南ハ瀬戸内海ヲ隔テ、香川縣ノ讚岐

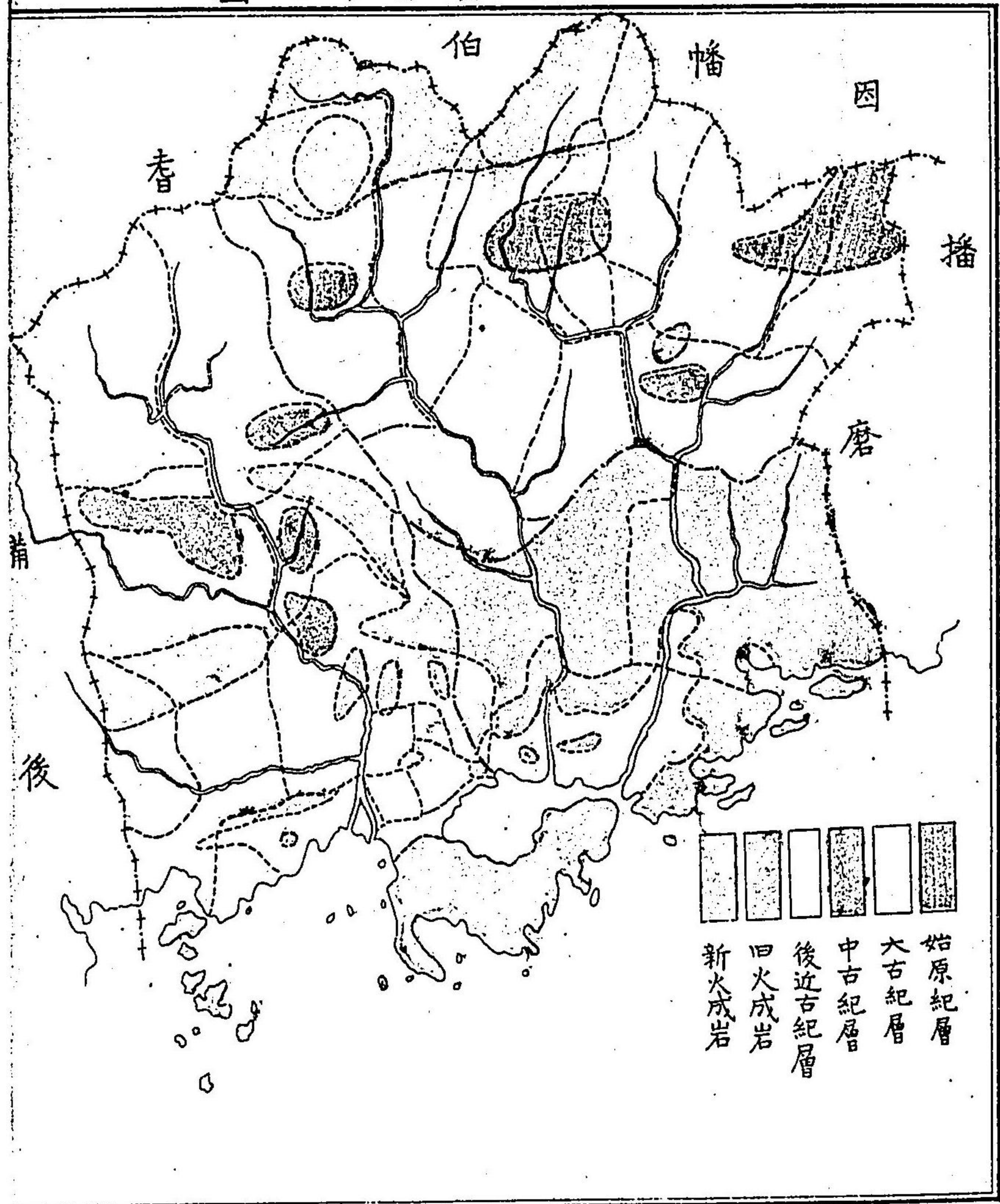
ト相對ス

東西凡二十七里南北凡二十六里周圍百六十七里面積凡四百四十六方里弱

二、境域

三、面積

岡山縣地質分布之圖



ニシテ本邦面積ノ五十六分ノ一ニ當リ而シテ三國中最も大ナルモノハ美作ニシテ凡全面積ノ百分ノ三十九ヲ占メ備前ハ最も小ニシテ百分ノ二十三ニ過キズ

政治上ノ便ニヨリ本縣ヲ小別シテ一市三十一郡トナス而シテ備前ニ屬スルモノハ岡山及御野、津高、赤坂、磐梨、和氣、邑久、上道、兒島、ノ一市八郡トナシ備中ニ屬スルモノハ都宇、窪屋、淺口、小田、後月、下道、賀陽、上房、川上、阿賀、哲多ノ十一郡トシ美作ニ屬スルモノハ眞島、大庭、西々條、西北條、東南條、東北條、勝北、吉野、英田、勝南、久米南條、久米北條ノ十二郡トス

第壹編 自然地理

第壹章 地貌

本縣ノ地貌ハ地學者ノ所謂ル支那山系ノ一鎖ニシテ南日本ノ内帶ニ屬スルガ故ニ地質ノ構造極メテ錯雜シ始原紀、太古紀、中古紀、及ヒ近古紀ノ

一、地質

岡山縣地質分布之圖

(イ) 始原紀

岩石ハ孰レモ其ノ分布ヲ見ル

始原紀ノ岩石ハ中部以北ニ偏在シ備中ニアリテハ後月、川上兩郡ノ境上及ビ阿賀、哲多兩郡ノ南部ニ露出シ美作ニアリテハ大庭郡ノ中部西々條郡ノ南部及ヒ吉野郡ノ東北部ニ露出セリ中ニ就キテ片摩剝岩雲母剝岩ハ其ノ大部ヲ占メ千枚岩ハ唯僅ニ大庭郡ノ中央西部ニ露出スルヲ見ル

(ロ) 太古紀

太古紀ノ岩石ハ其播布最モ廣ク縣下三州大率此ノ紀ノ岩石ヲ以テ其ノ地盤ヲ構成セリ而シテ火成岩(即ち火成岩)ハ南瀬戸内海ノ島嶼ヨリ兒島郡ヲ包ミ邑久郡ノ東端ヨリ和氣磐梨、赤坂、津高四郡ノ地大率ユレニ屬シ延キテ備中ニ亘リ賀陽郡ノ北部ヨリ上房郡ヲ貫キテ阿賀郡ニ達シ其ノ岩石ハ皆花崗岩ニ屬シ最良ノ石材ハ皆此地方ヨリ採掘セラレテ年々土木ノ用ニ供スルモ其幾何ナルヲ知ラズ且又此ノ地方ノ山岳丘陵ハ樹木ニ乏シキガ故ニ水蝕風化ノ作用ヲ感受スルコト頗ル多ク從ツテ分解シテ陶土(Kaolin)及ヒ粘土(clay)トナリ以テ製陶ノ原料ヲ供シ古來製陶ノ業ヲ盛ナラシ

メタルモノ實ニ此ノ地質上ノ賜ナリ水成岩ハ此ノ紀ノ岩石中最モ廣キ面
積ヲ有シ備中及美作ノ南部ハ大率此ノ種ノ岩石ニ屬シ石灰岩、粘板岩、變
岩、砂岩等各處ニ其ノ分布ヲ見ル中ニ就テ石灰岩ハ川上郡ヨリ哲多郡ノ
南部ヲ經テ阿賀郡ノ一半ハ到ルトヨロ此岩石ノ播布セザルナシ而テ此ノ
岩石タル其實疎糙ニシテ水蝕作用ヲ感受シ易キガ故ニ此ノ岩石ノ播布ア
ル地方ニハ往々鐘乳竇ノ存スルヲ見ル即川上郡成羽村羽山ニ穴小屋アリ
阿賀郡豐永村ニ牧穴及同郡上水田村ニ鐘乳竇アリ眞島郡川西村神代ニ鬼
窟アリ就中穴小屋牧穴及ビ鐘乳竇ノ如キハ頗巨大ノモノニシテ竇中數多
ノ石鐘(stalactite)石筍(stalagmite)ヲ有シ最モ奇觀ヲ極ム(是等ノ穴ニ就テハ第二篇政治地
理名勝ノ條ニ至リ再説スベシ)
蓋雨水ハ空氣中ヲ降過スルガ故ニ多少ノ炭酸ヲ含有スルノミナラズ其地
下ニ滲入スルニ及ビテハ幾多ノ有機物ニ接スルガ故ニ益多量ノ炭酸瓦斯
ヲ含有スルニ至ルベシ若シモ是等ノ水ニシテ石灰岩中ニ滲入スルニ至レ
バ其ノ石灰質ヲ分解スルヤ明ナリトス斯ク石灰質ヲ分解セル水ニシテ右

四

ノ如キ洞窟ニ達スルトキハ俄ニ空氣ニ觸レ含有セル炭酸瓦斯ヲ放散スル
ガ故ニ流動シ來レル石灰質ハ今ヤ其ノ舊態ヲ維持スル能ハズ是ニ於テカ
終ニ結晶シテ石鐘ヲ生スルニ至ルベシ然レドモ尙餘剩ノ石灰質アリテ液
體ト共ニ其ノ直下ニ滴落スレバ更ニ石灰ヲ凝固シテ石筍ヲ結成スルニ至
ルベシ蓋石鐘ト謂ヒ石筍ト謂ヒ其ノ構造性質ヲ同フスルモ唯其形成ノ
位置ヲ異ニスルニヨルノミ且又水蝕作用ノ行ハレ易キ石灰岩播布ノ地方
ニハ往々岩石ヲ洞貫セル奇異ノ構造ヲナスモノアリ阿賀郡草間村土橋ニ
アル羅城門(ラシヤウモン)ノ如キハ實ニ縣下ノ奇觀タルモノナリ是レ石灰岩ノ雨水ノ爲
ニ洞貫セラレタルモノニシテ二個ノ石門穹然トシテ山脉ノ中腹ニ起立
セリ一ハ上方ニアリテ一ハ下方ニアリ相距ルユト殆十間共ニ高三四丈上
方ニアルモノハ稍高ク岩上樹木ヲ叢生シ頗ル風致ニ富ム南ニアルモノハ
二個ノ門口ヲ有セリ而シテ一ハ東ヨリ西ニ通シ一ハ其ノ中央ヨリ北ニ開
ク門ノ東面ヲ第一門ト稱シ西面ヲ第二門ト稱シ北面ヲ第三門ト稱シ第四

五

第一羅城門之圖



近藤孫奇太描

等ノ地方ハ太古海底若クハ湖底ニ属セシモ其後造山力(即地球ノ收縮ヨリ起ル自然力ニシテ陸上ノ水成岩ハ皆此ノ作用ナルコトヲ知ルベシ)ノタメニ隆起シタルモノニシテ勝北郡ノ植月村後月郡ノ

山上村上房郡ノ下竹之庄村黒土川上郡ノ落合村福地東北條郡ノ高倉村貝

石大庭郡ノ河内村和氣郡ノ伊部村邑久郡ノ笠加村久米北條郡ノ大井東村

等ノ地ハ皆是等ノ岩石中ニ貝殻ヲ混出スルトイフ而シテ是等ノ貝殻ハ皆

鹹水産ニシテ牡蠣、長辛螺、文蛤等ヲ以テ其ノ重ナルモノトナス唯勝南郡

高取村池ヶ原ニハ淡水産ノ蚌貝、蜆等ノ介殻ヲ産スルアリ蓋此ノ地方ハ

地質時代淡水湖ノ遺蹟ナリシナルベシ

(ニ) 近古紀

近古紀ノ地質ハ火成水成ノ二岩共ニ發育ス火成岩ハ美作ノ一國ニ限り眞

島西々條二郡ノ北部ニ於テ硬質疎面岩ノ分布ヲ見ル而シテ水成岩ハ主ト

シテ沖積紀ノ地層ニ属シ淺口、都宇、窪屋、賀陽、津高、御野、上道、邑久ノ

八郡ハ大率其分布ヲ見ル蓋此地層タル固ト水ノ堆積作用ヨリ成レルガ故

ニ平坦ニシテ豊饒ノ沃野ヲ形成シ縣下繁盛ノ都邑皆此ノ地質上ニ集リタ

等ノ地方ハ太古海底若クハ湖底ニ属セシモ其後造山力(即地球ノ收縮ヨリ起ル自然力ニシテ陸上ノ水成岩ハ皆此ノ作用ニヨリ隆起シタルモノ)ノタメニ隆起シタルモノニシテ勝北郡ノ植月村後月郡ノ

山上村上房郡ノ下竹之庄村黒土川上郡ノ落合村福地東北條郡ノ高倉村貝石大庭郡ノ河内村和氣郡ノ伊部村邑久郡ノ笠加村久米北條郡ノ大井東村等ノ地ハ皆是等ノ岩石中ニ貝殻ヲ混出スルトイフ而シテ是等ノ貝殻ハ皆鹹水産ニシテ牡蠣、長辛螺、文蛤等ヲ以テ其ノ重ナルモノトナス唯勝南郡高取村池ヶ原ニハ淡水産ノ蚌貝、蜆等ノ介殻ヲ産スルアリ蓋此ノ地方ハ地質時代淡水湖ノ遺蹟ナリシナルベシ

(ニ) 近古紀

近古紀ノ地質ハ火成水成ノ二岩共ニ發育ス火成岩ハ美作ノ一國ニ限り眞島西々條二郡ノ北部ニ於テ珉質疎面岩ノ分布ヲ見ル而シテ水成岩ハ主トシテ沖積紀ノ地層ニ属シ淺口、都宇、窪屋、賀陽、津高、御野、上道、邑久ノ八郡ハ大率其分布ヲ見ル蓋此地層タル固ト水ノ堆積作用ヨリ成レルガ故ニ平垣ニシテ豊饒ノ沃野ヲ形成シ縣下繁盛ノ都邑皆此ノ地質上ニ集リタ

二、地勢

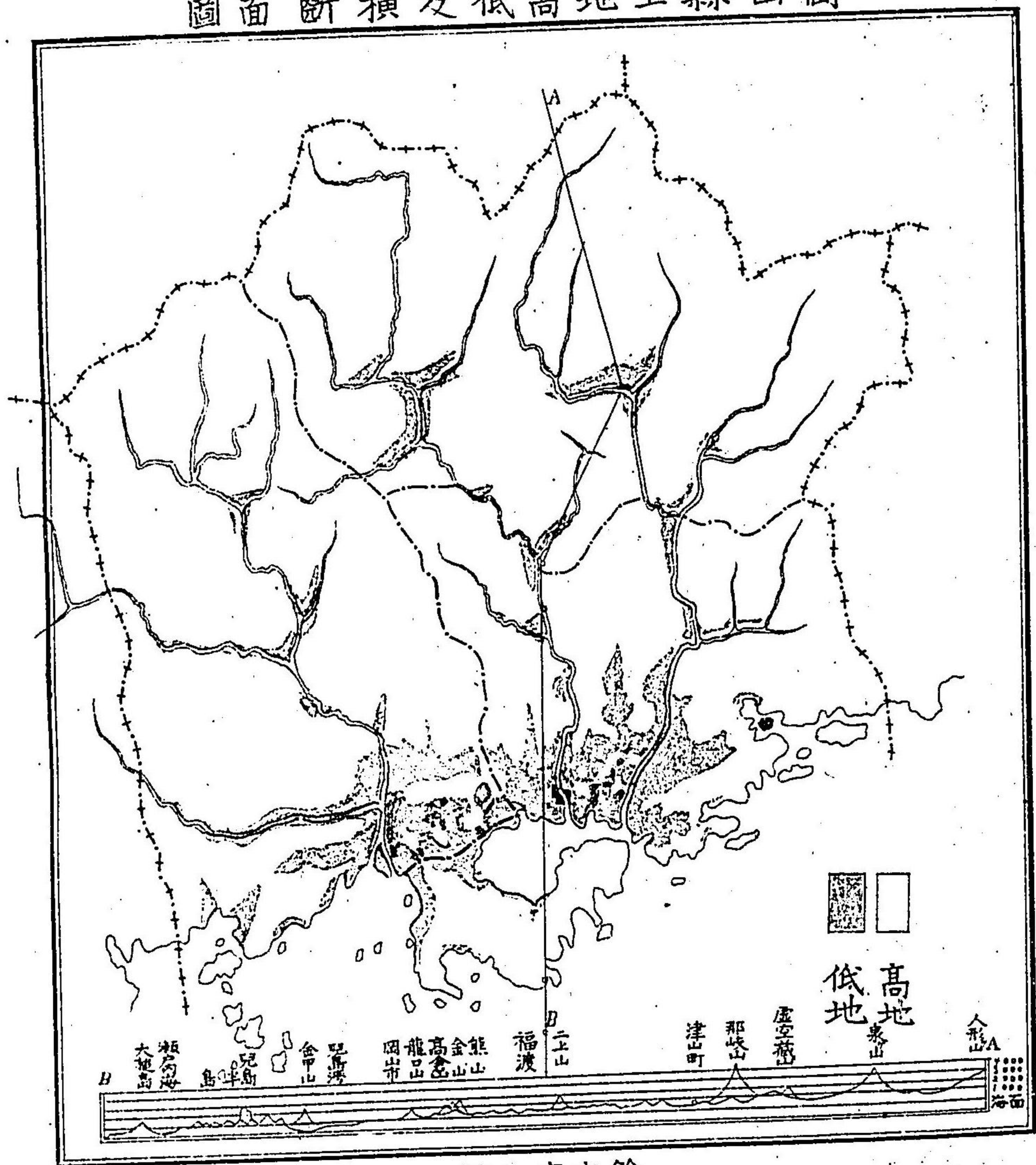
リ亦以テ地質ガ人類ノ繁殖ニ至大ノ關係ヲ有スルヲ知ルベシ、
 本縣ノ北部ハ第二東西派山脈即所謂ル中國山系ノ連亘スル所ニシテ備中及
 ビ美作ノ境上ニハ新舊ノ火成岩挺然トシテ雲表ニ屹立シ縣下最高ノ連
 嶺ヲ築キ其ノ南ニハ水成岩山舊火成岩山蜿蜒起伏シテ漸ク其ノ高度ヲ
 減シ瀬戸沿海ノ地方ニ至リテハ低平豐沃ナル沖積的平原ヲ包有セリ而シ
 テ東方播磨ノ境ト美作備前ノ中部及ヒ備中ノ東方美作備前ノ境ニハ一帯
 ノ分水嶺アリテ縣下ヲ三大谷ニ區分シ吉井朝日及ヒ高梁ノ三大河ハ此ノ
 間ヲ南流シテ瀬戸内海ニ朝宗シ沿涯ノ地ハ大率平坦ニシテ縣下繁盛ノ都
 邑ハ皆位置シ此ノ谿間及平原ニ占メタリ蓋人類ノ繁殖社會ノ發達ハ谿谷
 ト密接ノ關係アルコトヲ知ルベシ

三、山嶽

(イ) 北帶山脈

本縣ノ山嶽ハ地勢ノ有様ト地質ノ種類トニ從ヒ概別シテユレテ三部トナ
 ス第一北帶山脈、第二中帶山脈、第三南帶山脈是ナリ
 北帶山脈ハ其ノ地質新火成岩若クハ舊火成岩ニ屬シ美作ノ北半及ヒ備中

岡山縣土地高地及横断面圖



鈴木一定 描

岡山縣地理正誤

頁數	個	行	所	誤	訂
百〇九	八	六	沼	沼	沼
百〇五	五	八	沼	沼	沼
百〇四	四	六	沼	沼	沼
百〇二	二	三	沼	沼	沼
百〇一	一	四	沼	沼	沼
九十五	五	一	沼	沼	沼
九十三	三	一	沼	沼	沼
八十六	六	七	沼	沼	沼
八十五	五	七	沼	沼	沼
八十三	三	五	沼	沼	沼
七十九	九	五	沼	沼	沼
七十八	八	五	沼	沼	沼
七十六	六	五	沼	沼	沼
七十五	五	五	沼	沼	沼
七十四	四	五	沼	沼	沼
七十三	三	五	沼	沼	沼
七十二	二	五	沼	沼	沼
七十一	一	五	沼	沼	沼
七十	〇	五	沼	沼	沼
六十九	九	五	沼	沼	沼
六十八	八	五	沼	沼	沼
六十七	七	五	沼	沼	沼
六十六	六	五	沼	沼	沼
六十五	五	五	沼	沼	沼
六十四	四	五	沼	沼	沼
六十三	三	五	沼	沼	沼
六十二	二	五	沼	沼	沼
六十一	一	五	沼	沼	沼
六十	〇	五	沼	沼	沼
五十九	九	五	沼	沼	沼
五十八	八	五	沼	沼	沼
五十七	七	五	沼	沼	沼
五十六	六	五	沼	沼	沼
五十五	五	五	沼	沼	沼
五十四	四	五	沼	沼	沼
五十三	三	五	沼	沼	沼
五十二	二	五	沼	沼	沼
五十一	一	五	沼	沼	沼
五十	〇	五	沼	沼	沼
四十九	九	五	沼	沼	沼
四十八	八	五	沼	沼	沼
四十七	七	五	沼	沼	沼
四十六	六	五	沼	沼	沼
四十五	五	五	沼	沼	沼
四十四	四	五	沼	沼	沼
四十三	三	五	沼	沼	沼
四十二	二	五	沼	沼	沼
四十一	一	五	沼	沼	沼
四十	〇	五	沼	沼	沼
三十九	九	五	沼	沼	沼
三十八	八	五	沼	沼	沼
三十七	七	五	沼	沼	沼
三十六	六	五	沼	沼	沼
三十五	五	五	沼	沼	沼
三十四	四	五	沼	沼	沼
三十三	三	五	沼	沼	沼
三十二	二	五	沼	沼	沼
三十一	一	五	沼	沼	沼
三十	〇	五	沼	沼	沼
二十九	九	五	沼	沼	沼
二十八	八	五	沼	沼	沼
二十七	七	五	沼	沼	沼
二十六	六	五	沼	沼	沼
二十五	五	五	沼	沼	沼
二十四	四	五	沼	沼	沼
二十三	三	五	沼	沼	沼
二十二	二	五	沼	沼	沼
二十一	一	五	沼	沼	沼
二十	〇	五	沼	沼	沼
十九	九	五	沼	沼	沼
十八	八	五	沼	沼	沼
十七	七	五	沼	沼	沼
十六	六	五	沼	沼	沼
十五	五	五	沼	沼	沼
十四	四	五	沼	沼	沼
十三	三	五	沼	沼	沼
十二	二	五	沼	沼	沼
十一	一	五	沼	沼	沼
十	〇	五	沼	沼	沼
九	九	五	沼	沼	沼
八	八	五	沼	沼	沼
七	七	五	沼	沼	沼
六	六	五	沼	沼	沼
五	五	五	沼	沼	沼
四	四	五	沼	沼	沼
三	三	五	沼	沼	沼
二	二	五	沼	沼	沼
一	一	五	沼	沼	沼
〇	〇	五	沼	沼	沼

ノ北部ニ隆起セル山彙ニシテ海拔四五千尺以上ニ聳ヘ殊ニ山陰道ノ境界
ノ如キハ最も峻險ヲ極メ最低ノ處モ二千尺ニ降ルコト稀ナリ即チ中國山
系ノ樞軸ニシテ數條ノ支脈是ヨリ南ニ分派シテ美作及ビ備中ノ北半ニ蟄
蛻ス而シテ此帶ニ屬スル諸山ニハ沖山チキヤマ 吉野郡ノ北境ニアリテ因幡ノ智頭郡ニ跨ル
其ノ山脈西ニ赴キテ人坂峠トナル因幡ニ至
ル國道ハ實ニ此處ヲ通過ス人坂峠ノ西ニ佐淵山副山アリ副山ノ脈ハ尙正西ニ連ル
互シテ因幡ト天然ノ境界ヲナシ宇手峠草原峠黒尾峠トナリ以テ那岐山ニ連ル 那岐山ナギヤマ 勝北郡
ニアリ因幡ノ智頭郡ニ跨ル(但那岐山中ノ最高點ハ裏那岐ト)山頂樹木ナク頗ル
ル高五千二百四十九尺(稱シテ政治地理上因幡ニ屬セリ)眺矚ニ富ミ南ハ瀨
戸内海ヲ眺メ北ハ日本海ヲ望ム山脈ノ西南ニ走ルモノコレヲ瀧山トイフ山中瀑布ノア
ルヲ以テ名ツク兩山ノ後背ハ東北條郡ニ接シ老杉古縱霧纏トシテ陰影晝暗シコレヲ津川ノ官林
トナシ 矢筈山ヤサヤ 東北條郡ノ東部ニアリ山脈ノ西ニ赴クモノコレヲ大釋山トイフ矢筈山ノ東ニ當
ス 因幡ノ國境ニ物見峠アリ即物見村ヨリ因幡ノ智頭郡河津原ニ通スル要路トス
黒岩山クロイハ 東北條郡ノ東隅ニアリテ因幡ノ智頭郡ニ跨ル山ノ北麓ニ阿波村ヨリ因幡ノ宇波ニ通ス
ル坂路アリコレヲ堂舖峠トナス此峠ヨリ北ニ當リ又阿波村ヨリ因幡ノ智頭郡江渡村ニ
通スル峻路アリコレヲ險所峠トイフ 臺ヶ山ダイケヤマ 東北條郡ノ北部ニアリ山頂平坦ニシテ殆ト高臺(ト)
フ其ノ名ノ起ル全クコレニヨル 臺ヶ山ダイケヤマ チナス臺ヶ山ノ名アル蓋此ニ基ク山上ニ池
アリ盛夏トイヘドモ其ノ水涸渴セズ農商務省技師巨智部忠承氏ノ說ニヨルニ此ノ山燈火山ニ屬
シ山上ノ小池ハ其ノ噴火孔ノ遺跡ナルベシトイフ臺ヶ山ノ北ニ連ル山ヲ佛香山ト云ヒ佛香山ノ

北ニ連ルモノヲ八本嶺トイフ皆花知山西北條郡ノ北境ニ跨ル樹木ノ鬱蒼タルモノ群嶺中獨此
 高峰ニシテ郡ノ北境ニ聳ヘタリ 花知山 山ヲ推ス此山ノ東ニ角山アリ角山ノ北ニ連ルモノヲ西
 扇山トイフ共ニ高嶺ニシテ而シテ西扇山ハ西々條郡ノ西北條郡ノ境ニアリ山上
 東北條郡ノ境ヲナシ倉見川與津川ノ分水嶺ヲナス黒澤山 虚空藏ヲ祀ルヲ以テ一ニ虚空藏山
 ト云フ高一千九百七十尺其山脈北ニ延クモノハ入道山高島山ト云フ 西々條郡ノ極北ニア
 ナリテ郡境ヲ割シ南ニ赴クモノハ樹形山トナリ神樂尾山ニ連ル 三國山 西々條郡ノ極北ニア
 跨ル山名ノ起ルコトニヨリ泉山 西北條郡ノ境ニ跨ル高峯ニシテ高四千八百二十尺アリ
 高三千三百三十三尺アリ 泉山 山ノ北麓ニ當リ草原アリ大神宮原ト云フ山脈ノ北ニ赴クモ
 ノヲ日浦山ト云ヒ日浦山ノ山腹ヲ通シテ於呂溪ニ沿ヒ越畑村ニ通ツル山路アリ大谷峠ト云フ
 イフ大谷峠ノ北ニ當リ木地山アリ木地山ノ脈ハ花知山ニ連リテ西々條郡ノ境ヲナス 人形
 山 西々條郡ノ北境ニアリ山腰ニ伯耆ニ通ツル要路アリコレヲ人形山峠トイフ人形山峠ノ西南
 ハ一帶ノ高峰峻嶺相連リテ伯耆ノ河村郡ノ境ヲ割ス是等ノ山峽ヲ貫キテ河村郡ノ田代村及
 ヒ大谷村ニ通スル山路アリ田代ニ通スルヲカガヤミ 西々條郡羽出村ノ西ニ聳ユル高嶺ニ
 田代峠ト云ヒ大谷ニ通スルヲ大谷峠トイフ 加佐見山 西々條郡羽出川目木川ノ分水嶺ヲナス 大
 風呂山 西々條郡中谷村ノ西方ニアリテ大庭久米北條ノ二郡ニ跨ル此山ノ東南ニ連ルモノニ
 ノチ槍ヶ山トシ北ニ連ルモノヲ雨ヶ山ト云フ雨ヶ山ハ一ニ中谷富士ノ稱アリ 入道
 山 大庭郡西々條郡ノ境ニアリ此山ノ北ニ連ルモノヲ山乘山トイフ山乘山ノ北ニ又津黒山ア
 リ津黒山ノ北ニ四十曲峠アリ大庭郡中和村眞加子ヨリ伯耆國河村郡福本ニ通スル山路トス
 以上ノ諸山ハ皆大庭郡ノ東北境ニ峙ツ高峰ナリ又入道山ノ西ニ尼子ヶ山アリ尼子ヶ山ノ南ニ霞
 ヶ山アリ山勢頗ル高シ山脈ノ南ニ赴クモノハ大庭郡ノ南部ニ蜿蜒シ其ノ山勢久世ニ至リテ盡ク
 レテ三坂山ト云フ山腹ヲ通シテ久世ヨリ湯ヶ山 大庭郡ノ北境ニアリ伯耆ニ跨ル高三千六百尺
 本ニ通ズル縣道アリコレヲ十國峠ト云フ 蒜山 東ニアルモノヲ下蒜山トシ西ニアルモノヲ上

蒜山トシ中央ニアルモノヲ中蒜山トス蒜山ノ西ニ皆ヶ山 擬寶珠山 鳥ヶ山 等ノ諸山相連リ山
 勢西北ニ赴キテ伯耆ノ大山ニ連ル又別ニ一山ノ是ヨリ分派シテ南ニ蜿蜒スルモノハ三平山トナ
 リ鷲山トナリ岩倉山トナリ延キテ以テ伯耆ノ境ヲナス本郡ヨリ伯耆ニ通スル山路ハ此山脈ヲ横
 絶セリ北ニアルモノヲ香掛峠ト云ヒ上徳山ヨリ伯耆ノ日野郡下岐屋ニ通シ南ニアルモノヲ檜峠
 ト云フ又同郡助澤村ニ通ズ下蒜山ノ南方ハ山勢頗ル低クコレヲ星ヶ山 眞島郡ノ南部ニアリ山脈
 ナ大狹峠ト云フ下長田ヨリ伯耆ノ山口ニ通スル要路トナス 星ヶ山 ノ東ニ赴クモノコレヲ樞
 ケ山トナス共ニ備中美作ノ堺ニアリテ阿賀眞島兩郡ノ境ニ跨ル高三千三百十尺山脈ノ南ニ
 ニ高峯ナリ 硯山 赴クモノヲ千山ト云フ北ニ赴クモノヲ次良三山ト云フ山脈更ニ北ニ延キテ
 四十曲峠トナス即チ眞島郡新庄ヨリ伯耆ノ大佐山 阿賀郡ノ北部刑部村ノ西ニアリ高三千〇二十
 ノ日野郡坂井原ニ通スル國道トナス 大佐山 三尺山頂ノ南方ニ一池アリ周圍四五町盛夏ト
 イヘドモ乾涸スルコトナシ山頂ノ後面ニ往時ハ地獄穴ト稱スル一孔アリシガ今ハ埋没シテ僅ニ
 其形蹟ヲ存セリ此山ノ南方ニ當リ赤瀧山アリ山中長材ニ富ム大佐山ノ北ニ雌山アリ雌山ノ西北
 ニ雄山アリ共ニ阿賀郡ノ北部中央ニ連互シ大佐山ヨリ 新野山 吾多郡ノ東北郡ニアリ此ノ山ノ
 更ニ高シ高梁川ノ上流ト小坂部川トノ分水嶺ヲナス 新野山 南北ニ連ナルモノヲ三井山ト云
 ヒ三井山ノ北ニ連ナルモノヲ石原山ト云フ共ニ吾多郡ノ東北ニ連互シテ高梁川ノ上流ト其支流
 ナル西川トノ分水嶺ヲナス又石原山ノ東北ニ連ルモノヲ明石山ト云ヒ西ニ連ナルモノヲ谷田峠
 ト云フ吾多郡新郷村釜ヨリ伯耆ノ日野郡ニ連ルモノヲ阿賀郡ノ西北隅ニアリテ高四千一百十尺備中
 上石見村ニ至ル縣道ハ此處ヲ通過セリ 三國山 備後及伯耆ノ三國ニ跨ル山名ノ起ル是ニヨル
 山脈ノ東ニ連ルモノヲ三室山ト云フ三室山ノ北ニ飛石山アリ飛石山ノ脈ハ更ニ東北ニ延キテ鷹
 巢山トナリ高畑山トナリ以テ伯耆ノ國境ヲナス又三國山ヨリ山脈ノ南ニ赴クモノハ古社山トナ

(ロ) 中帶山脈

リ三室山トナリ三光山トナリ出原山トナリ山脈更ニ南ニ延キテ備中備後ノ境上チ走ルコトナリト云フ
 等チ其ノ著名ナルモノトナス
 中帶山脈ハ北帶山脈ノ南ニ接シ備中ノ中央及ヒ美作ノ南部ニ蜿蜒スル山
 彙ニシテ主トシテ水成岩ヨリ成リ其岩石ハ多ク太古生層岩ニ屬セリ是等
 ノ山岳ハ北帶山脈ニ比シテ著シク其高度チ減シ海拔二千尺ニ達セルモノ
 甚稀ナリ此帶ニ屬スル諸山ニハ後山 吉野郡ノ東ニアリテ播磨國宍粟郡ニ跨ル山上
 一祀アリ役小角チ祀ル陰曆四月八日ヨリ九月
 九日ニ至ルマテ賽客絶ニルナシ此山ノ南ニ連ルモノハ志引峠日名倉山船越山寺坂峠羅倉山
 等アリ羅倉山ヨリ山勢西南ニ屈曲シ松本峠トナリ熊井峠トナリ杉坂峠トナル而シテ杉坂峠ハ
 播磨ヨリ美作ニ通スル山道ニシテ此山ハ元弘ノ昔後醍醐帝ノ御通策アリシ處ニシテ史上最モ
 著名ナリ杉坂峠ヨリ山勢再南ニ向ヒ湯頭峠トナリ萬能峠(高八百尺)トナリ大峠トナリ共ニ美
 作播磨ノ境上ニ連互ニシテ 吉野郡ノ西部ニアリテ勝南郡トナリ 大戸山 脈延キテ北ニ起キ荒神山篠山
 シテ天然ノ堺チ劃ス 星祭山 二跨ル其北ニ高照峯アリ 大戸山 脈延キテ北ニ起キ荒神山篠山
 トナリ神南備山トナリ 二上山 久米北條ノ東部ニアリテ高二千一百尺 盛上山 久米北條郡ノ西部
 津山川ノ南岸ニ峙立ス 山上遠ク南海ヲ望ミ眺望甚メ佳ナリ 加茂山 津高
 嶺トナリ 龍王山 上房兩郡ノ界チナシ多和峠陣ヶ畑山トナリ 祇園山 至リテ盡ク 加茂山 津高
 東北部ニアリテ山脈ノ西北ニ起シモノチ本宮山ト云フ支脈ノ東南ニ走ルモノハ 大平山 上房津高
 金川ニ至リテ盡クコレチ臥龍山ト云フ松田氏世々ノ居城地タルチ以テ著ル 大平山 兩郡ノ境

(ハ) 南帶山脈

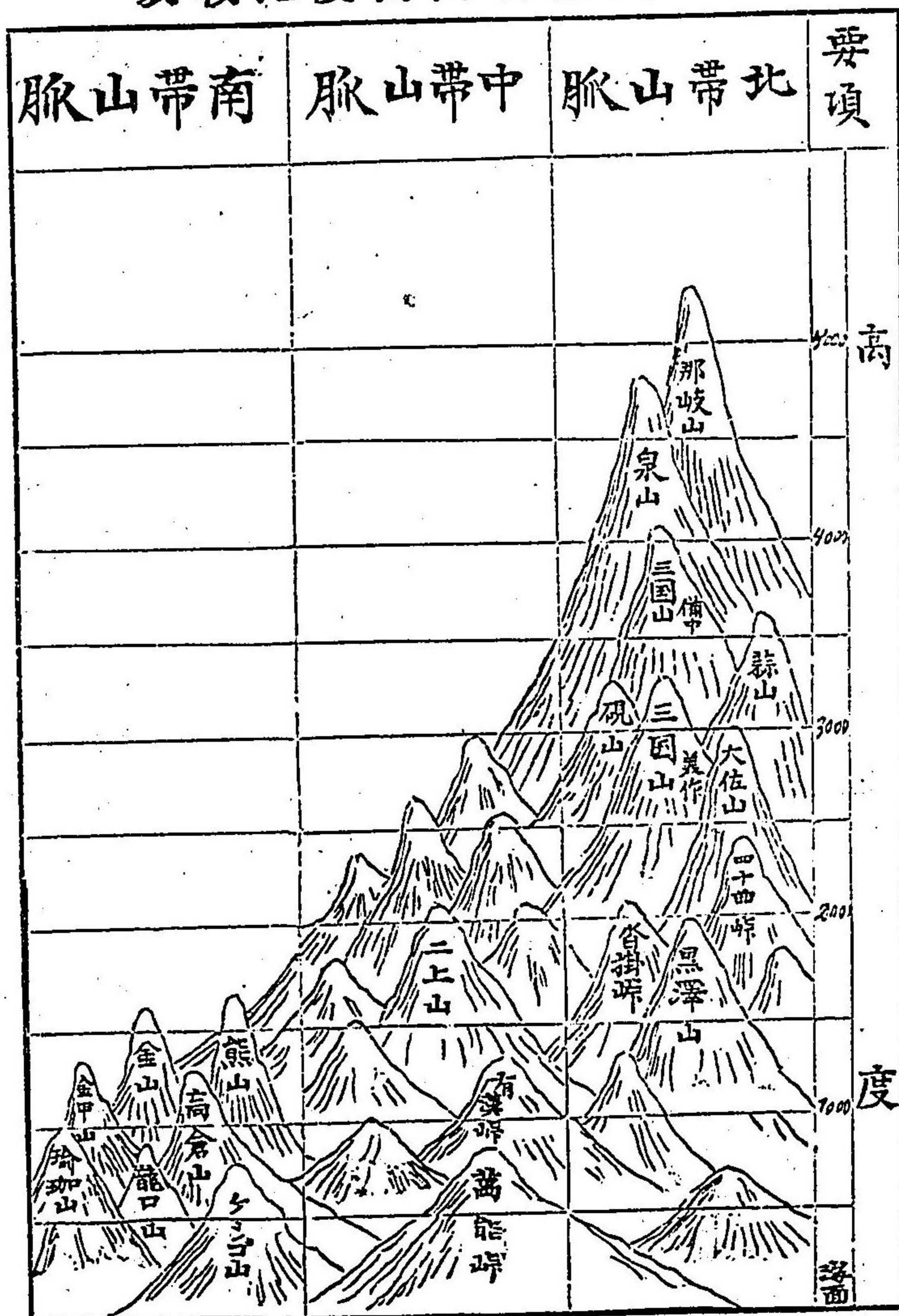
ニ跨ル山脈西南ニ走リテ神子山樹形山トナリ上房郡ノ中央ニ 畝山 津高上房兩郡ノ境ニアリテ
 連互ス又神子山ノ支脈ノ西南ニ走ルモノコレチ聖坊山ト云フ 畝山 大平山ノ北ニ位シ山勢頗ル
 高シ 黒髮山 阿賀郡ノ中央ニアリテ新見ノ東ニアリテ 天神山 哲多川上兩郡ノ境ニ峙ツ山
 荒戸山 哲多郡ノ南部ニアリテ山脈ノ西ニ連ルモノハ 龍王山 南ニ連ルモノハ日野山八國峯大山ト稱シ備中備
 後ノ境ニ 彌高山 川上郡ノ南部ニアリテ 等チ其ノ主ナルモノトス
 南帶山脈ハ中帶山脈ノ南ニアリテ概舊火成岩(主トシテ)ニ屬シ其高度ハ中
 帶山脈ニ比シテ稍低ク海拔二千尺ニ超ユルモノナシ然レトモ多クハ單獨
 孤立ノ山ニシテ其ノ多少連峯チ成セルモノハ備前ノ北方及ヒ東方ノ境上
 ナリトス此帶ニ屬スル山嶽ニハ八塔寺山 美田和氣兩郡ノ界ニ跨ル山脈西ニ延キテ
 ス又此ノ山ノ支脈ノ南ニ連リテ備前播磨兩國ノ境チ劃スルアリ兩國 通路ノ此ノ山脈チ横絶ス
 ルモノニハ行頭峠 舟阪峠 帆坂峠 福浦峠等アリ而シテ舟坂峠ハ元弘ノ初兒島高德ガ後醍醐
 帝ノ車駕ヲ要セシ處ニシテ 作備峠 和氣英田兩郡ノ境ニ跨リ備前美作ノ境チナス山名ノ起ル是ニ
 シテ史上著名ノ處トス 作備峠 山脈東南ニ延キテ妙見山トナリ打札峠トナリ和氣郡ノ西部ニ
 連互ス山脈ノ中ニ天神山アリ山勢高シ 熊山 和氣郡ノ西南ニアリテ高一千七百三十尺此ノ山
 カラザルモ風致アルチ以テ稱セラル 八兒島高德ガ勤王ノ義兵チ擧ケタル處ナリ 龍天

赤坂久米南條兩郡ノ境ニ跨ル高峰ナリ山脈東北ニ延キ
 山テ兩郡ノ境上ニ連互ス其最高キモノチ高峰山トイフ 大王山ノ北ニ當リ稻藪山アリ共ニ
 吉井川ノ西ニ延キ 磐梨郡ノ東南部ニアリ支脈ノ南ニ出ヅルモノチ 龍口山ノ上道赤坂兩郡ノ
 岸ニ峙ツ 本村山ト云ヒ北ニ出ヅルモノチ岩生山ト云フ 龍口山ノ境ニ跨ル高八百
 尺此ノ山ノ北方ニ當リ一山アリ 大雄山 邑久郡ノ中央東部ニアリ以テ地勢チ東西ニ兩分ス往
 高倉山ト云フ高一千二百三十尺 時山ノ四周ハ海ニ屬シ大賀島ト稱セシモ後變遷
 シテ郡中至高ノ山 大平山 久米南條赤坂兩郡ノ界ニ跨ル山脈ニ連互ス 金山 御野津高兩
 トナルニ至レリ 高一千二百三十尺 上房賀陽兩郡ノ境ニ跨ル山脈ノ北ニ赴クモノチ高畝山ト云ヒ高
 七百尺 三平山 畝山ヨリ山脈ノ更ニ分派シテ西ニ走ルモノコレチ大和山ト云フ 經山 賀陽郡
 東部ニアリ山ノ東北ニ下道郡ノ西北部ニアリ 麻佐岐山 下道郡ノ中央ニアリ其脈東西ニ延
 ニ連リテ新山アリ 榎山 郡中第一ノ高峰トナス 梁川ニ達ス山頂ニ一祠アリ麻佐岐ノ下道郡ノ西南隅ニアリ山頂平坦ニシテ甚廣シ土人稱
 神社ト云フ山名ノ起ルニコレニヨリ彌高山ト云フ此山ノ東ニ王公山アリ山頂山腹
 殆ト開墾シテ寸地チ餘キス麥畦菜圃黃 遙照山 小田磯口兩郡ノ境ニ跨リ其脈ニ連互ス下道小田兩
 線相交リ春時ノ觀極メテ可ナリトス 足次山 後月郡ノ西部ニアリ山勢峻 金甲山
 ル山中古松老柏鬱茂セリ山 高越山 後月郡ノ東ニ在リ 秀ニシテ頗ル眺望ニ富ム 金甲山
 上ニ寺アリ榛澤寺ト云フ 兒島郡ノ東部ニアリ高一千三百尺 常山 兒島郡ニアリテ灣ノ南岸ニ峙ツ山脈南ニ延キテ仙隨山
 兒島郡ノ東部ニアリ高一千三百尺 常山 兒島郡ニアリテ灣ノ南岸ニ峙ツ山脈南ニ延キテ仙隨山
 四十尺山脈延キテ西南ニ連互ス 福南山 兒島郡ノ西岸ニ 立シテ海山ノ眺ニ富ム 福南山 兒島郡ノ西岸ニ 立シテ海山ノ眺ニ富ム

四、平原

著名ナル山嶽ノ高度ヲ掲ケテ其比較ヲ示スベシ
 本縣ノ北部ハ山嶽丘陵頗ル多キガ故ニ溪谷ノ數亦從ツテ多ク殊ニ備中美
 作ノ北部ニ至リテハ大率其ノ峽間ニ細長ナル平原ヲ形成セリ而シテ是等
 ノ平原中其ノ重ナルモノチ舉クレバ津山川ニ沿ヘル津山附近ノ平原高田
 川ニ沿ヘル久世附近ノ平原ノ如キハ其最モ廣濶ノモノナリトス又山嶽丘
 陵ノ緩漫ナル傾斜面チナシテ平原ヲ形成スルアリ備中及ビ美作ノ北部地
 方ニハ此ノ種ハ平原頗ル多ク自然ニ牧場ニ適シ牧牛ノ産出盛ナル者職ヲ
 ヲレニ由ル而シテ是等ノ平原中著名ナルモノハ蒜山野、茅部野、日本野等
 トス蒜山野ハ大庭郡ノ北部ニアリ蒜山ノ南麓ニ沿ヘル平原ニシテ南北半
 里東西殆二里ニ彌ル平原ナリ茅部野ハ眞島郡ノ北部ニアリテ旭川ヲ隔テ
 、蒜山野ト相對ス南北半里東西三十町アリ日本野ハ勝北郡ノ西北ニアリ
 テ那岐山ノ南麓ニ位ス廣袤凡一里ニ彌レリ其他長野高圓野等ノ原野アリ
 テ日本野ノ東北ニ斷續セリ又備前ノ南部ヨリ備中ノ沿岸ニ亘レル一大平

岡山縣名山高度比較表



備考 此表ニ掲ケシモノハ高度ノ既ニ測定セラレタルモノトモ示シタルモノニシテ高度ノ精確ナラザルモノハ縦ニ實際ニ於テハ是等ノ山ヨリ高キモノアリト雖モ皆コレヲ省略セリ例ヘバ雄山ハ大佐山ヨリ高シト雖モコレヲ省略セルガ如シ

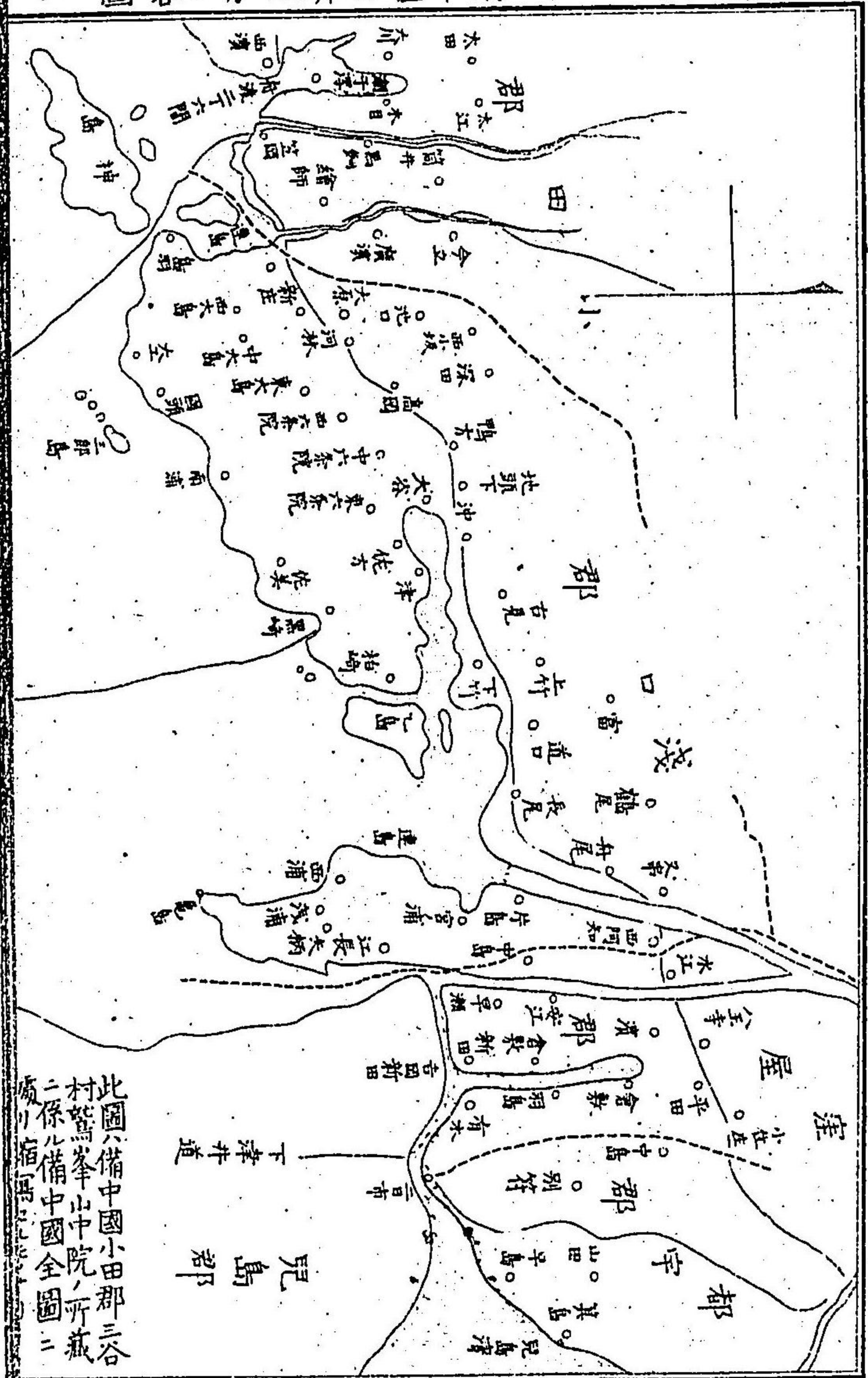
一、沿海

原アリ土地ノ隆起作用ト河水ノ堆積作用トヨリ構成セラレタル所謂沖積的平原ニシテ地味極メテ豊饒ニシテ田圃都邑多ク此處ニ集レリコレヲ稱シテ沿海平原ト云フ本縣中最モ平衍ノ地方トス

第二章 沿海及島嶼

本縣ノ南部ハ瀬戸内海ニ濱シ東ハ播磨灘ニ属シ西ハ水島灘ニ属ス固ト地盤ノ陷落ヨリナリシモノナルガ故ニ一般ニ水淺クシテ其深サ二十尋ニ過クハユト稀ナリ沿海ハ屈曲參差シテ幾多ノ岬角港灣ヲ形成セリ中ニ就テ兒島ノ半島ハ其ノ最モ大ナルモノニシテ十七方里ノ面積ヲ有シ南ハ四國島ノ讚岐ト瀬戸ノ内海ヲ挾ミテ幅二里許ナル海峽ヲナシ西北ハ藤戸ノ地峽ヲ以テ本土ニ連リ北方ハ兒島ノ大灣(面積凡十一里)ヲ擁セリ半島ノ東角ヲ米崎ト云フ邑久郡ト相對シテ其ノ灣口ヲ扼セリ邑久郡ノ東端モ亦斗出シテ和氣郡ト相對シ其ノ間ニ片上灣ヲ擁セリ又水島灘ノ沿海ニハ連島玉島及富岡ノ三灣アリ此ノ如ク海岸ノ出入屈曲多キガ故ニ直經二十二里ノ沿海

寛文二年に於て備中國海岸地方ノ畧圖



鈴木一定 描

此圖備中國小田郡三谷村鷲峯山中院所藏ニ係ル備中國全圖ニ

モコレヲ延長スルトキハ凡七十六里ノ長ニ達スベシ往時汀線ハ現今ヨリ遠ク内地ニ達シ淺口郡ノ南方ヨリ窪屋都宇津高御野上道邑久ノ南半ハ海水ノ漲フ所トナリシモ陸地ノ隆起作用ト河水ノ堆積作用トニヨリ次第ニ南方ニ退却シテ今日ノ有様ヲ呈セシニ至リシナルベシ汀線ノ變遷ハ地質ノ播トナ得ルノミナラス口碑史傳ノ如キモ亦大ニコレヲ証スベキモノアリ備前畧史ニ據ルニ日本武尊ガ賊ヲ征セラレタル吉備穴濟ハ邑久上道津高御野四郡ノ南部ヨリ備中地方ニ連ル一帯ノ海チイフモノナリトアリ又和氣絹津高郡ノ條ニ榕津村ノ巽岩ノ巖ト云フニ木船明神アリ昔此邊海ナリシ時柴船破損シテ云々トアリ榕津ハ今兒島灣頭チ距ルニ二三里ノ處ニアリ亦以テ往時汀線ノ遠ク内地ニ達セシチ知ルベシ同僚岡直應氏ノ說ニヨレバ口碑ニ岡山四近ノ地ハ往時海ニ屬シ當時岡山城趾ナル鹿島山、天神山、岡山、石山、白旗山ハ其ノ海中ニ横ハレル島嶼ニシテ當時大島ト呼バレ岩井ノ小山ハ岩井島ト稱セラレタリト云フ此頃學生鈴木定一氏ノ探究ニ據ルニ御野郡牧石村原ナル法萬寺ニ其ノ重寶トシテ傳ヘラレタル古書チ見ルニ此ノ圖タル當寺四近ノ風景ヲ摸寫セルモノニシテ其山麓ハ悉ク海ニ屬セルチ見ル而シテ其ノ圖中ニハ宮本城舟山城等當時ノ有様ヲ描キ出セルチ見レバ即戰國ノ始足利氏ノ未ニシテ今チ距ルコト三四百年ノ昔ニアリシナルベシト云フ備陽國誌兒島郡ノ條ニヨレバ往時兒島郡ハ大地ト隔絶シ其間ニ一條ノ海路チ通シ舟楫ノ東西ニ交通スルモノ此處チ經過セシガ後遂ニ干潟トナリ今日ノ如ク大地ト接續スルニ至リシトイフ而シテ壽永ノ昔佐々木三郎カ騎渡シタルトコロハ即此海峽ニシテ當時尙大地ト隔絶セシチ知ルベシ其他庭瀬倉敷地方ノ如キ今ハ海濱チ距ル二三里ノ處ニアルモ三百年以前ニハ

二、島嶼

尙江線ノ此地ニアリシニヤ用水筆記ヲ見ルニ天正十四年岡越前守ナルモノ其臣千原某ニ命ジテ
 城ヲ庭瀬ノ海岸ニ築キシユトアリ又正保四年ノ頃庭瀬ノ入海ハ廣四十五間滿潮ニハ二白石ノ船
 船ヲ入ルモ干潮ニハ入ルコト能ハズトアリ當時尙船船ノ此地ニ出入セシヲ知ルベシ倉敷ノ如キ
 モ亦往時海中ニ屬シ妙見山(今ノ鶴形山)ハ一ノ島嶼ナリシトイフサレバ天正ノ薩摩征伐文録ノ
 朝鮮ノ役寛永ノ島原役ノ如キハ此地ヨリ水夫ヲ出セシユト古史ニ見エタリ其後慶長十四年小堀
 遠江守ガ水夫屋敷若干ヲ其ノ檢地帖ニ除地トナシタルコトアリ亦以テ江線ノ此地ニアリシヲ証
 スベシ又學生中原右一氏ハ此頃小田郡三谷村鷲峯山中ノ院ニ傳ヘラレタル備中ノ古地圖ヲ寄セ
 ラレタリ就テ見ルニ寛文年代ニ於ケル備中ノ全圖ナルモ其ノ海岸線ハ頗ル今日ノ有様ト異ナリ
 遠ク内地ニ灣入シ乙島孤島ハ灣中ノ島嶼ニ屬シ長尾及大谷ノ地ハ當時海岸ニ位スルヲ見ル其他
 富岡灣ノ如キモ亦深ク内地ニ灣入シ山陽街道ノ如キ實ニ此灣内ヲ横絶セシナリ其委シキハ圖
 ニ就テ知ルベシユレト要スルニ都宇窪屋淺口等ニ於ケル南部ノ村落ハ大率三百年以後ノ開墾ニ
 係ルモノニシテ其ノ村名ニ箕島。早島。帶江。黒崎(以上都宇窪)濱。安江。羽島。水江。中島。以上窪
 屋部)片島。西之浦。連島。龜島。爪崎。八島。玉島。乙島。阿賀崎。柏崎(以上淺口郡)
 等多ク水ニ縁故アル名稱ヲ用ユルヲ見テモ亦間接ニコレヲ証スルコトヲ得ベシ

本縣ノ海上ニハ數多ノ島嶼基布屋羅シテ其數百〇四個ニ及ビ所謂瀬戸内
 海ノ多島海ナナスモ島形概チ小ニシテ面積一方里ニ達スルモノ甚ダ少シ
 此等ノ諸島ハ何レモ花剛岩山ノ山腰ヲ水ニ没セルモノニシテ其地多クハ
 砂礫礮確僅ニ大麥甘藷ノ栽培ニ適スルニ過キストイヘドモ其ノ四邊ニハ
 激澗タル海水ヲ繞ラシ無量ノ鱗族充叙シテ天然ノ無盡藏ヲナシ以テ民島

ノ生業ヲ與ヘ縣下三國ノ需要ニ供シテ餘アリトイフ諸島中備前ニ屬スル
 モノハ鹿久居島 和氣郡ニ屬ス島形東西ニ長ク南北ニ短ク 和氣郡ニ屬ス鹿久居島ノ南ニア
 小鶴島 和氣郡ニ屬ス鹿久居島ノ南ニア 和氣郡ニ屬ス鹿久居島ノ南ニア
 トイフ 頭島 居島ノ西南ニア 大多府島 和氣郡ニ屬ス頭島ノ東南ニア別ニ 曾島 鴻島
 二島和氣郡ニ屬ス相並ヒトイフ 取上島 鹿久居島ノ正東ニアリテ播磨ト海上ノ境界ヲナス島ノ中
 テ鹿久居島ノ西ニアリ 和氣郡ニ屬ス長島 鹿久居島ノ正東ニアリテ播磨ト海上ノ境界ヲナス島ノ中
 島 和氣郡ニ屬ス片上灣 長島 鹿久居島ノ正東ニアリテ播磨ト海上ノ境界ヲナス島ノ中
 頭ニ横ハル小島ナリ 島ノ東端ヲ橋崎ト云フ又此島ノ西方ニ國島地貴島沖貨嶋ノ二小島
 アリ 鼠島 邑久郡ニ屬ス無崎ノ東ニアリ此嶋ヲ以テ 前島 邑久郡ニ屬ス牛窓港ノ東南ニアリ島ノ東
 リ三津村尻海ト牛窓トノ漁場ヲ境界ス 前島ニ大島黃島ノ二小島アリ又島ノ西ニ黒島
 アリ三島中黃島 大島 邑久郡ニ屬ス島中ニ巨石アリ其形犬ニ似タリ因リテ此ノ稱 高島 邑久郡
 稍大ナリトス 大島 邑久郡ニ屬ス島中ニ巨石アリ其形犬ニ似タリ因リテ此ノ稱 高島 邑久郡
 兒島灣ノ口ニア島中竹ヲ生 石島 邑久郡ニ屬ス周圍ニ里此島ヲ以テ讚岐ト界ヲナス嶋ノ
 スルヲ以テ一ニ竹島ト云フ 中央以南ヲ井嶋ト稱シ讚岐ニ屬シ以北ハ本縣ニ隸ス 大槌
 島 邑久郡ニ屬ス日比ノ正南海上ニアリ此島モ亦讚岐ト界ヲナス 堅場 島 邑久郡ニ屬ス田之口
 島分チ島ノ南ハ讚岐ニ屬シ北ハ本縣ニ隸シ兒島郡ニ屬ス 兒島郡ニ屬ス田之口 釜島
 兒島郡ニ接ス田之浦ノ東南ニアリ松島 上濃地、大濃地、細濃地、葛島、高島 以上五島ハ
 大無衣小無衣ノ三小島ハ其ノ西ニアリ 共ニ兒島郡
 ニ屬シ郡ノ西岸ニ散在セリ中ニ就 六口島 邑久郡ニ屬ス細濃地島ノ西ニアリ兒
 テ高島ヲ其ノ大ナルモノトナス 島郡ノ屬島中最モ大ナルモノトナス 上水島 邑久郡
 ニ屬ス

郡ノ西方水島灘ノ海上ニアリ 等アリ備前ニ屬スルモノニハ下水島 淺口郡ニ屬ス玉島
 海名ノ起ル蓋シコレニヨル 遼ニ南海上ニアリ東西十餘町南北六町周圍一里 淺口郡ニ屬ス寄島村ノ西南二十町餘ノ海
 餘備前ノ上水島ト相對ス戸數五人口二十餘アリ 寄島 上ニアリ東西十餘町南北七町餘周圍一里
 餘戸數十餘人口四十餘アリ此島ノ西カ 小田郡ニ屬ス笠岡ノ南二十三町ニアリ東西一里南北
 南ニ三個ノ小島アリ三郎島トイフ 片島 三町四十八町周圍一里九町五十町周圍一里東西一里南北
 口百五十 小田郡ニ屬ス片島ノ南二町ニアリ東西一里十町南北二十四町周圍四里二十八町
 餘人アリ 神島 戸數三百九十七人口三千七百七十餘アリ島中山脈東西ニ連互シテ人家其ノ南北ニ
 散布セリ南方ノ部落ヲ外浦ト云ヒ北チ内浦ト云フ内浦ノ東角松林中ニ菅公ノ祠アリ華表ノ前
 一帯ノ海峽ヲナシテ淺口郡ト相對ス此ノ間ヲ天神瀬ト名ツク景色絶佳ナリ神島ノ西南隅ヲ神
 崎ト云フ備後ノ沼隈郡 高島 小田郡ニ屬ス神島ノ南十三町ニアリ東西十四町南北九町周圍一里
 竹ヶ鼻ト東西相對セリ 高島 二十一町アリ戸數三十九人口二百餘高島ノ西南ニ差出島名宇島稻
 積島高山ノ小島アリ又南ニ 白石島 小田郡ニ屬ス高島ノ南十八町ニアリ東西十七町南北十九
 一小島アリ小高島ト云フ 町周圍二里二十一町アリ戸數百七十八人口一千五百六十餘
 アリ島ノ東北海上ニ高嶋沖白石嶋ノ二小嶋アリ沖ノ白石嶋ハ此嶋ヲ距ル二丁巨巖海面ニ兀立シ其
 ノ色白クシテ頗ル奇觀ヲナス嶋名ノ起ルコレニヨル文政年間西山拙齋コレガ銘ヲ勒シテ曰ハク
 滄海之上。白石嶼。嶼以瀼。瀼々。嶼々。惟白。惟堅。不磨。不羶。北木島 小田郡ニ屬ス白石嶋ノ東
 壁立千古。擬君子人。其名雖舊。其色益新。勒銘者誰。山陽逸民。北木島 南七町ニアリ東南一里二
 丁二十町南北二十八町二十町周圍五里九町十町ニシテ縣下屬島中ノ最大ナルモノ 眞鍋島 北木
 トス戸數五百十八人口二千九百八十餘人アリ嶋ノ西ニ一小嶋アリ楮子嶋ト云フ 大飛島 小田
 東南十八町ニアリ東西二十四町南北八町周圍一里二十三町五十六町戶數三百七十 眞鍋島 北木
 四人口千八百五十七アリ眞鍋嶋ノ東北ニ大嶋元小嶋ノ二小嶋アリ又西ニ間嶋アリ

三、瀬戸

屬ス北木嶋ノ西南一里ニアリ東西十町南北十二町小飛島小田郡ニ屬ス大飛島ノ東十一町ニアリ
周圀一里十五町戸數四十七人口三百八十餘アリ武島小田郡ニ屬ス飛島ノ東南三十二町ニアリ東西十町南北九町周圀一里七町戸
一、小嶋アリ波 數百十人口五百五十餘人アリ本縣極南ノ島嶼ニシテ讚岐ノ三野郡三崎ト相
對シテ其間纒カニ一里ヲ隔ツルノミ等ノ諸島アリ

斯ノ如ク數多ノ島嶼海中ニ羅列スルガ故ニ自然ニ潮水ノ流通スルヲ妨グ
ルノミナラス殊ニ瀬戸内海ニハ東西ヨリ流入スルニ條ノ海流備後灘(讚岐
スル粟嶋佐柳)ニテ衝突シ各海岸ヲ掠メテ退流スルガ故ニ大地ニ近接セル島
嶼ノタメニ特ニ其流域ヲ妨ケラル、コト甚シキヨリ其間ノ海水ハ其ノ速力
甚急ナリ即神島ト大地トノ間ニハ天神瀬戸廣八十間乃至百餘間アリ北木島ト
白石島トノ間ニハ白石瀬戸廣廿四間アリ牛窓ト前島トノ間ニハ牛窓瀬戸ア
リ虫明ト長島トノ間ニハ瀬溝ハシアリ長島ト鴻島トノ間ニ虫明瀬戸アリ中ニ
就テ白石瀬戸ノ如キハ潮流最モ急ニシテ往々船舶ノ覆没スルコトアリト
云フ

天神瀬戸之景



鈴木定一 描

四、湖汐

潮汐ハ海岸線ノ屈曲多ク且又海中ニハ數多ノ島嶼基布セルガ故ニ海水ノ一所ニ注キ來ルコト多クシテ廣クコレヲ流散セシムルノ餘地ニ乏シキヲ以テコレヲ直接ニ大洋ニ面セル諸邦(例ハ山陰地方)ニ比スレバ其ノ高低ノ差大ナルモノトナス玉島灣及虫明近海ノ如キ其差五尺乃至七尺ニ達セリト云フ潮候率ハ未タ精密ノ調査ヲ經ストイヘドモ東京靈岸島ヲ基本トセル本邦諸港ノ潮候率ヲ見ルニ内海ノ咽喉ナル大阪ハコレニ後ルコトニ〇一ニシテ馬關ハ二三〇六ナレバ此ノ間ニ位スル岡山縣沿海ノ潮候率ハ其ノ中數ト見テ大差ナカルベシ

第三章 水誌

一、河流

本縣ハ北方ニ最高ノ山脈アリテ地勢漸ク南方ニ傾斜セルヲ以テ諸川皆南ニ流レテ海ニ朝シ三條ノ分水嶺ニ劃セラレテ三大河領ヲ形成ス吉井朝日高梁ノ三大河系是ナリ

(イ) 吉井河系

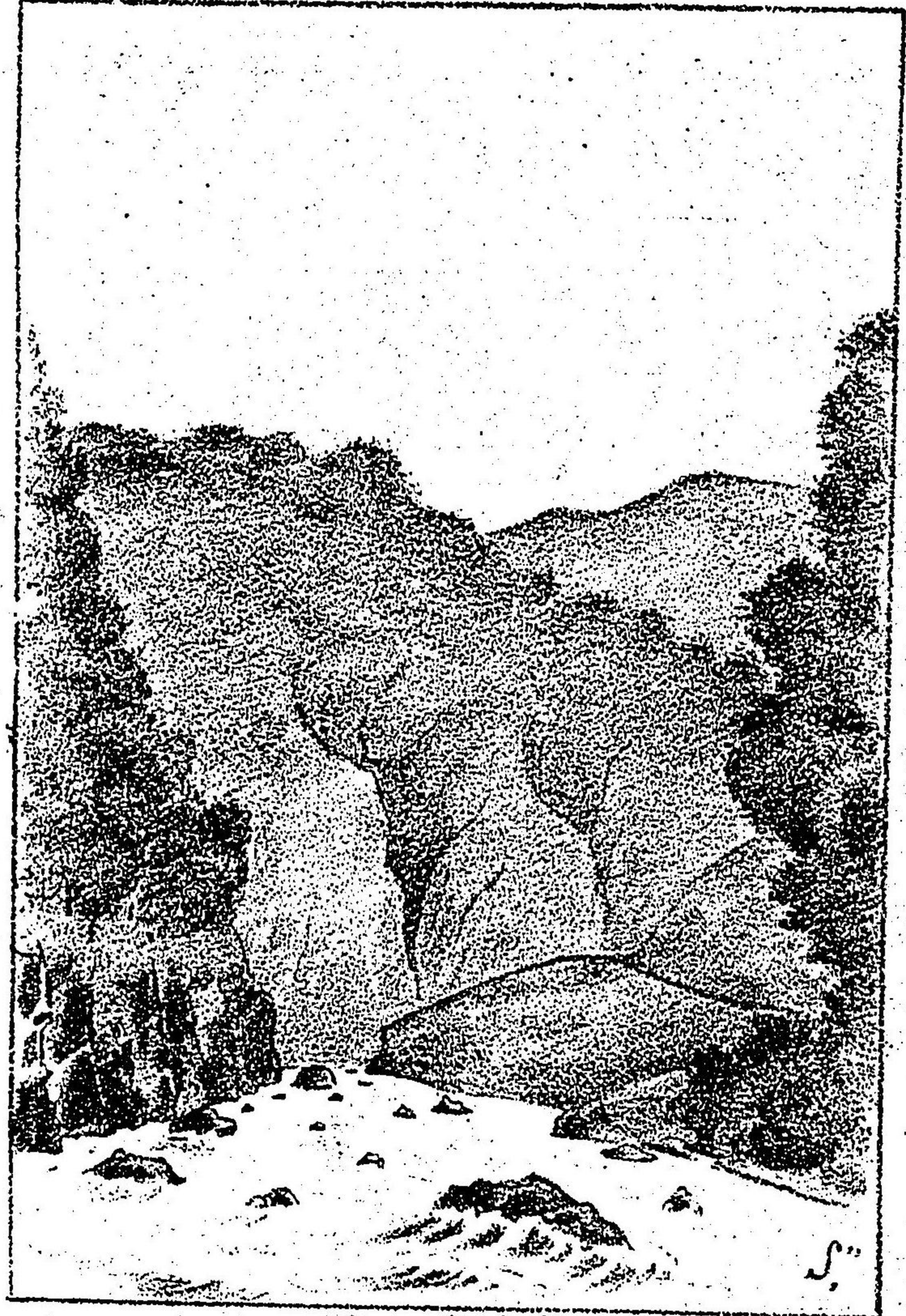
吉井河一ニ西大寺川ト云フ朝日河ニ對シテ備前ノ東方ニアルカ故ニ東ノ

(日)朝日河系

フコト極メテ難シトス但大船ノ航行ニ妨害ナキ諸川ノ傾度ハ一
朝日川ト書ス旭川ハ吉井川ニ對シ備前ノ西方ニアルヲ以テ西大川ト稱セリ流

程凡三十三里縣下第一ノ長流ニシテ上流ヲ高田川ト云フ源ヲ美作ノ西北
境ナル鷲山ニ發シ東流シテ徳田村中福田ニ至リ湯船川源ヲ湯船ヨリ發シ南
里余ヲ容レ縣村下長田ヨリ屈折シテ南流シ初和ニ至リテ下和川東境ナル山脈
ヨリ發シテ西流シ下和ヲ經テ西流ヲ高田川ニ入ル長凡二里ヲ合セ二川村ニ至リ藤森川源ヲ藤森ノ山中ニ發シ黒杭ニ
小童谷ニ至リ高田川源ヲ具島郡西北ノ山脈ニ發シ粟谷種ヲ至リ深谷川ヲ合セ東南ニ流レ
川ニ入ル長一里餘二川經テ東流シ高田川ニ入ル長凡二里余ヲ合セ是ヨリ田羽根川源ヲ
郡ノ東境ヨリ發シ熊居坂峠ノ南麓ヲ經テ八幡川源ヲ大庭郡ノ東境ヨリ發シ社
西流シテ湯本ニ至リ高田川ニ會ス八幡川ヲ過キテ西流シ高田川ニ入ル釘貫川源ヲ大庭郡
發シ釘貫小川ヲ經テ溪流ヲ容レ八幡村禾津ニ至リテ本庄川源ヲ山中ニ發シ見明戸
本庄ヲ經テ東流シ禾津ニ至リ高田川ニ入ル流程凡三里ヲ合セ屈曲南流シテ勝山ニ至リ神代川源ヲ新庄川ト
リ高田川ニ入ル流程凡三里ヲ合セ屈曲南流シテ勝山ニ至リ神代川源ヲ新庄川ト
リ發シ新庄ヲ過キテ東南ニ流レ神代ヲ經テ是ヨリ神代川ノ稱アリ屈折
シテ東流シ備前ノ境ヨリ發スル月田川ヲ合セル高田川ニ入ル長七里余
シテ久世ヲ過キ目木川源ヲ大庭川ト云フ上流ヲ登美川ト云フ源ヲ西々條郡ノ加佐見山
ニ發シ富東谷ヲ經テ南流シ余野ヨリ西南ニ流レ富西谷ノ西北山

高田川上流之景



鈴木木一定 描

中ヨリ發セル支流ヲ合セ目木ヲ經テ南流ス是ヨリ
 目木川ノ稱アリ大庭ニ至リ高田川ニ入ル長六里余ヲ合セ流路ヲ南ニ轉シ落合ニ至リ
 備中川 源ヲ備中ノ阿賀郡ニ發ス二源アリ一ハ木谷ヨリ發シ一ハ陣ヶ畑山ノ北麓ヨリ發シ下皆
 部ニ至リ相合シ東流シテ一色ニ至リ別所川ヲ合セ是ヨリ東北ニ流シ落合ニ至リ高田川
 ニ入ル長 凡七里 合セ再ヒ東ニ向ヒ河内川 源ヲ上河内ニ發シ中河内下 合セ是ヨリ東
 南ニ流レテ通谷川 源ヲ久米北條郡ノ中部ニ發シ通谷川 一ニ豐岡川ト云フ津高郡北部
 流シ朝日川ニ入ル長凡五里恩木川 ノ三飛山ニ發シ豐岡ヲ經テ東
 入ル長三里余 角石川 久米南條大坪和村境ヨリ發シ角石祖母角石畝角
 石谷ヲ經テ西南ニ流シ朝日川ニ會ス長凡一里余 弓削川 一ニ神目川又誕
 中央西部ノ山溪ニ發源シ上下弓削ノ西ヲ南流シ下神 合セ 福渡ヲ過キ金川ニ至リ宇
 目ヨリ西折シ川口ニ至リテ朝日川ニ入ル長四里餘 合セ 福渡ヲ過キ金川ニ至リ宇
 甘川 源ヲ備中ノ上房郡柘形山ノ南麓ヨリ發シ四平山ノ北麓ヲ繞リ下加茂ヲ 合セ伊田川
 經テ上加茂川ヲ容レ虎倉宇甘ヲ過キ金川ニ至リ旭川ニ會ス流程十里餘 源ヲ津高郡日應寺ヨリ發シ東流シテ宇
 源ヲ久米南條下二ヶ山手ヨリ發シ赤坂郡ニ入リ 宇垣川 源ヲ津高郡日應寺ヨリ發シ東流シテ宇
 新庄伊田ヲ經テ西流シテ朝日川ニ入ル長凡三里 垣村宇垣ノ南ニ至リ朝日川ニ入ル長凡
 一ノ細流ヲ合セ折レテ東ニ赴キ再ヒ南ニ轉シテ岡山市ヲ貫キ兒島灣ニ入
 ル河領狹長ニシテ其ノ面積凡百十餘方里ニ過キザレトモ吐口ヨリ上流二
 十里餘ナル勝山村ニ至ルマデ河舟ヲ通スベシ而シテ吐口ト勝山村トノ立

差ハ凡四百二十尺ニシテ其ノ傾度ハ一里ニツキ凡二十尺ニシテ中流ナル
福渡以下ニ於テモ尙平均十八尺ノ傾斜ヲ有スルガ故ニ舟ヲ上流ニ運フハ
吉井川ヨリ更ニ難シトス

(ハ)高梁河系

高梁川一ニ河邊川ト云ヒ又大川トイフ上古川島河ノ稱アリ流程二十九里
縣下第一ノ大河ニシテ源ヲ備中ノ北境ニ發シ花見、千屋、坂本ヲ過キ新見

ニ至リ熊谷川源ヲ阿賀郡菅生ニ發シ上熊谷下熊谷ナリヲ容レ南流シテ川瀬川一ニ西川ト云フ源ヲ哲多郡

ノ北境ナル飛石山ヨリ發シ高瀬及益ヲ經テ東南ニ流レ源ヲ同郡三光山ヨリ發シ上神代下神

代ヲ經テ東北ニ流レ來ル神代川ヲ合セ東流シテ源ヲ備後ノ境ナル權現山ニ發シ荒戸山ヨリ發

スル溪流ヲ合セテ東北ニ流レ來ル本コト小坂部川源ヲ阿賀郡ノ北境ナル三坂峠ヨリ發シ大井野

郷川ヲ合セ高梁川ニ入ル長凡七里ヲ過キ佛谷ノ溪流ヲ合セ小坂部ニ至リ大佐山

ノ溪流ナル三谷川ヲ合セ是ヨリ丹治部、布フ佐伏川源ヲ阿賀郡豐永村佐伏ヨリ發シ西流シ

瀬ヲ過キ唐松ヲ經テ高梁川ニ入ル長凡七里テ草間村ニ至リ高梁川ニ入ル長三里餘ヲ

合セ上房川上兩郡ノ境ヲ東南ニ流レ今津ニ至リ有漢川一ニ鳥井川ト云フ源ヲ

林ヨリ發シ西南ニ流レ有漢巨瀬林ヨリ發シ西南ニ流レ有漢巨瀬ヲ容レ高梁町ヲ過キ稍西南ニ轉シ成羽川上流ヲ東

八川ヲ過キ高梁川ニ入ル長四里林ヨリ發シ西南ニ流レ有漢巨瀬ヲ容レ高梁町ヲ過キ稍西南ニ轉シ成羽川上流ヲ東

フ備後ノ神石郡ヨリ來リ湯野村田原ニ至リ源ヲ吹屋村坂本ヨリ發スル田原川ヲ合セテ東流シ

手莊村領家ニ至リ源ヲ高山村猪辻ノ山間ヨリ發スル大竹川ヲ合セ成羽ニ至リ源ヲ吹屋ヨリ發

スル羽山川(上流ヲ吹屋川ト云フ)ヲ合セテ東流シ日南ニ至リ源ヲ日里村明治ヨリ發スル日名

川ヲ合セ玉川村ニ至リテ玉川ヲ容レ高梁川ニ會ス上流ヨリ茲ニ至ル凡二十里本縣ニ入リテ川

上郡ヲ流ル、コトヲ合セ是ヨリ東南ニ流レテ穴栗ニ至リ槇谷川源ヲ上房郡雞足山

ト十一里五町コト是ヨリ流路ヲ南ニ轉シ新本川源ヲ新本村ノ山中ヨリ發シ郡ノ中央部ヲ

入ル長凡二里東流シ久代村ヨリ南折シ神在村ニ至リテ高梁川ニ注ク長二里平時ハ殆水流ヲ見ストイヘドモ霖雨ノ時ハ河水暴漲

シテ土砂ヲ横流シ河床填淤シテ平地ヨリ高キコト二三間ニ及フコトアリ小田川備後ノ安那郡

ニ於テハ山ノ川ト云フ後月郡ノ西北隅足次村川相ニ至リ又源ヲ備後ノ神石郡花濟村ヨリ發シテ

上鴨村ヨリ南流シ來ル鴨川ヲ合セ足次村吉井ニ至リ源ヲ同郡明治村種ヨリ發シテ南流シ來

ル宇戸川ヲ合セ東南ニ流レ東江原ヲ過キユレヨリ江原川ノ稱アリ木之子ニ至リ小田郡上稻

木村ヨリ發スル稻木川ヲ合セ是ヨリ小田郡ニ入リ小田ヲ過キ始メテ小田川ノ稱アリ東流シテ

源ヲ吉田村尾坂ヨリ發スル尾坂川ヲ合セ矢掛ノ南ニ至リテ小林川ヲ容ル(小林川ハ同郡美山村

三山ヨリ發シ宇戸村ノ北方ヲ環流シ南ニ流レ源ヲ同郡堺村星田ヨリ發スル川面川ヲ容レテ小

田川ニ會ス)是ヨリ下道郡ノ南部ヲ貫キナ合セ酒津ニ至リテ分レテ二派トナリ一

ヲ東川ト云ヒ一ヲ西川トイフ共ニ水島灘ニ入ル其ノ河領ハ朝日河領ハ西

ニ接シ面積凡百六十六里ニ超ユルヲ以テ水量從ヒテ多ク吐口ヨリ上流十

九里哲多郡ハ間舟楫ノ便アリ此川ノ中部沿岸ニ位セル高梁町ト吐口トノ

(二) 其他ノ諸川

立差ハ凡百七十尺ニシテ河床ノ平均傾斜ハ一里ニツキ凡十六尺ニ當レハ其傾度朝日吉井河ノ中間ニ當レリ

三大河系ノ外石井川 吉野郡日名倉山ノ溪間ヨリ發シ石井村ヲ貫キ稍

郡間谷ヨリ發シ種浪ニ至砂川 美作ノ境ナル龍天山ノ南麓ヨリ發シ赤阪上道ノ二郡ヲ經テ南流

川ノ稱アリヲ瀬川 津高郡ノ西北部ヨリ御野郡ノ境ニ沿 秀天川 兒島郡ノ中央部ニ發源シ

長六里半 豫ヶ瀬川 津高郡ノ西北部ヨリ發シ北 備中ニ足守川 賀陽郡ノ北境ヨリ發源シ東南ニ流レ大井

郷内川 瑠珈山ノ北麓ヨリ發シ北 至リ日近川ヲ合セ足守ヲ過キテ淇井ノ渠

下流ヲ合セ都宇郡ヲ經テ兒島灣ニ入ル長九里半淇井ノ渠ハ賀陽郡淇井ヨリ高梁川ヲ導キシモノ

ニシテ經山ノ北方ヨリ發スル櫻川(此ノ川河床土沙ノ多クニ壅滯シテ兩側ノ田圃ヨリ高キ故ニ天

井川ノ稱アリ)ヲ合 一川 淺口郡阿部山ノ南麓小坂村字杉谷ヨリ發源シ鴨方村ヲ經テ稍東南ニ

セテ足守川ニ會ス 向ヒ占見ヨリ東ニ折レテ郡ノ中央ヲ貫流シ阿賀崎村ニ至リテ玉島港

ニ入ル長 吉田川 源ヲ小田郡吉田村吉田ニ發シ大村ノ南ヲ過キ 高屋川 一ニ家後屋川ト云フ源

ヨリ發シ溪間ヲ東南ニ流レ高屋村ニ 等アレドモ皆細流ニ過キズ

至リ屈曲シテ西流シ再備後ニ入ル 本縣ノ河流ハ大率山峽ノ間ヲ通過スルガ故ニ所謂ル荒川ノ性質ヲ有シ其

ノ大小幾多ノ支流大率平日ハ涸燥シテ砂石磊磔トシテ相連リ僅ニ覆盆ノ

(*) 附説

水ヲ有スルニ過ギザルモ一朝暴雨ノ襲フコトアルトキハ倏忽ニシテ赤錆色ノ濁水ヲ漲シ土砂ヲ逆流シテ次第ニ河床ヲ埋没シ加之ニ山嶽ノ構造大率舊火山質ノ岩石ヨリナルガ故ニ砂礫礩礪ニシテ固結力ニ乏シク且又近來森林ノ濫伐行レシヨリ山岳丘陵到ル所ニ岩骨ヲ露出シ草木ノ以テ寒暑ヲ調和スルコトナキカ故ニ水蝕風化ノ勢力ヲ逞フスル從ヒテ強キノミナラズ甚シキハ石材ヲ發掘シテ其斷片ヲ徒ニ谿谷ニ委棄セルガ故ニ一朝ノ暴雨モ亦以テ莫大ノ土砂ヲ河中ニ迸出スルニ至ルベシ殊ニ堤防ヲ築キ或ハ用水ヲ導キ止ムヲ得ザル人爲ノ障礙ヨリ自然ノ流域ヲ抑沮スルコト亦多キガ故ニ河床ノ埋没スルコト年ニ加ハリ甚シキハ河床ノ地盤ヨリ高キモノアリ是ヲ以テ其ノ堤防ノ破壊スルコトアルヤ濁浪俄ニ四近ニ奔溢シ穀菜ヲ漂蕩シ人畜ヲ橫流シ油々タル沃田モ遂ニ滿目荒涼ノ沙原ニ屬シ以テ舊觀ニ復スル能ハズ實ニ縣下ノ大患ナリコレヲ要スルニ本縣洪水ノ害ハ自然ノ狀勢ニ出ヅルモノ多シトイヘドモ人爲ノ作用亦與リテ大ナリト

ナス而シテ其原因ノ主タルモノハ林政ノ荒ミテ濫伐ノ多キニ坐スルノミ
古人曰ハク水ヲ治ムルモノハ先ツ山ヲ治メヨト本縣ノ山岳ニシテ若シ悉
ク草木ヲ以テ衣被スルニ至ラバ洪水ノ害モ自ラ止ムベシ

以上陳フルガ如キ起因ヲ有セザルガ故ニ三大河ノ暴溢スルコト歳ニ加ハリ明治十三年ニハ兩度
ノ洪水アリテ朝日高梁ノ二流最モ甚シク田圃家屋ノ流失スルモノ少カラズ明治十九年復兩度
ノ大水アリ前年ニ比スレハ其損害更ニ甚シク溺死スルモノ亦掛カラズ後明治二十五年旭吉井
ノ兩河非常ノ大水アリ田圃家屋ノ流失道路堤防ノ破壊擧ケテ言フベカラス罹災ノ民實ニ慘狀
ヲ極ム辱クモ

天皇皇后兩陛下コレヲ聞召シ給ヒ金二千五百圓ヲ下賜セラレ又國庫ヨリ水害土木費百七十餘
萬圓ヲ補助セラレタリ尋テ明治二十六年三大河亦未曾有ノ大水アリ田圃ノ流失人畜ノ溺死更
ニ其慘ヲ極ム畏レ多クモ再ヒ天聽ニ達シ

天皇皇后兩陛下ヨリ三千五百圓ノ恩賜ヲ受クルニ至リ國庫ヨリモ亦再莫大ノ補助ヲ仰クニ至
レリ蓋三大河沿岸ノ村落ハ毎歲多少ノ水害ヲ蒙ラザルナシトイヘドモ二十五二十六ノ兩年ニ
於ケルカ如キ未ダ其慘毒ノ甚シキヲ聞カズ讀者若シ左表ヲ一瞥セバ如何ニ洪水ガ其慘毒ヲ逞フ

スルカヲ知ルベシ

年度	被害 市町 村數	溺死 人	負傷 家畜	溺死 畜戶	流失 數戶	全潰 數戶	半潰 數戶	浸水 數戶	水浸 數戶	地反 別	荒地 別	山崩 數	船舶 流失 數	飢餓 ノモ 助ヲ 受者
廿五年	欠	七二	三三九	七	三三六	二五七	四〇四	三三六	四九四	四五七	二八四	二四九	四二四	四
廿六年	四四	四三三	九八一	一七	三三二	二九八	六八〇	五〇三	三三六	七五九	欠	三二七	六四	一〇三、四九七

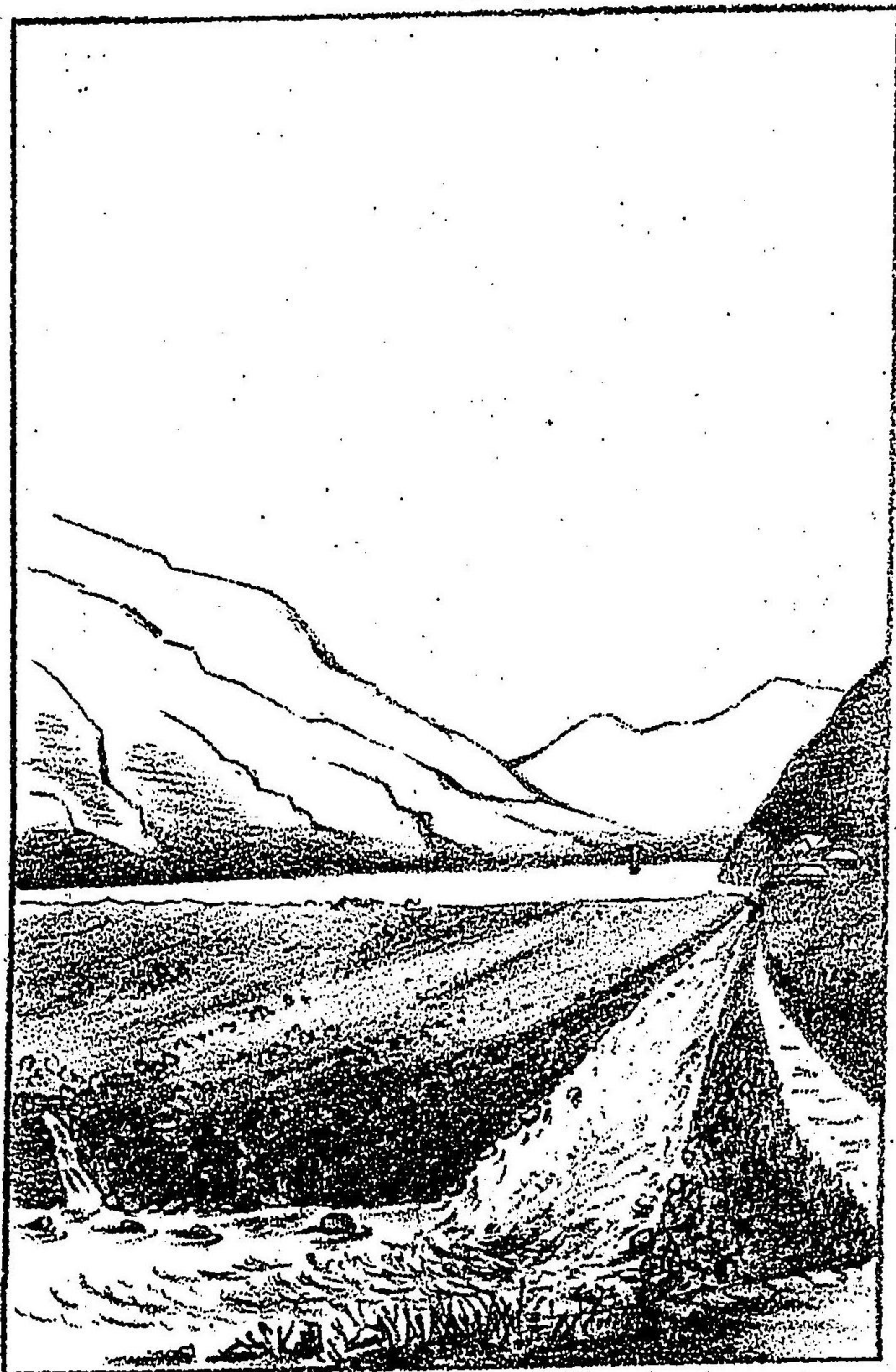
二、瀑布

山嶺ノ高峻ナルト樹木ノ多キトハ孰レモ能ク大氣中ノ水蒸氣ヲ收縮セシ
ムルニ適スルモノナルガ故ニ樹木ノ鬱蒼タル深山高嶺ノ間ニハ往々瀑布
ノ存スルヲ常トス本縣ニ於テモ瀑布ノ大ナルモノ北部ニ多キハ全ク是ニ
ヨルナリ今其ノ重ナルモノヲ舉クレバ備前ニハ深谷瀧 和氣郡三石川ノ上流ニ
トナリテ 水引瀧 和氣郡本庄村大中山熊山 龍王瀧 一ニ七瀑ト云ヒ又鳴瀧ト云フ高
津高郡上建部村 振瀧 津高郡福山村加 百々瀧 津高郡江與味村 アリ備前ニハ雄虎瀧 小田
建部上ニアリ 振瀧 津高郡福山村加 百々瀧 津高郡江與味村 アリ備前ニハ雄虎瀧 小田
面村大字宇内ニアリ高七八丈中央ニ磐石突出シ水ヲ 後月郡明治村大字花瀧ニアリ宇戸川ノ
コレニ觸レテ飛沫空ニ漲リテ下ニ實ニ奇觀トナス鳴瀧 上流トナス高十丈八尺幅二丈四尺此ノ

地山高ク深ク奇巖怪石樹木蒼鬱ノ間ニ屹峙シ深布チシテ一層ノ觀ヲ添ヘシト郷人水聲ノ高
低ニヨリテ晴雨ヲトス因リテ名ツケテ鳴瀧ト云フ蓋シ空氣乾濕ノ度ニ應シ水聲ニ高低ヲ生ス
ルモノナリ **西瀧** 後月郡西江原村ノ北部ニアリ高十八丈幅一丈二尺其ノ水北山ノ上 **東瀧** 後月郡
レバナリ 村假屋原ヨリ流出シテ西江原村才兒ニ落ツ故ニ又才兒瀧ノ名アリ **東瀧** 後月郡
ノ北部ニテ高九丈幅八尺西 **澤柳瀧** 川上郡大賀村上大竹ノ東北隅森川ノ下流ニアリ水道三段ト
瀧ト併稱シテ東瀧ノ稱アリ ナリ第一段ハ高十五丈其下深淵ヲナス第二段ハ四丈餘第三
段ハ二丈餘通シテ二 **布晒瀧** 川上郡東成羽村白谷川ノ上流ニアリ高九愛宕兩山ノ間 **昇龍瀧**
十丈極メテ巨觀トス **布晒瀧** 懸ル高九丈幅六尺其近傍楓樹ニ富ミ風景愛スベシ **昇龍瀧**
川上郡平川村穴針ニアリ高十餘丈水道二段トナリ **魚切瀧** 川上郡平川村下郷ニアリ高六丈水勢奔
リ白龍ノ九天ニ昇ルカ如ク因テ昇龍瀧ト云フ **魚切瀧** 川上郡平川村下郷ニアリ高六丈水勢奔
因リテ此名 **白蛇瀧** 川上郡手莊村國去山腹 **魚切瀧** 川上郡日里村明治 **不動瀧** 阿賀郡草間村
アリト云フ **白蛇瀧** 川上郡手莊村國去山腹 **魚切瀧** 川上郡日里村明治 **不動瀧** 草間ニアリ高
五丈 **不動瀧** 阿賀郡大佐山ノ東 **美作** ニハ **神庭瀧** 大庭郡神庭村ニアリ高十餘丈飛沫
アリ **不動瀧** 阿賀郡大佐山ノ東 **美作** ニハ **神庭瀧** 大庭郡神庭村ニアリ高十餘丈飛沫
其下敷町ノ間石灰岩壁立シ溪水ノ右側中部ニ水蝕 **鹽瀧** 真島郡別所川 **天魔瀧** 久米南條郡稻岡
作用ヨリ成レル洞窟アリ呼ヒテ神庭ノ鬼窟ト稱ス **鹽瀧** 真島郡別所川 **天魔瀧** 久米南條郡稻岡
流ニアリ **岩井瀧** 西々條郡上齋原村ノ西 **大町瀧** 西北條郡泉ケ山ノ東麓ニアリ下 **寺谷瀧** 西北
泉ケ山ノ南麓ニアリ下流ハ大 **不動瀧** 西北條郡花知ケ山ノ東麓ニアリ下 **寺谷瀧** 西北
瀧川ト稱シ香々美川ニ入ル **不動瀧** 西北條郡花知ケ山ノ東麓ニアリ下 **寺谷瀧** 西北
ス高 **英多郡泉** 等アリ而シテ神庭瀧最モ著ハル

本縣ノ池沼ハ自然的ノモノ甚少クシテ多シハ灌漑ニ便セシメタメニ開鑿シタルモノナリ而シテ其稍大ナルモノハ備前ニ大池和氣郡大内村ニアリ大池備前一里二丁面積三千歩福石和氣郡三石村ニアリ三石和氣郡三石村ニアリ岩土大池警斐郡深原村ニアリ可眞大池警斐郡可眞村ニアリ大池赤阪郡鳥取町ニアリ鳥取赤阪郡鳥取町ニアリ天満池赤阪郡西山村ニアリ大池赤阪郡鳥取町ニアリ福萬池赤阪郡福田ニアリ積二千赤阪郡仁堀村ニアリ中勢實大池中勢實ニアリ和池津高郡長田村ニアリ天王池兒嶋郡上尾ニアリ森池兒嶋郡木見村ニアリ龍王池賀陽郡下足守ニアリ長池賀陽郡大字立田ニアリ子池賀陽郡阿曾ニアリ天草池淺口郡鴨方村ニアリ馬飼池小田郡今井村ニアリ四手倉池川上郡成羽村ニアリ大堀池川上郡成羽村ニアリ信池後月郡高屋村ニアリ出雲池後月郡出雲村ニアリ宮ノ前池後月郡縣主村ニアリ地面池後月郡縣主村ニアリ圓地池後月郡木之子村ニアリ金切池後月郡江原村ニアリ

田原堰之圖



近藤弥壽太描

四、溝渠

ニアリ東西七十間 録迫池 後月郡東江原村ノ北方ニアリ東西四十間 十藏池 後月郡西江原ノ北方ニアリ
 間南北五十間 大島池 後月郡山之上村ノ中央ニアリ東西三十間 蛭田池 後月郡木之子村ノ西端ニ
 十六間アリ 池ハ東西五十八間南北五十間 泉谷池 後月郡足次村吉井ノ東部ニアリ東西四十間 神田池 後
 池ハ東西三拾間南北六十間 野田池 上房郡川面村ノ北方ニアリ東西六十間 長手池 上房郡豊野村ニ
 郡足次村吉井ノ西部ニアリ 東西二十六間 野田池 上房郡川面村ノ北方ニアリ東西六十間 長手池 上房郡豊野村ニ
 南北六十間 大茅池 上房郡上有漢村ニアリ東西三十五間 依原池 上房郡津井村ニアリ東西七十
 百五十八間 上房郡納地村ニアリ東西六十六間 行寄池 上房郡吉川村ノ西方ニアリ東西百三十三間
 八柳原池 上房郡納地村ニアリ東西六十六間 行寄池 上房郡吉川村ノ西方ニアリ東西百三十三間
 大佐山池 阿賀郡大佐山ノ嶺ニ等アリ 美作ニハ硯池 勝北郡北吉野村ニアリ 大藏池 上田村ニアリ
 誕生寺池 久米南條郡稻岡北村ニアリ 総ノ田池 久米南條郡神目村南島ニアリ 居屋池 東北條郡高田
 切池 勝南郡高取村ニアリ 里坂池 勝南郡勝間村ニアリ 大池 英田郡河高原池 英田郡福山ニアリ 檜原池 英田郡檜原
 等アリ 皆其ノ著名ナルモノトス

灌溉及ビ舟運ノ便ナ利センガタメニ堰堤ヲ設ケ溝渠ヲ開キテ河流ヲ導
 ケリ中ニ就テ其ノ主ナルモノヲ舉クニバ吉井河ニハ田原堰 磐梨郡石生村田原

十間是ヨリ導ケル溝渠ハ磐梨郡東南ノ田圃ニ灌漑ス冬日ハ堰ノ一部ヲ開放シ舟楫ヲ通スルニ適スルモ夏日ハ全ク河道ヲ杜絶シテ舟楫ハ是ヨリ溝渠ニ入り旅客ハ上陸シテ更ニ他舟ニ轉乘スルナ
 常トス一ノ口堰 和氣郡鶴山村坂根ニアリ長四百四十間邑 天王堰 上道郡御休村吉井ニアリ
 朝日河ニハ小倉堰 津高郡金川村ニアリ 寒掛堰 赤坂郡西高月村牟佐ニアリ 龍口堰 上道郡高島村ニアリ
 三挺樋堰 御野郡御野村ニアリ其溝渠ハ岡山市ノ西部ヲ繞リ西渠ト稱 アリ 高梁河
 ニハ港井堰 賀陽郡淺尾村井尻野ニアリ其ノ溝渠ハ淺尾村ヲ貫流シ惣社村ノ北ヲ環リテ田野
 庭瀬等ノ諸村ヲ流通シ都宇窪屋ニ郡ノ北部モ亦灌漑ヲコレニ受ク傳ヘ謂フ往古此ノ溝渠ハ
 窪屋郡溝口六本木ニアリシモ壽永年間妹尾兼康ナルモノコレヲ今ノ港井ニ改築セリトイフ 上
 原堰 下道郡神在村カガシ 窪屋郡中洲村酒津ニアリ一ニハケ郷渠ト云フ天ノ江堰 淺口郡船
 原ヨリ船穂長尾池田玉島阿賀崎ノ諸村ヲ灌漑シ玉島港ニ注ク俗ニコレヲ 水江堰 穂村柳井
 高瀬通ト云フ水多クシテ小舟ヲ通スルニ便ナリ萬治二年ノ開鑿ニ係ル 等アリ其ノ他細
 小ナル溝渠ノ如キハ枚舉ニ遑アラズ今左ニ縣下溝渠及ヒ池沼ノ數ヲ示メ
 スヘシ

備	溝		池	
	個	延長里數	個	面積
前	一六六〇〇	八六〇	四二五〇	一一三〇〇

五、鐵泉

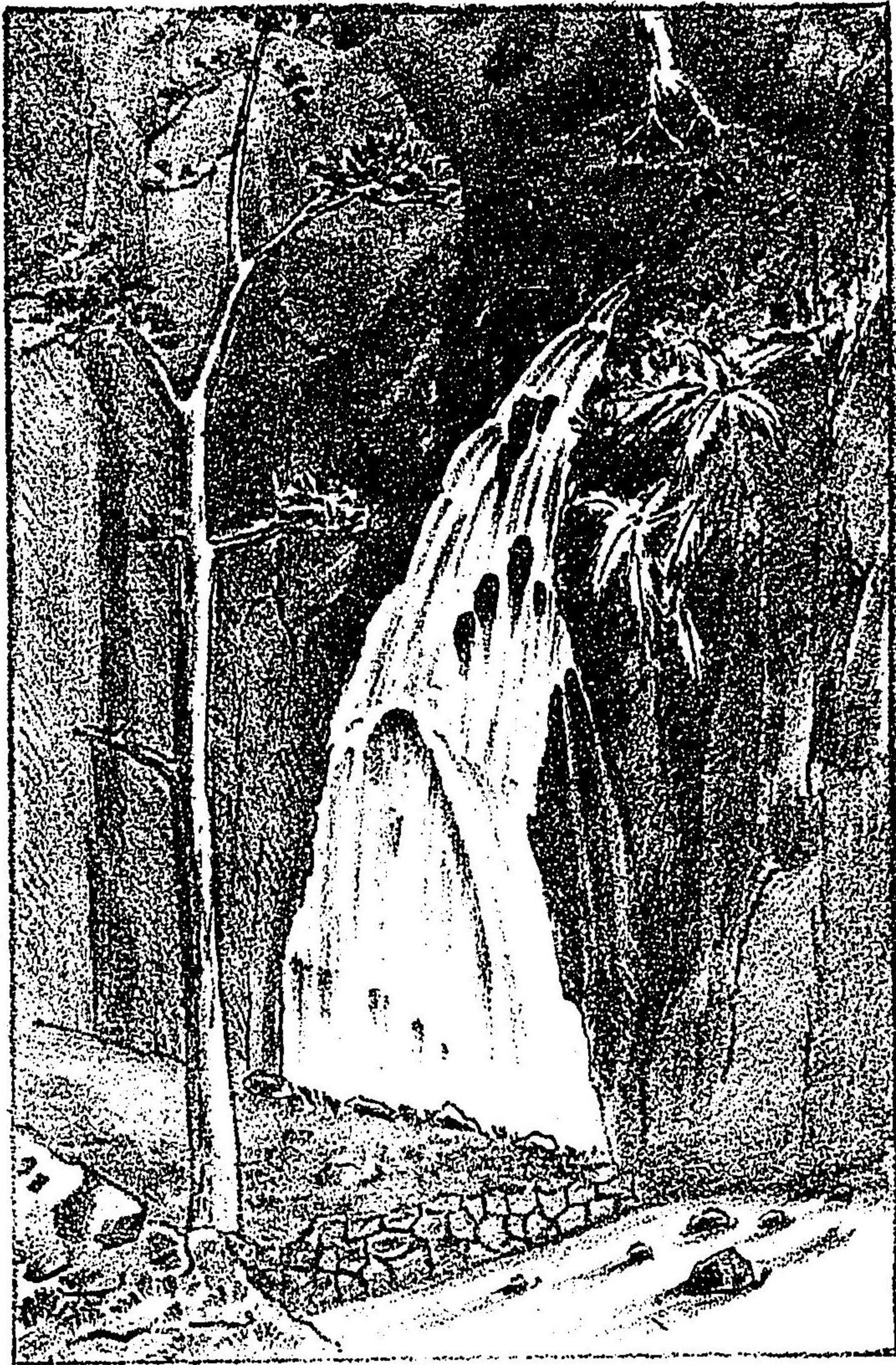
(イ) 温泉

本縣ハ頗ル鐵泉ニ富ミ其數十餘箇處ノ多キニ及ベリ中ニ就テ温泉ハ美作
 ノ一州ニ限リ是美作ハ日本内帯火山脈ノ通過スル所ニ接セルガ故ニ地
 盤ノ構造從ヒテ錯雜シ地皮ノ裂隙頗ル多キガ故ニ地中ニ浸滲シタル水流
 ハ倍々深ク下層ニ循環シ結局地心ノ熱氣ニ觸接シ以テ温泉ノ湧出ヲ起因
 セシムルモノナリ

備	美		中	
	作	計	作	計
美	一六五〇〇	三九〇	一〇五〇	四二〇
中	六六〇〇	三九〇	一一一九〇	二五〇〇
合	三五七〇〇	二〇四〇	一一一九〇	二五〇〇

温泉ハ朝日川上流ノ沿岸ニ湧出スルモノニハ金湯 眞島郡仲間ニアリ眞賀湯ト稱
 質ハ亞兒加里性ニ屬シ主治ハ胃腸衰弱及皮膚質性諸病ニ効アリ浴槽ハ岩石ヲ鑿チテコレヲ作
 クル温泉其ノ中央ニ噴出シテ溢レテ次ノ浴槽ニ入ル若シ竹筒ヲ以テ其噴出孔ニ挿入スルトキハ
 温泉更ニ筒中ニ溯リ其ノ頂端ヨリ溢出シ湯然トシテ頭上ニ濺カシムヘシ 類杏坪ガ眞賀温泉ニ
 浴スルノ詩ニ傳道金精眞賀山。靈巖千古出温泉。連槽激激可窺面。截竹激昂須打肩。餘液懸崖常聽
 雨。氣炎繞屋每生煙。豈知山鬼優扁鶴。能使人間百病痊。トアリ眞賀温泉ノ狀ヲ盡セリト云
 フヘシ傳ヘ言フ此ノ温泉原ト出雲十六島守護岩間政近ノ創メテ開ク所ニシテ其後元弘年間ニ
 至リ三船資成岩佐秀貞ナルモノ隠岐判官佐々木清高ト與ニ名和長年ヲ船上山ニ攻メ戰敗シ來
 リテ政近ノ家ニ投シ此ノ温泉ニ浴シ創痕頓ニ癒ユ二人遂ニ政近ノ二女ニ配シ茲ニ住シ浴地ヲ擴

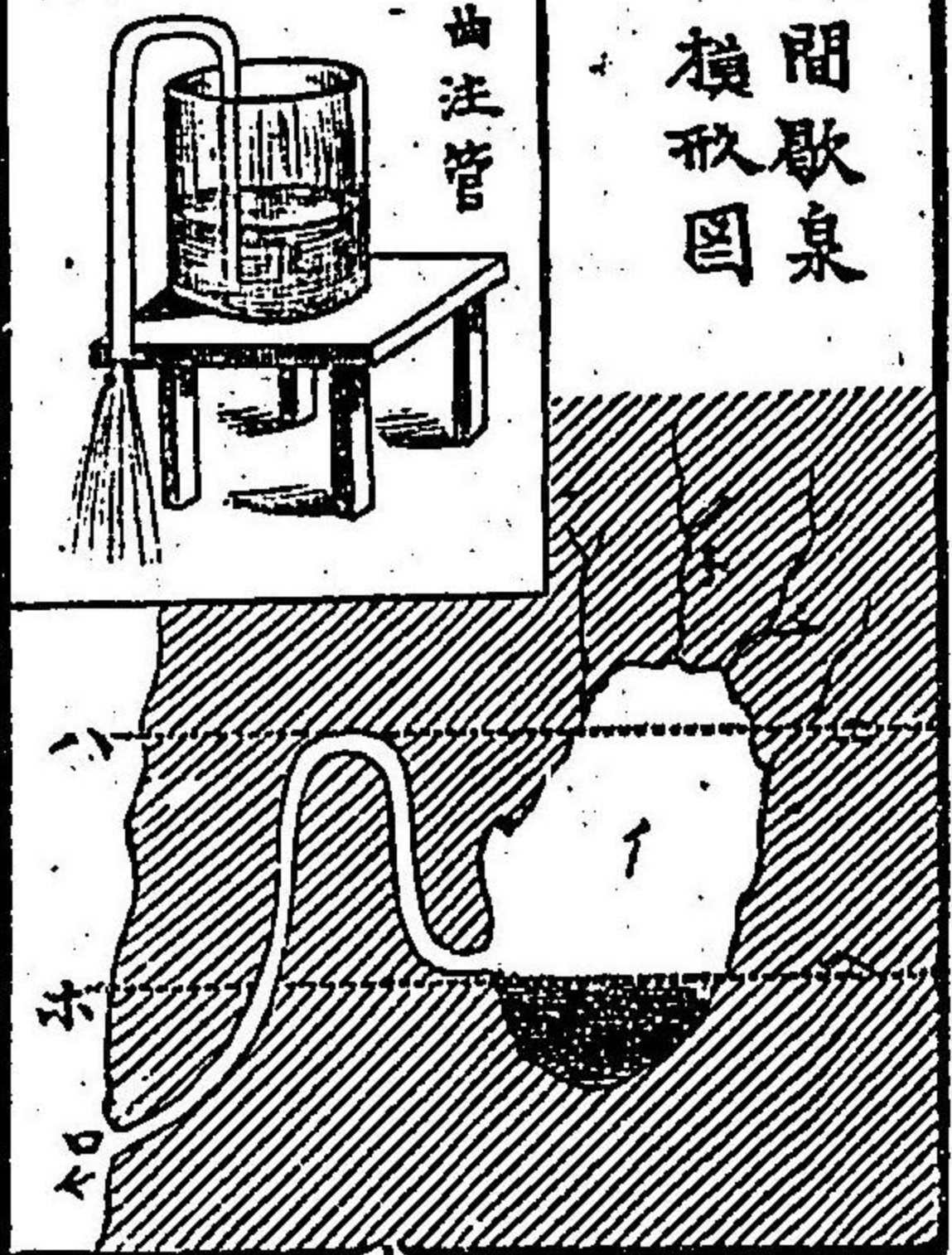
間歌泉噴出之圖(但位面見圖)



影山一雄描

へドモ阿賀郡草間村佐伏川ノ沿岸ニアル潮瀧ノ如キハ蓋シ我國ニ於ケル
間歇泉ノ的例トナスベキモノナリ思フニ潮瀧ノ名アルモノ里人ノ以テ其
原因潮汐ニ關係シテ泉水ニ間歇ヲ生スルモノナリト謬信セシヨリ此ノ名
稱ヲ導キシモノナリ然リト雖モ間歇泉ノ潮汐ニ關係シテ生スルモノニア
ラザルコトハ其流水ノ間歇スル潮汐ノ時刻ニ一致セザルヲ見テモ容易ニ
コレヲ知ルコトヲ得ベシ蓋泉水ノ一定ノ期限ヲ以テ湧出スルモノハ思フ
ニ地層中一ノ洞窟アリテ潜流セル水ノ次第ニ茲ニ滯溜シヨリ再ヒ
地上ニ湧出スルニ當リ其水路ノ偶然ニモ物理的曲注管ノ形状ニ屈曲スル
故ニ自然ニ其ノ作用ヲ管ムニヨリテ泉水ノ湧出ニ間歇ヲ生スルモノナリ
此ノ理ヲ解釋セシムルニ左ノ圖ニヨリテ便ナリトス圖中イテ岩石中ニアル洞窟トナシ
曲注管ノ形状ニ屈曲セル水道トナス今水イナル洞窟中ニ滯溜シハニノ點線ニ達スルトキハ
物理學上曲注管ノ理ニ基キ忽然トシテ水(水道ヨリ流出スルトイヘドモ須臾ニシテ水積漸ク
減テ終ニホヘノ點線ニ達スルトキハ流出俄ニ止ムニ至ルベシサレドモト及チノ水脈ヨリ洞窟
内ニ注入スル(水量漸ク滯溜シテ再ヒニハノ點線ニ達スルトキハ復流出スルコト初ノ如シ斯ノ
如クシテ間歇ヲ生スルニ至ルモノナリコレヲ要スルニ間歇ノ生スルモノハ主トシテ滯溜ノ遲

間歌泉
横切圖



溜スルニ遅速ヲ生スルモノナレバ從テ間歌ヲ生スルモ時ニ遅速アルヤ疑ナカルベシ此ノ間歌泉タル平時水道ヨリ少許ノ水斷ヘス流出スルカ故ニ間歌ノ生スル曲注管ノ物理的作用ノ理ニ抵觸スルガ如キモ是レ岩石中ノ洞窟中ヨリ出ツルニアラズシテ水道ノ兩側ヨリ浸出スルモノタルヤ疑ナシ

第四章 氣候

凡ソ氣候ハ土地ノ位置及ヒ地貌ニ從ヒ頗ル差異アルモノニシテ本縣ノ如キ南部ハ稍平坦ナルモ北方ハ頗ル高峻ナルカ故ニ從テ其ノ氣候モ亦南北相異ナルヲ知ルベシ

一、風位

風ノ方位ハ大ニ氣候ニ影響スルモノニシテ北風多クハ氣候寒ク南風多クハ氣候ノ暖ナルユトハ人ノ能ク知ル所ナリ本縣ノ最多風位ヲ見ルニ西風最モ多ク久米北條勝南大庭眞島西々條東北條ノ六ヶ所ハ北風ニシテ和氣上房哲多久米南條西北條勝北吉野ノ諸所ハ南風ナリ而シテ津高赤坂ノ二ヶ處ニ於テハ東風多トス左ニ岡山側候所ニ於ケル四季ノ風位ヲ示メスベシ而シテ春ハ北風最モ多クシテ南風少ク夏ハ東風多クシテ西風少ク秋ハ北風多クシテ南風最モ少ク冬ハ西風最モ多クシテ東風最モ少トス暴風ハ南部沿海地方ニ多ク北部ニ少シ今明治二十六年岡山測候所ノ調査ニヨルニ同年中南部ニ於テ暴風ノ十回以上吹キシハ小田邑久ノ二郡ニシテ就中其ノ最多ヲ示セシハ邑久郡ニシテ十六回ノ多キニ及ベリ而シテ北部ノ阿賀英田西北條大庭東北條吉野ノ六郡ハ五回或ハ六回ニシテ全ク吹カ

風位表

方向	四季			
	春	夏	秋	冬
北風	三一	二二	三八	二四
東風	一六	二九	三〇	一一
南風	一七	一六	九	一一
西風	二一	一五	一六	三八
靜穩	五	一九	七	一三

二、温度

ザリシハ糸南條及西々條ナリトス

温度ハ沿海地方ハ一般ニ温暖ナリトイヘドモ北部ニ至リテハ寒氣頗ル強

シ明治二十六年ニ於ケル平均温度ヲ見ルニ兒島小田窪屋邑久和氣ノ諸郡

ニ於テハ十五度或ハ十六度ヲ示メシ北部西々條勝北吉野等ニアリテハ十

三度ヲ示メセリト云フ而シテ岡山市ニ於ケル平均温度ハ十四度一ニシテ

高極ハ三十四度八低極ハ零度以下八度ニ至リ三十度以上ニ昇リシ日數

ハ六十九日間(自六月三十日 至九月三十日)ニシテ零度以下ニ降リシ日數ハ百三十一日間

(自十一月二十七日 至四月六日)ナリトス

氣壓ハ縣下各地ニ於テ未タ其ノ觀測ヲ經サルカ故ニコレヲ知ルコト能ハ

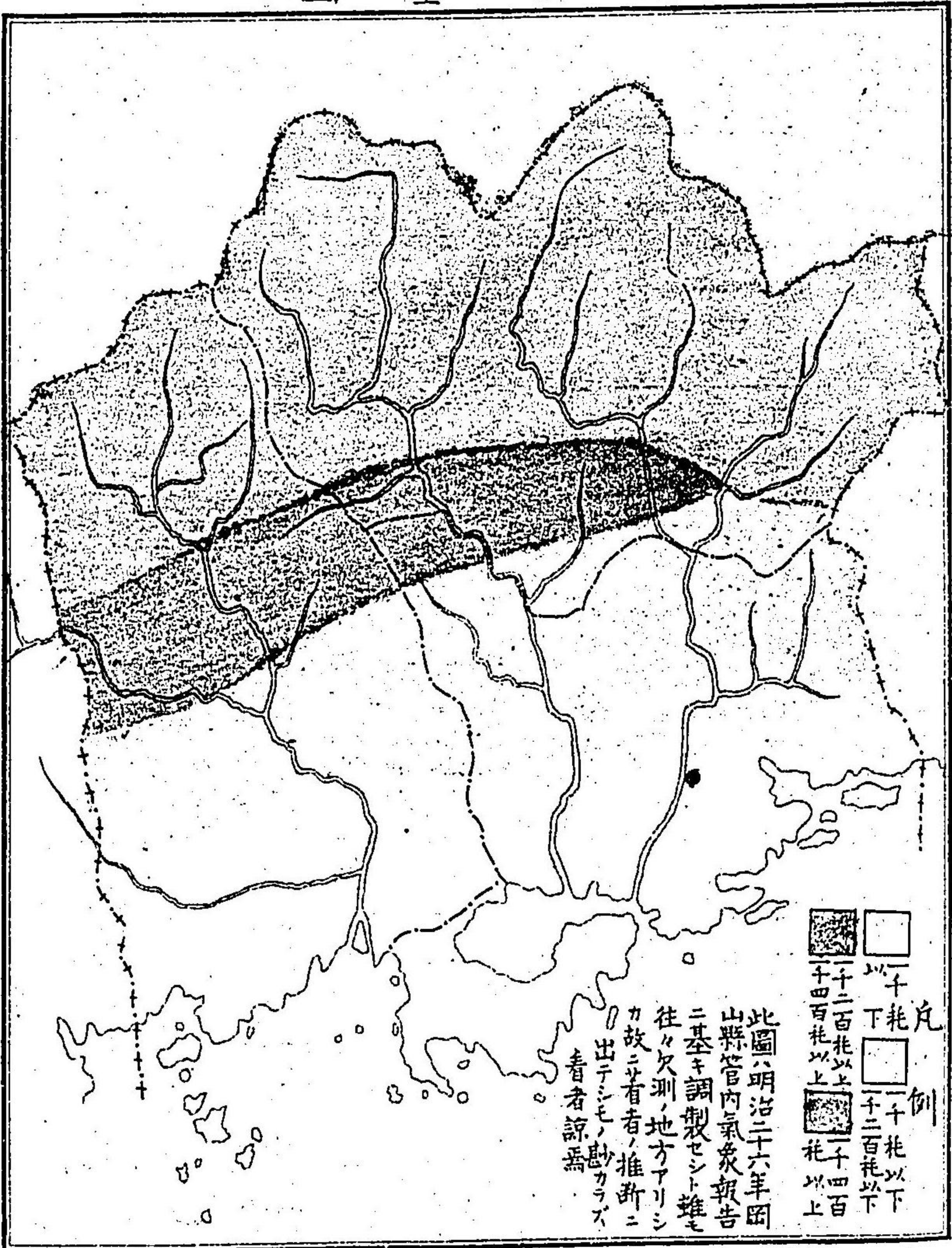
ズ岡山測候所ノ觀測ニ據ルニ岡山市ニ於テハ平均氣壓ハ七百六十一耗七

ニシテ最高ハ七百七十四耗五最低ハ七百四十二耗九ヲ示メセリト云フ

本邦夏季ノ風ハ南風若クハ南西風ニシテ南海上ヲ吹キ來ルヲ以テ充分

ニ濕氣ヲ包含セル暖風ナリトイヘドモ四國島ノ中央ニハ舊火成岩ノ連嶺

雨 雪 量 圖



鈴木一定 描

長、ニ東西、ニ横、ハルヲ以テ多量ノ水分子ハ其山脈ニ凝縮シテ茲ニ無量ノ
雨、荷ヲ卸シ南半土佐ノ地ハ常ニ膏雨ニ沐スルヲ得ルモ延キテ本縣ノ沿岸
ニ及ホスヲ得ズコレト同シク冬期ノ風ハ亞細亞大陸ヨリ來レル北風或ハ西
北風ニシテ日本海上對馬海流ヲ横絶スルガ故ニ多少ノ水分ヲ包含スルモ
北帶山脈ノ抑留スル所トナリ北方ノ地ハ白皚々トシテ滿目晶然ノ光景
ヲ呈スルモコレニ反シテ瀬戸沿岸ノ地ハ常ニ乾燥ヲ極メ降雪ヲ見ルコト
少ク偶コレアルモ寸ヲ超ユルコト稀ナリ斯ノ如ク瀬戸沿海ノ地ハ濕度少
キノミナラス其ノ溫度ノ如キモ亦他ニ比シテ高キガ故ニ海水ノ蒸發モ亦
甚シク從ツテ多量ノ鹽分ヲ停滯シ以テ鹽田ノ形成ニ適セシメ瀬戸内海四
周ノ諸國ト共ニ所謂十州鹽田ノ一ニ列シ其名ヲ四方ニ逞フスルモノ實ニ
空氣乾燥ノ賜トイフベシコレヲ要スルニ縣下濕度ノ最モ高キハ北部ニシ
テ其ノ低キハ沿海地方ニアリトス明治二十六年岡山測候所ノ調査ニ據ル
ニ岡山ニ於ケル濕度ノ平均ハ七十三度ニシテ平年ヨリ一度寡ク其最モ乾

五、天氣

モ遅カリシハ津高トス
 初霜ハ岡山津高上房川上阿賀勝南ノ六郡ハ十一月上旬ナリシモ他ハ一般
 ニ十月下旬ナリ就中最モ早キハ十月二十日ナリトス
 初雷ハ三月十五日及四月廿四日ノ兩日ニシテ終雷ハ六月十五日(和氣)ヨ
 リ十一月十七日(都宇上道)ノ間ニアリシト云フ
 雨天日數ハ二十六年ノ調査ニヨルニ 淺口都宇下道御野 川上ノ五郡ヲ除ク 八十九日乃至百五十
 日間ニシテ就中北部ハ南部ヨリ稍多ク其ノ最多ハ吉野(百五十日)最少ハ
 兒島(八十九日)ニアリ且ツ雪霰日數モ亦北部ハ南部地方ヨリ概チ一倍餘
 ノ日數ヲ示シ其最モ多キハ眞島ノ四十五日ニシテ降雹日數ハ後月、都宇、
 上道、岡山、和氣、津高、吉野ノ七郡ニシテ僅ニ一日ナリトス
 雷雨ハ南方地方殊ニ沿海ニ於テ最モ少ナク漸次北部ニ至リ稍多キガ如シ
 其最多ハ勝北、都宇ノ三十三回ニシテ最少ハ小田ノ一回ナリ又濃霧日數
 ハ南部ヨリ北部地方ニアリテハ常ニ多ク其ノ最多日數ハ西北條ノ二十八

日ナリトス

第五章 天產物

一、動物

動物ハ植物ト異リ自由ニ各地ニ移轉蕃殖スルガ故ニ植物ノ如ク地方特有
 ノモノ甚稀ナリ獨朝日吉井及高梁ノ上流ニ棲息スル鯢魚ハ動物學上最モ
 著名ナルモノニシテ兩棲類中最大ノ動物トナス 鯢魚ハ方言はんざと云フ兩棲類魚形科ニ屬シ學名チ Uroplora anechus, Japonicus, V. D. Hoey ト云フ幼時ハ頸側ニ於ケル小房中ニ小鰓ヲ具フトイヘドモ老成スルトキハ全ク消失シ唯肺ヲ以テ呼吸ス其肉ハ美味ナリト云フ體ノ長ハ二三尺ヲ常トストイヘドモ往々數尺ノ長ニ達スルモノアリ美作畧史ニヨルニ文錄年間良島郡向湯原ニ於テ捕獲セシモノハ其ノ長三丈五尺體ノ圍リ一丈三尺アリシト云フ實ニ異數ノモノナリト云フベシ 又
 此等ノ河ノ上流ニハ鰈魚 此魚ハ方言チひらめト云フ鰈科ニ屬スル魚ニシテ備中美作ノ溪流ニ産ス體ノ長二三寸ヨリ一尺ニ至ルモノアリ黒色或ハ赤色ノ斑紋ヲ有シ外貌頗ル美麗ニシテ四五ノ頃最モ美味アリト云フ ナ産セリ軟體動物ニハ伏老。水烏賊。藻貝等ハ
 瀬戸内海特有ノ動物ナリトス甲殼類ニハ蟹魚。平家蟹等ヲ産セリ而シテ
 蠶蟹ハ動物學上著名ナルモノナリ前尻類ニハ指甲螺アリ腔腸動物ニハ水
 母アリ備前水母トシテ食用ニ供セラル是本縣特有ノ動物トナス嚙形動物

ニハ淡鹹二水共ニ二口類原蟲ノ繁殖スルアリテ高粱河ニ沿ヘル川上郡玉川村兒島灣ニ沿ヘル兒島郡及都宇郡ノ諸村ニハ肺臟ぢすとま肝蛭ノ人類ニ寄生スルモノ多ク以テ一種ノ地方病ナセリ又岡山四近ノ地方ニハ十二指腸蟲アリ亦人類ノ體內ニ寄生シ特ニ岡山市西渠沿岸ノ人民此害ニ罹ルモノ多シト云フ左ニ兒島郡中疇ニ於ケル肝蛭患者ノ比例ヲ示ス

村名

現住人口

肝蛭患者

患者百分比例

西興除村中疇

一〇七二

六八一

六三、五二

東興除村新開中疇

一九三

五六

二九、〇一

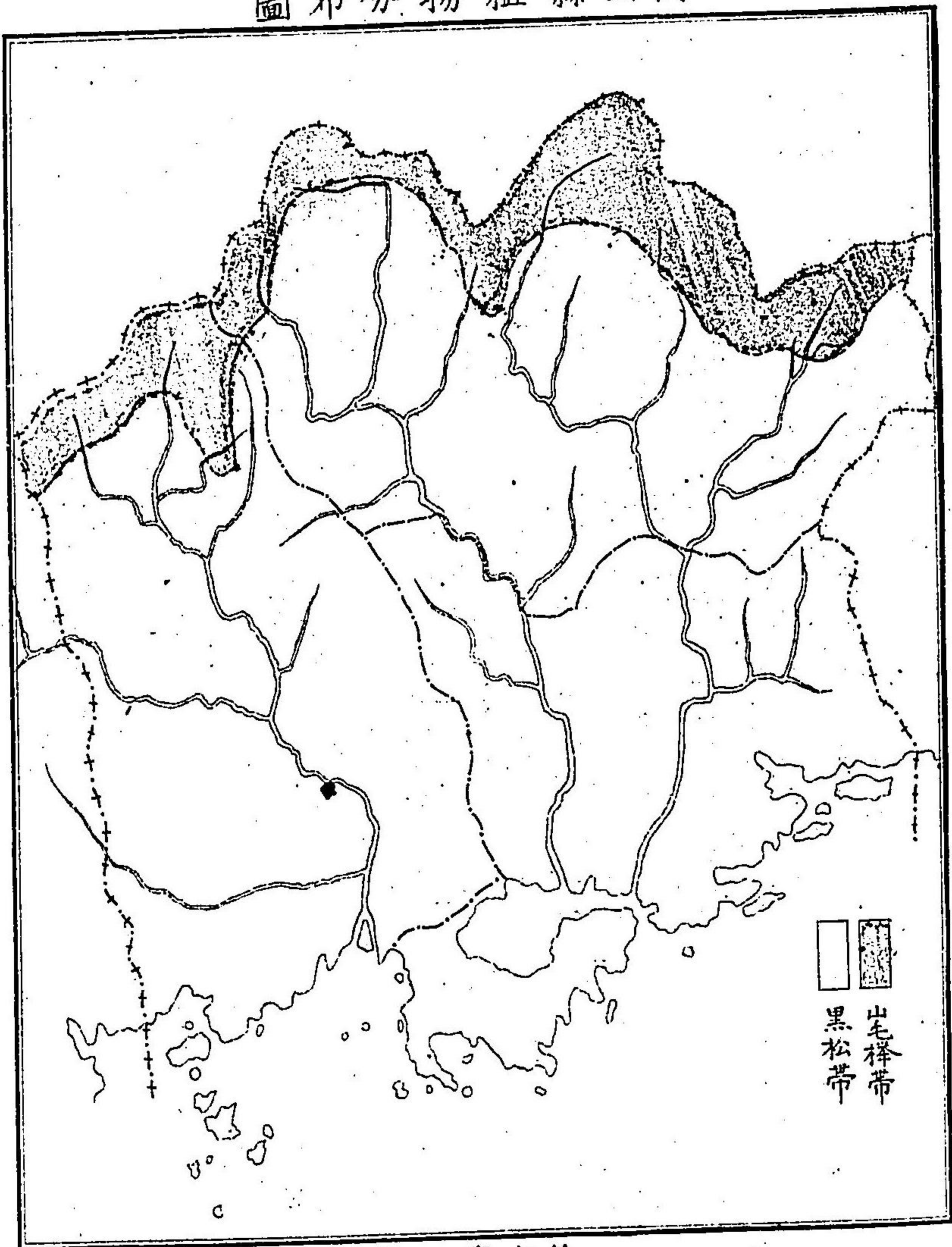
右ノ表ニヨリテ肝蛭ノ害毒其ノ甚シキヲ見ルベシ玉川村玉ニ於ケル肺臟ぢすとま患者モ其比例亦頗ル多ク一村殆其害ヲ蒙ルト云フ以上陳ベタルモノハ水生動物ノ重ナルモノトス
陸生動物ニハ昆蟲類最モ多シ然レトモ未ダ本縣ノ特有ナルモノヲ見ズ蝨類ニハ蝮蛇。守宮等最モ普通ニ見ル所ナリ鳥類モ亦本縣特有ノモノア

二、植物

ルヲ見ストイヘドモ岡山四近ノ地ニ烏ノ夥シキハ他縣ニ其比ヲ見サル所ナリ哺乳動物ニハ猪鹿及羚羊等ヲ産セリ殊ニ羚羊等方言ほら〜カト稱シ津高郡加茂山エユレナ産スト云フ
植物ノ蕃殖ハ氣候ニ應シテ差異アルモノニシテ土地ノ温度及濕氣ヲ異ニスルニ從ヒ植物モ亦從ヒテ異ルモノナリ而シテ其ノ同一植物ヲ生スル地方ヲ便宜ニヨリテユレナ總稱シ植物帶ト云フ我國ニ於ケル植物帶ハ五帶ノ區分(榕樹帶、黑松帶、山毛榉帶、白檜帶、樺帶、偃松帶)ヲ有セリ而シテ本縣ノ大部ハ此ノ五帶ノ區分中第二ノ黑松帶ニ屬シ北帶山脈ハ第三ノ山毛榉帶ニ屬シ其ノ區域二帶ニ互ルカ故ニ植物ノ種類モ亦從ヒテ多キト疑ナカルベシ唯未ダ詳細ノ調査ヲ經ザルガ故ニ精確ナル分布ヲ示メスヲ得ズトイヘドモ著者ノ探究スル所ニ據ンバ南部地方ノ丘陵ニ於ハ羊齒植物中ひめうらじら(Cheranthoides argentea)鳳雄尾草、金雞脚、石葦、〜〜か〜〜(Lomaria niponica, Kunze)等普通ニ見ル所ナリトイヘトモ備中美作ノ北部ニ至リテハ是等ノ植物ヲ見ルユト稀ニシ

アユレニ反シテ水肌周じゆうもんじくだ (Asplenium tripteris) 過壇龍、磨螺草、海州骨碎補、蛇眼草。ツルじらん (Gymnogramme lanceolata, Hook.) 多じのを (Tomaria euphlebia, Kunze. ツルでんだ (阿賀郡上水田鐘乳窟) いはでんだ (Woodsia polystichoides, Eaton) 卷柏等ハ到ル所ノ山麓谿涯ニ於テ普通ニ見ル所ナリ又松柏科植物ニ於テモ南方ニハ黒松杜檜等ハ最モ普通ニ見ル所ナリトイヘドモ北方ニ至ルニ從ヒ赤松、榎、粗榧、羅漢柏、梅等ヲ生ゼリ以上ノ二類ヨリ推スモ南北植物ノ分布ヲ異ニスルヤ明カナリトス其他ノ植物ニ至リテハ千種萬類一々茲ニ枚舉スベカラズトイヘトモ先ツ地方特有ノ植物ヲ舉クレバ備中美作ノ北部卑濕ノ地阿賀郡多和峠木谷真島郡深谷澤ニハ鷲手玉鳳花。みずとんぼ (Habermaria radiata, Juhn) 山梗菜ヲ生シ高田川奥津川ノ沿岸ニハ石南花及ヒ丁字菊ノ分布アリ那岐山赤山大佐山等ノ諸高山ニハきやうがのこ (Spiraea Purpurea Maxim) おひひる草 (Smilacina bifolia, Desf.) 此草那岐山ノ巔ニ最モ多シ方音ニシテ那岐草ト稱スト云フ うめばち草 (Parnassia palustris) おうりんくわ (Irida salicina, L.) 多シ而シテ那岐山ニハ寄生植

岡山縣植物分布圖



鈴木木一定 描

三、鐵物

物ヲ以テ有名ナル野菰ヲ生セリ其他八本山ノすゞたけ(Bambusa senanensis)阿賀哲多兩郡ノ山間ニ生スルつくばねうしぎ(Abelia spantania)等ハ共ニ漬物

ノ原料ニ供スルヲ以テ著ハル

本縣ハ地貌ノ錯雜甚シク各處ニ火成岩ノ噴出アルカ故ニ從ツテ地心ノ礦物地上ニ露出シ三國トモ各種ノ礦物ニ富メリ就中其最モ多キモノハ銅ト

ナシ鐵。石炭。銀。鉛。硫化鐵。砒石。滿淹。安質母尾等コレニ次ク而キテ是等

礦物ノ分布盛ナルモノ備中ヲ以テ第一トナス而シテ銅鑛ノ著名ナルモノ

ニハ備中ニハ吹屋ノ銅坑 吹屋村吹屋ニアリ大同二年ノ開坑ニシテ爾來千餘

年開坑ニシテ採掘ヲ以テ今ニ至ル銅坑ニアリ一

ハ吹屋ノ東方大澤ニアリコレヲ舊敷ト云フ一ハ吹屋ノ東北吉岡山ニアリコレヲ

新敷ト云フ現今盛ニ採掘スルモノ此ノ新式ニアリトス製鍊所ハ山腹ニアリ規模

最モ宏大ニシテ其ノ熔礦爐ニ送クル風力ハ二十五萬馬力ノ蒸 吉田ノ銅坑 郡中

瀛機關ヲ用ユト云フ一年間製鍊ノ總額十萬貫ニ及フト云フ 庄村ニアリ二坑アリ一ヲ鳥羽坑ト稱シ一ヲ猿曳坑ト稱ス前者ハ明治六年十二月

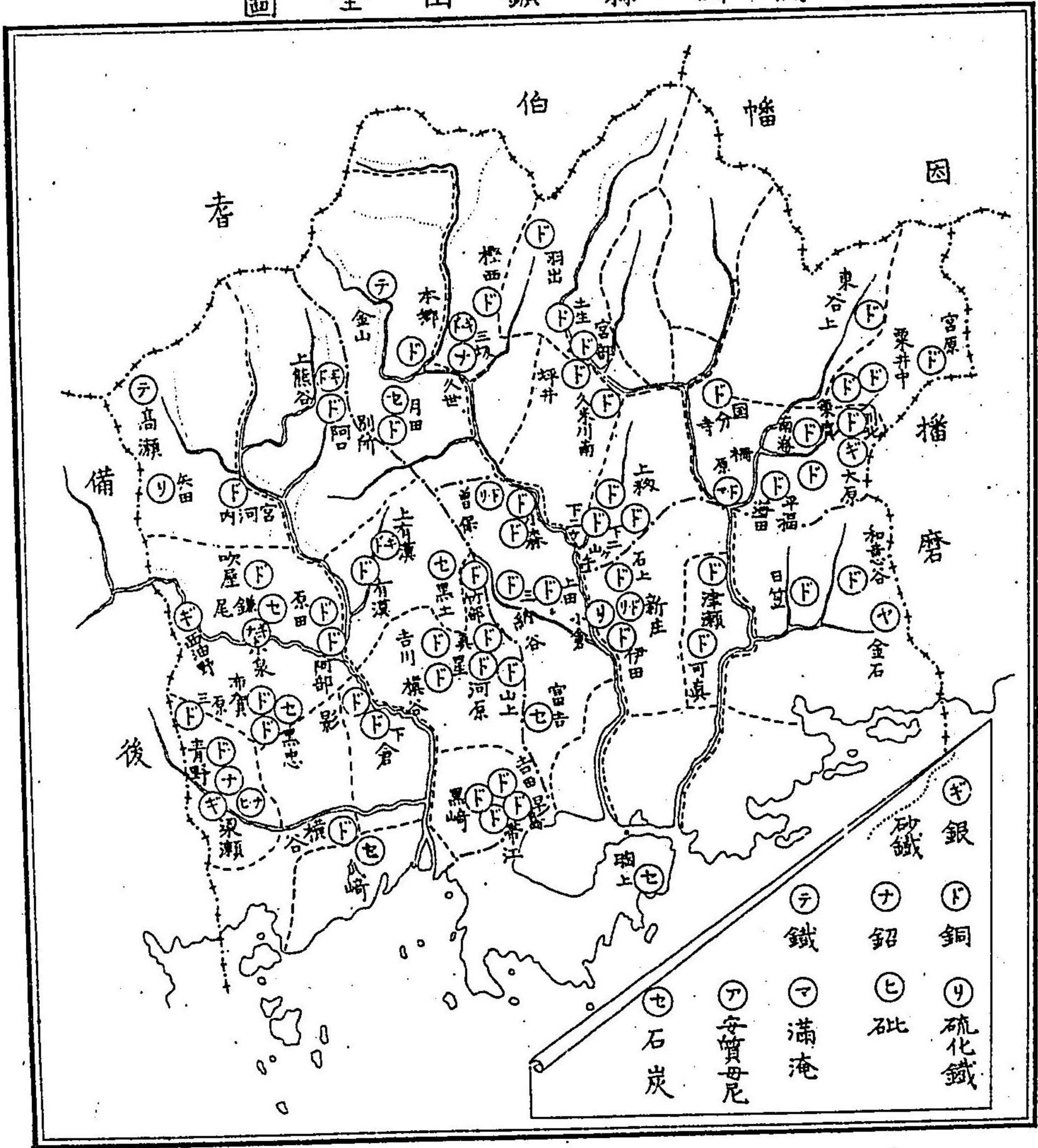
ノ開坑ニ係リ後者ハ明治七年ノ開坑ニ係ル二坑製鍊ノ總額明治十二年ヨリ同二

十一年ニ至ル三萬五千四百 帶江ノ銅坑 都宇郡中庄村帶江ニアリ明治十年十一月ノ開坑ニ

百三十六貫ニ及フト云フ 五十五

平均額四千九百十
 四貫三百目トス 金才ノ銅坑 都宇郡早島村ニアリ明治六年八月ノ開坑ニシテ明治二十三年
 八百五十
 七貫トス彌高ノ銅坑 小田郡三谷村横谷ニアリ元文年間ノ開坑ニ係リ其後久シク中絶セシモ
 平均十八萬二千八百八
 十二貫ニ及フト云フ 等アリ而シテ吹屋ノ銅坑ハ其産出ノ夥シキユト山陽道
 屈指ノ銅山トナス美作ニハ國盛ノ銅坑 勝南郡川邊村 國分寺ニアリ久米ノ銅坑 久米北條郡久米村
 ナリテ其ノ著名ナルモノトナス備前ニハ鑛物ノ分布以上二國ニ比シテ甚
 少ナシ是レ其ノ地質ノ構造大率冲積的ヨリ成レルカ故ナリ然レトモ北部
 火成岩ニ屬スル地方ハ銅鑛稍多シ中ニ就テ笹目ノ銅坑 津高郡新山村 ナリテ
 其ノ著名ナルモノトナス鐵鑛ハ銅鑛ニ比シテ其ノ分布頗ル少シ其稍著名
 ナルモノヲ舉クレバ備前ニ高瀬 哲多郡新 高瀬 郷村高瀬 美作ニ釜山 與島郡美 釜山
 鐵ハ其ノ分布稍廣ク備前ニハ西川 高梁川 熊谷川 小坂部川 及成羽川 上流ノ
 沿岸ニハ多少ノ砂鐵ヲ産セサルハナシ美作ニハ神代川 本庄川 高田川 上
 流及奥津川 上流ニ其ノ分布ヲ見ル銀鑛モ其分布亦少ク備前ニ梁瀬 後月郡芳
 水村梁瀬

岡山縣鑛山全圖



ニア 西油野 川上郡湯野村 上熊谷 阿賀郡熊谷村 上有漢 川上郡上房郡上有漢村ニアリ開坑年
七年再ヒ開坑シ今 等アルモ其産額頗ル少ク美作ハ其ノ分布最モ少クシテ僅ニ
ハ亦廢坑ニ歸セリ 大庭郡久世村 大原 大庭郡大原ニアリ 二坑アルニ過キズ鉛。鑛。ハ備中ニ小泉ノ鉛
三坂 大庭郡久世村 大原 大庭郡大原ニアリ 二坑アルニ過キズ鉛。鑛。ハ備中ニ小泉ノ鉛
坑 川上郡中村小泉ニアリ大同二年ノ開坑ニシテ其後中絶セシモ近時又開坑スルニ至レリ 礦坑
二條アリ一チ大盛坑ト云ヒ一チ文化坑ト云フ坑内礦石ヲ運搬スルタメニ軌道ヲ設ク一ハ三
百間ニシテ一ハ三百十間アリ一ケ年採掘ノ礦石三十萬貫ニ 美作ニ茶臼山ノ鉛鑛世村茶臼
及フ又銀ヲ産シ鑛石百貫目二百五六十匁ヲ含有セリト云フ 山ニ 等アリ而シテ小泉ノ鉛鑛最モ著ル石炭ハ固ト太古植物ノ水中ニ埋没
シ後チ壓力ヲ受ケ次第ニ炭化シタルモノナルガ故ニ此ノ鑛物ノ分布アル地
方ハ必ス水成岩分布ノ區域ニ限ルモノナリ而シテ本縣ニ於ケル水成岩ノ
分布ハ其區域西南ニ偏スルガ故ニ石炭ノ分布モ亦從ツテ此ノ地方ニ多シ
トス即備前ニハ胸上 兒島郡胸上村 富吉 津高郡馬屋上 石炭坑アリ備中ニハ瓜
崎 淺口郡長尾村 黒忠 黒忠ニアリ 黒土 上房郡下竹莊村黒土ニアリ 録尾 川上郡成羽村録尾ニアリ
月ノ開坑ニシテ一ケ年ノ採掘額 一千二百二十五萬斤ニ及フト云フ 等ノ石炭坑アリ中ニ就テ録尾ヲ其ノ最モ盛ナル

モハトス美作ニハ唯月田興島郡月田村ニアリノ一坑アルノミ硫。化。鐵。鑛。ハ備前ニハ新
 庄赤坂郡五條村新庄ニアリ小倉赤坂郡竹枝村晉保津高郡江與味村晉保ニアリ等ノ地ニユレテ産シ備中ニハ矢
 田哲多郡矢田ニ産セリ滿淹勝南郡南和氣村ハ美作ノ柵原勝南郡南和氣村柵原ニ産シ安質母和氣郡英尼和氣郡英ハ備前和氣郡英
 保村ニ産セリ其他比。硫。鐵。鑛。(Arsenopyrite, Mispickel)磁。黃。鐵。鑛。(Pyrrhotite)方。鉛。鑛。(Galena, Galenite)閃。亞。鉛。鑛。(Cinnabarite)黃。鐵。鑛。(Ironpyrite)等ノ諸鑛物ハ夥シク縣下各
 地ニ産出シ一々枚舉スベカラズ

第貳編 人文地理

第一章 政治

一、行政區劃

本縣ノ行政ハ知事ユレテ總轄シ政務ヲ内務部警察部直稅署間稅署及監獄
 署等ニ分テ縣會アリテ財政ノ議ニ參セリ縣會議員ハ四十九人アリテ各郡
 凡一二人ヲ選出シ每歲一回通常會ヲ開キ又常置委員十四人ヲ置キテ以テ
 知事ノ諮詢ニ備ヘシム縣會議員ノ選舉權ヲ有スルモノハ四萬六千二百〇
 七人ニシテ被撰舉權ヲ有スルモノハ二萬二千六百三十人アリ衆議員ノ撰
 舉區ハ分チテ七區トナシ岡山市及御野上道邑久兒島ノ四郡ヲ第一區トナ
 シ津高、赤阪、磐梨、和氣ノ四郡ヲ第二區トナシ都宇、窪屋、賀陽、下道ノ四
 郡ヲ第三區トナシ淺口、小田、後月ノ三郡ヲ第四區トナシ上房川上哲多阿
 賀ノ四郡ヲ第五區トナシ眞島、大庭、西々條、西北條、東南條、東北條ノ六
 郡ヲ第六區トナシ勝北勝南吉野英田久米北條久米南條ノ六郡ヲ第七區ト
 ナス撰出議員ノ數ハ第一區ハ二人ニシテ其他ハ皆一人トナス衆議員撰舉

權及被撰舉權ヲ有スルモノハ合計一萬四千八百八十七人中ニ就テ撰舉權
 ナ有スルモノ一萬三千二百八十人アリ貴族院多額納稅者ノ直接國稅納額
 ハ合計二萬九千四百七十圓ニシテ最高額ハ五千八百六十五圓最低額ハ一
 千〇八十五圓ナリトス(明治二十年六月調査)又施政ノ便宜ニヨリ縣内ニ一個ノ市役所
 十九個所ノ郡役所ヲ置キ市ニ市長郡ニ郡長アリテ其政務ヲ總ヘシム郡役
 所ノ下ニ町村役場アリ町長又ハ村長ヲ置キテ其事務ヲ理メシム而シテ市
 ニハ市會アリ町村ニハ町村會アリ以テ市長村長ノ諮詢ニ便ニス市會ハ岡
 山市ニ限り議員二十六人ヲ定員トシユレガ撰舉權ヲ有スルモノ二千三百
 八十二人アリ町會ハ津山東、津山、高粱、倉敷、笠岡ノ五町ニシテ其議員數
 八十二人選舉權ヲ有スルモノ一千九百六十一人アリ村會ハ各村大率其制
 定アラザルナク而シテ其ノ議員ノ定數ハ五千百九十六人選舉權ヲ有スル
 モノ十二萬九千五百九十六人アリ其他後月郡ノ神代村及東江原村ト山村
 下鴨村及上鴨村トノ四村ニ限り組合會ナルモノアリ是レ町村制第百十六條

ニ據リ組合村全般ノ事務ヲ共同處辨スルタメニ定メラレタルモノニシテ
 其議員ノ定數ハ三十一人撰舉權ヲ有スルモノ四十三人アリ以上ハ縣下施
 政ノ大要トナス今左ニ表ヲ掲ケテ郡役所所在地及其ノ所管ノ町村ヲ示ス

郡役所名	所在地	所轄町數	所轄町名
御野郡役所	石井村	十村	古鹿田、御野、伊嶋、石井、大野、鹿田、今、芳田
津高郡役所	金川村	二十二村	白石、一宮、馬屋下、平津、横井、野谷、馬屋上、宇垣、金川、上建部、建部、宇甘東、宇甘西、加茂、福山、長田、上田、富津、豐岡、新山、江與味
赤阪郡役所	赤阪郡	二十六村	西高月、東高月、鳥取下、鳥取中、西山、鳥取上、輕部、笹岡、周匝、山方、仁堀、布都美、竹枝、五城、葯城、佐伯北、佐伯本、佐伯上、石生、豐田、小野田、可真、大田
磐梨郡役所	西輕部	二十六村	吉岡、物理、瀧瀬
和氣郡役所	片上村	十八村	熊山、鶴山、香登、伊部、片上、伊里、日生、福河、三石、美保、神根、三國、藤野、本莊、和氣、日笠、山田、鹽田、邑久、福田、今城、豐原、豐、大和、幸嶋、朝日、大宮、鹿忍、牛窓、長濱、本庄、玉津、裳掛、鶴山、美和、國府

後月郡役所	下道郡役所	賀陽郡役所	上房郡役所	川上郡役所	哲多郡役所	阿賀郡役所	眞島郡役所	大庭郡役所
西江原村	岡田村	高松村 原古才村	川上郡 一町	高梁町 二十六村	阿賀郡 新見村	眞島郡 眞島郡	眞島郡 眞島郡	眞島郡 眞島郡
十六村	十四村	十八村	一町	二十六村	二十四村	眞島郡 眞島郡	眞島郡 眞島郡	眞島郡 眞島郡
高屋出部 高屋明治 久代下倉 岡田川邊 庭瀨眞金 日美富山 高梁町 豐野下竹 東成羽 湯野次屋 上市新郷 新見美穀 皆部刑部 勝山川 鹿田美原 二川八幡 河内阿陽 二宮院庄	高屋出部 高屋明治 久代下倉 岡田川邊 庭瀨眞金 日美富山 高梁町 豐野下竹 東成羽 湯野次屋 上市新郷 新見美穀 皆部刑部 勝山川 鹿田美原 二川八幡 河内阿陽 二宮院庄	高屋出部 高屋明治 久代下倉 岡田川邊 庭瀨眞金 日美富山 高梁町 豐野下竹 東成羽 湯野次屋 上市新郷 新見美穀 皆部刑部 勝山川 鹿田美原 二川八幡 河内阿陽 二宮院庄	高屋出部 高屋明治 久代下倉 岡田川邊 庭瀨眞金 日美富山 高梁町 豐野下竹 東成羽 湯野次屋 上市新郷 新見美穀 皆部刑部 勝山川 鹿田美原 二川八幡 河内阿陽 二宮院庄	高屋出部 高屋明治 久代下倉 岡田川邊 庭瀨眞金 日美富山 高梁町 豐野下竹 東成羽 湯野次屋 上市新郷 新見美穀 皆部刑部 勝山川 鹿田美原 二川八幡 河内阿陽 二宮院庄	高屋出部 高屋明治 久代下倉 岡田川邊 庭瀨眞金 日美富山 高梁町 豐野下竹 東成羽 湯野次屋 上市新郷 新見美穀 皆部刑部 勝山川 鹿田美原 二川八幡 河内阿陽 二宮院庄	高屋出部 高屋明治 久代下倉 岡田川邊 庭瀨眞金 日美富山 高梁町 豐野下竹 東成羽 湯野次屋 上市新郷 新見美穀 皆部刑部 勝山川 鹿田美原 二川八幡 河内阿陽 二宮院庄	高屋出部 高屋明治 久代下倉 岡田川邊 庭瀨眞金 日美富山 高梁町 豐野下竹 東成羽 湯野次屋 上市新郷 新見美穀 皆部刑部 勝山川 鹿田美原 二川八幡 河内阿陽 二宮院庄	高屋出部 高屋明治 久代下倉 岡田川邊 庭瀨眞金 日美富山 高梁町 豐野下竹 東成羽 湯野次屋 上市新郷 新見美穀 皆部刑部 勝山川 鹿田美原 二川八幡 河内阿陽 二宮院庄

邑久郡役所	上道郡役所	都宇郡役所	窪屋郡役所	淺口郡役所	小田郡役所	兒島郡役所	上道郡役所
西大寺村	西大寺村	倉敷町	倉敷町	玉島村	笠岡町	味野村	西大寺村
四十五村	四十五村	一町	一町	二十七村	一町	三十一村	四十五村
行幸笠加 三擧字野 御休角山 三龜池田 味野赤崎 粒江藤戸 下加茂上 田井玉野 加茂玉野 妹尾山田 常盤山手 倉敷町大市 窪屋山手 淺口玉島 小田笠岡 小田笠岡 山田川面 山田川面	行幸笠加 三擧字野 御休角山 三龜池田 味野赤崎 粒江藤戸 下加茂上 田井玉野 加茂玉野 妹尾山田 常盤山手 倉敷町大市 窪屋山手 淺口玉島 小田笠岡 小田笠岡 山田川面 山田川面	行幸笠加 三擧字野 御休角山 三龜池田 味野赤崎 粒江藤戸 下加茂上 田井玉野 加茂玉野 妹尾山田 常盤山手 倉敷町大市 窪屋山手 淺口玉島 小田笠岡 小田笠岡 山田川面 山田川面	行幸笠加 三擧字野 御休角山 三龜池田 味野赤崎 粒江藤戸 下加茂上 田井玉野 加茂玉野 妹尾山田 常盤山手 倉敷町大市 窪屋山手 淺口玉島 小田笠岡 小田笠岡 山田川面 山田川面	行幸笠加 三擧字野 御休角山 三龜池田 味野赤崎 粒江藤戸 下加茂上 田井玉野 加茂玉野 妹尾山田 常盤山手 倉敷町大市 窪屋山手 淺口玉島 小田笠岡 小田笠岡 山田川面 山田川面	行幸笠加 三擧字野 御休角山 三龜池田 味野赤崎 粒江藤戸 下加茂上 田井玉野 加茂玉野 妹尾山田 常盤山手 倉敷町大市 窪屋山手 淺口玉島 小田笠岡 小田笠岡 山田川面 山田川面	行幸笠加 三擧字野 御休角山 三龜池田 味野赤崎 粒江藤戸 下加茂上 田井玉野 加茂玉野 妹尾山田 常盤山手 倉敷町大市 窪屋山手 淺口玉島 小田笠岡 小田笠岡 山田川面 山田川面	行幸笠加 三擧字野 御休角山 三龜池田 味野赤崎 粒江藤戸 下加茂上 田井玉野 加茂玉野 妹尾山田 常盤山手 倉敷町大市 窪屋山手 淺口玉島 小田笠岡 小田笠岡 山田川面 山田川面

西々條	西北條郡役所	西北條郡三村町	羽出 奥津 上登原
東南條	津山町	西宮田 一宮 田邑 香々美南 香々美北	
東北條	津山東町	林田 高野 東吉田 東一宮	
勝北郡役所	勝南郡	神庭 高倉 高田 加茂 西加茂 東加茂 上加茂 阿波	
勝南郡役所	勝間田村	新野 廣戸 勝加茂 廣野 植月 吉野 勝田 古吉野	
吉野郡役所	英田郡	北吉野 豐田 豐並 梶並 瀧尾 飯岡 南和氣 北和氣	
英田郡役所	倉敷村	高取 大崎 河邊 勝間田 豐國 湯郷 公文 飯岡 南和氣 北和氣	
久米北條郡役所	久米南條郡役所	西栗倉 東栗倉 大原 石井 讚甘 大野 大吉 吉野	
久米南條郡役所	郡弓削村	粟井 栗廣 倉敷 檜原 江見 土居 豊田 河會 巨瀬 福本	
		大井西 大井東 大倭 久米 三保 打穴 倭文東	
		倭文中 倭文西 西川 辨和 大塚和 鶴田	
		弓削 吉岡 福岡 佐長山 豊岡 稻岡北 稻岡南	
		龍川 龍山 福渡 神目	

郡役所ハ一郡一役所ヲ置クトイヘドモ人口ノ粗密ト土地ノ廣狹トニヨリ
 二郡或ハ二郡以上合併シテ一郡長ノ下ニ統轄セラル、モノアリ其ノ合併

二、戸數人口

セルモノヲ舉クレハ備前ニ於テハ赤阪磐梨ノ二郡ト相合シ邑久上道ノ二郡ト合併スルアリ備中ニ於テハ都宇窪屋ノ二郡ト相合シ上房川上ノ二郡ト相合シ哲多阿賀ノ二郡ト相合スルアリ美作ニ於テハ大庭眞島ト相合シ勝北勝南ト相合シ英田吉野ト相合シ久米南條久米北條ト相合シ西々條西北條東南條及東北條ノ四郡相合スルアリ所轄町村ハ一町若クハ一村ニ大率一ノ町長村ヲ置クトイヘドモ唯後月郡ノ神代村東江原村ノ二村山村下鴨村上鴨村ノ三村ハ組合村ト稱シテ一村長ノ下ニ各一村以上ヲ理ムルアリ縣下ノ總戸數ハ二十一萬六千八百九十二戸ニシテ就中備中ハ戸數最モ多ク備前美作ヨレニ次ク人口ハ百〇八萬八千八百七十九人ニシテ本邦人口ノ四十六分ノ三強ニシテ平均一万里ニ凡二千四百三十六人ニ當リ一戸ニ付キ人口五、〇二〇ニ當レリ中ニ就テ備前ハ豐饒ナル平地多ク且運輸灌漑ニ便ナルヲ以テ人口最稠密ニシテ平均一万里ノ人口凡三千五百人ニ當リ備中ハコレニ次テ凡二千七百人ニ當リ美作ハ山岳多ク交通運輸ノ便乏シ

キカタメニ最モ稀疎ニシテ僅ニ一方里ニ一千五百人ニ過キズ而シテ吉井朝日高梁ノ三大川下流近傍ニ連亘セル平地ハ瀬戸内海ニ接シテ魚介ニ富ミ土地豊饒ニシテ耕作ニ適シ交通運輸モ亦便ニシテ生業ニ必須ナル條項悉ク具備セルヲ以テ住民最モ集合シテ本縣繁華ノ中心トナレリ即岡山邑久上道兒島御野都宇窪屋賀陽下道及淺口ノ一市九郡ハ其ノ面積僅ニ八十四方里ニシテ管下全面積ノ五分ノ一ニ過キサレドモ其ノ人口ハ凡四十八萬ニシテ全人口ノ五分ノ二ヲ超ヘ平均一方里ニ付キ五千五百人ニ及ベリ左表ニヨリテ各郡ノ大小及人口ノ粗密ヲ知ルヘシ

郡名	面積	戸數	人口		一方里ニ對スル人口ノ比例
			男	女	
岡山市	二	九,五八一	一六,九七〇	一六,九七〇	一六,九七〇
御野郡	三,八	五,二二二	三,三三七	三,三三七	六,九四一
津高郡	三,三	七,九三三	二,二八六	二,二八六	一,九二四
赤阪郡	三,七	五,九四二	一五,五〇四	三,七〇〇	二,三〇九
磐梨郡	七,六	三,六三二	九,九二二	八,二二二	二,二九二
和氣郡	三,三	八,〇一一	二,一七一	二,一七一	一,七四三
邑久郡	一〇,四	一〇,一六二	一五,七七二	三,〇六一	四,二六四
上道郡	八,二	一〇,五〇二	二六,三三二	三,四〇八	六,〇六八

郡名	面積	戸數	人口		一方里ニ對スル人口ノ比例
			男	女	
兒島郡	二六,八	一六,三三二	四三,三三三	三七,六六一	一,七三三
都宇郡	四〇	六,八七五	一六,三三三	一四,四四四	三,〇六九
窪屋郡	五〇	七,七二二	一八,六三三	一六,四四四	三,一八七
淺口郡	一一,二	一七,三三三	四〇,六六六	四〇,四四四	三,六三三
小田郡	一五,一	一四,九一一	三六,二二二	三六,五五五	四,九二二
後月郡	一〇,三	六,一〇四	一八,二二二	一七,五五五	三,四九九
下道郡	八,七	五,四七二	一五,〇〇〇	一三,五五五	三,三九九
賀陽郡	一六,七	八,八八八	二〇,〇〇〇	一七,六六六	二,六〇四
上房郡	三,五	五,五〇〇	一四,〇〇〇	一三,三三三	二,四〇五
川上郡	三,五	八,〇八八	一八,〇〇〇	一七,六六六	一,六九九
阿賀郡	三,五	六,六六一	一六,二二二	一五,五五五	一,二二二
哲多郡	三,四	四,四七七	一〇,六六六	一〇,〇〇〇	九〇〇
真島郡	三,〇	六,六六六	一八,五五五	一七,二二二	九二二
大庭郡	一八,八	三,六六六	九,七七七	九,二二二	一,〇二五
西々條郡	二〇,六	三,六六六	九,九九九	八,八八八	一,〇二五
西北條郡	五,七	四,一〇四	一〇,一一一	九,九九九	三,五五五
東南條郡	一,五	二,一〇四	五,七〇〇	五,七〇〇	七,二二二
東北條郡	三,〇	二,三三三	七,二二二	六,八八八	八,二二二
勝北郡	一五,三	五,〇〇〇	一四,三三三	一三,〇〇〇	一,八五五
吉野郡	一四,一	三,三三三	一〇,〇〇〇	九,三三三	一,三三三
英田郡	一八,八	三,三三三	一〇,〇〇〇	九,三三三	一,三三三
勝南郡	八,〇	三,三三三	一〇,〇〇〇	九,三三三	一,三三三
久米南條郡	三,三	四,四七七	一〇,〇〇〇	九,三三三	二,六〇〇
久米北條郡	三,三	四,四七七	一〇,〇〇〇	九,三三三	一,八三三
合計	四七〇	二七,四四四	五七,三三三	五二,六六六	二,四三三
前年合計					

三、財政

本縣ノ國稅ハ直接間接ヲ合セテ二百〇一萬四千八百〇八圓ニシテコレヲ人口ニ配當スレバ一人ノ賦課額一圓八十錢ニ當レリ地方稅ハ明治二十六年ノ調査ニヨルニ其收入額四十萬六千五百六十七圓ニシテ支出額四十萬六千五百五十六圓ナリ市稅ハ其ノ收入額二萬四千七百十六圓ニシテ其ノ支出額ハ二萬三千六百一十一圓ナリ中ニ就テ市稅賦課額ハ合計一萬四千二百二十七圓ニシテ人口一人ニ付四十錢ノ割合ニ當レリ町村稅ハ其收入額七十六萬五千四百四十六圓ニシテ支出額ハ七十萬二千九百五十三圓ナリ中ニ就テ町村稅賦課額ハ合計四十九萬九千四百五十七圓ニシテ人口一人ニ付四十八錢ノ割合ニ當ル其ノ委シキハ左表ニ就キテコレヲ知ルベシ

國稅地方稅ヲ處理スル爲ニ收稅本部ヲ縣廳内ニ置キ署ヲ各所ニ置キ其事務ヲ掌ラシム今明治二十六年勅令ヲ以テ定メラレタル收稅署位置及ビ管轄區域ヲ示メスト左ノ如シ

署名 一管轄區域署 名一所 在地一管轄區域

岡山收稅署	岡山市西中山下	岡山市御野郡	金川收稅署	津高郡金川村	津高郡	赤坂郡
本莊收稅署	和氣郡本莊村	和氣郡整梨郡	西大寺收稅署	上道郡西大寺村	上郡郡	邑久郡
味野收稅署	兒島郡味野村	兒島郡	勝岡田收稅署	勝南郡勝岡田村	勝南郡	勝北郡
玉島收稅署	淺口郡玉島村	淺口郡	笠岡收稅署	小田郡笠岡村	小田郡	後上郡
總社收稅署	賀陽郡總社村	下道郡賀陽郡	高梁收稅署	上房郡高梁村	上房郡	川上郡
新見收稅署	阿賀郡新見村	阿賀郡哲多郡	久世收稅署	大庭郡久世村	大庭郡	眞島郡
津山收稅署	西北條郡津山町	西條郡西北條郡	勝岡田收稅署	勝南郡勝岡田村	勝南郡	勝北郡
英田收稅署	英田郡倉敷村	英田郡吉野郡	弓削收稅署	久米南條郡弓削村	久米南條郡	久米北條郡

四、判裁所

裁判所ハ地方裁判所ヲ岡山市弓之町ニ置キ其ノ他岡山弓之町片上高梁新見玉島津山勝山等ニハ區裁判所ヲ置ケリ地方裁判所ハ主トシテ刑事ヲ掌リ區裁判所ハ主トシテ民事ヲ掌ル又區裁判所ハ出張所ヲ諸所ニ置キテ以テ民事ヲ分理ス岡山區裁判所ハ出張所ヲ金川、上田、輕部、豐原、富山、味野、甲浦、撫川、高松ノ九所ニ置キ津山區裁判所ハ大野、神庭、勝田、大原、倉敷、勝間田、倭文東、弓削ノ八所ニ置キ高梁區裁判所ハ出張所ヲ中津井東成羽吹屋ノ三所ニ置キ片上新見勝山笠岡ノ四區裁判所ハ其ノ出張所ニ所ニシテ片上區裁判所ハ和氣ニ小野田ニ新見區裁判所ハ刑部上市ニ勝山

五、警察

區裁判所ハ久世神湯ニ笠岡區裁判所ハ矢掛西江原ニアリトス
 警察ハ本部ヲ縣廳内ニ置キ縣内各所ニ警察署又ハ其分署ヲ置キ三幡ニハ
 岡山水上警察ヲ置ケリ又岡山縣巡查教習所及岡山縣巡查志願者豫習所ヲ
 岡山市^{東中}山下ニ置キ以テ巡查ヲ養成ス左ニ警察署所在ノ位置ヲ示スベシ

七十

署名	所在地	署名	所在地
岡山警察署	岡山市榮町	眞金警察署	賀陽郡眞金村
西大寺警察署	上道郡西大寺村	撫川警察署	都宇郡撫川村
牛窓警察署	邑久郡牛窓村	新見警察署	阿賀郡新見村
味野警察署	兒島郡味野村	井村警察署	哲多郡上市村
金川警察署	津高郡金川村	高梁警察署	上房郡高梁町
町坪田警察署	赤阪郡鳥取上村	下原警察署	川上郡東成羽村
澤原警察署	磐梨郡小野田村澤原	倉敷警察署	窪屋郡倉敷町
片上警察署	和氣郡片上村	津山警察署	西北條郡津山町
玉島警察署	淺口郡玉島村	柔原警察署	東北條郡東加茂村
川邊警察署	下道郡河邊村	勝山警察署	眞島郡勝山村
笠岡警察署	小田郡笠岡町	久世警察署	大庭郡久世村
井原警察署	後月郡井原村	坪井警察署	久米北條郡大井西村

竹田警察署 西々條郡大野村 英田警察署 英田郡倉敷村
 弓削警察署 久米南條郡弓削村 古町警察署 吉野郡大原村
 勝岡田警察署 勝南郡勝岡田村 味野警察八濱分署 兒島郡八濱村
 廣戶市場警察署 勝北郡廣戶村 笠岡警察失掛分署 小田郡矢掛村
 本縣警察官及巡查ノ數ハ警部四十一人巡查五百七十三人ニシテ警察官巡
 査一人ニ付一千七百六十三人ノ割合ニ當ル而シテ是等警察官巡查ノ手ニ
 逮捕セラレタル一年間犯罪者ノ數ハ明治二十六年ノ調査ニ據ルニ左ノ如

犯罪	人員
竊盜	一九六一
拘摸	二四
強盜	四七
詐偽	一九〇
其他犯罪	二七一
違警罪	一五二九
合計	六四六二

七十一

六、監獄

七十二

監獄ハ本署ヲ岡山市二日市町ニ置キ支署ヲ津山町及高梁町ニ置ク岡山縣看守練習所ヲ岡山市天瀬ニ置キ以テ囚徒ノ取扱ヲ教習セシム署内囚人ノ數ハ窃盜罪最モ多ク強盜及賭博犯ユレニ次ク今明治二十七年十月監獄署ニ現在セル刑事被告人ハ男七十人女四人ニシテ囚人ノ數ハ左ノ如シ

囚人	重罪		輕罪		合計
	男	女	男	女	
官吏ノ職務妨害					
囚徒逃走及罪人藏匿					
監視違反					
家宅侵入					
貨物偽造					
官印偽造					
官文書偽造					
私印私書偽造					
免許鑑札偽造					
度量衡偽造					
賭博					
官吏財産ニ對スル罪					
謀殺					
故殺					
殺					
毆打創傷					
制縛監禁					
幼者遺棄					
褻瀆淫					
強盜					
詐盜					
關物					
放火					
家屋物品毀壞					
徵兵令違反					
附加罪金不納					
合計	184	20	204	27	231

七、兵事

本縣ノ兵事ハ陸軍ハ第四第五ノ二管區ニ屬ス而シテ備前美作ノ二國ハ第四管區第八旅管ニ屬シ備前中ハ第五管區第九旅管ニ屬セリ而シテ岡山市ニハ大隊區指令部ヲ置ケリ縣下徵兵ノ數ハ現役五百九十九人ニシテ中ニ就テ備前ハ百八十九人備前中ハ二百七十三人美作ハ百三十七人ナリトス豫備役ニ屬スルモノハ二千七百二十三人ニシテ中ニ就テ備前ハ歸休兵十六人豫備八百九十六人備前中ハ歸休兵四人豫備一千六百六十一人美作ハ歸休兵十二人豫備六百三十四人ナリトス後備役ニ屬スルモノハ四千四百人ニシテ中ニ就テ備前ハ七百三十七人備前中ハ二千二百六十六人美作ハ一千四百〇三人トス(現役ハ明治二十七年七月十一日調ニシテ豫備後備ハ同二十六年十二月三十一日ノ調ニ係ル)海軍ハ第二師管ニ屬シ縣下募兵ノ數ハ水兵五人厨夫一人ニ過キズ

八、衛生

本縣ハ一般ニ飲水ノ不良ナルヨリ毎年惡疫ノ流行ヲ見ザルナシ殊ニ赤痢腸窒扶斯ノ如キ最モ多シトナス但備中美作ノ北部ニ至リテハ飲水清良ナルガ故ニ比較上少シトイヘドモ南部沿海地方ニ至リテハ殊ニ甚シトナス

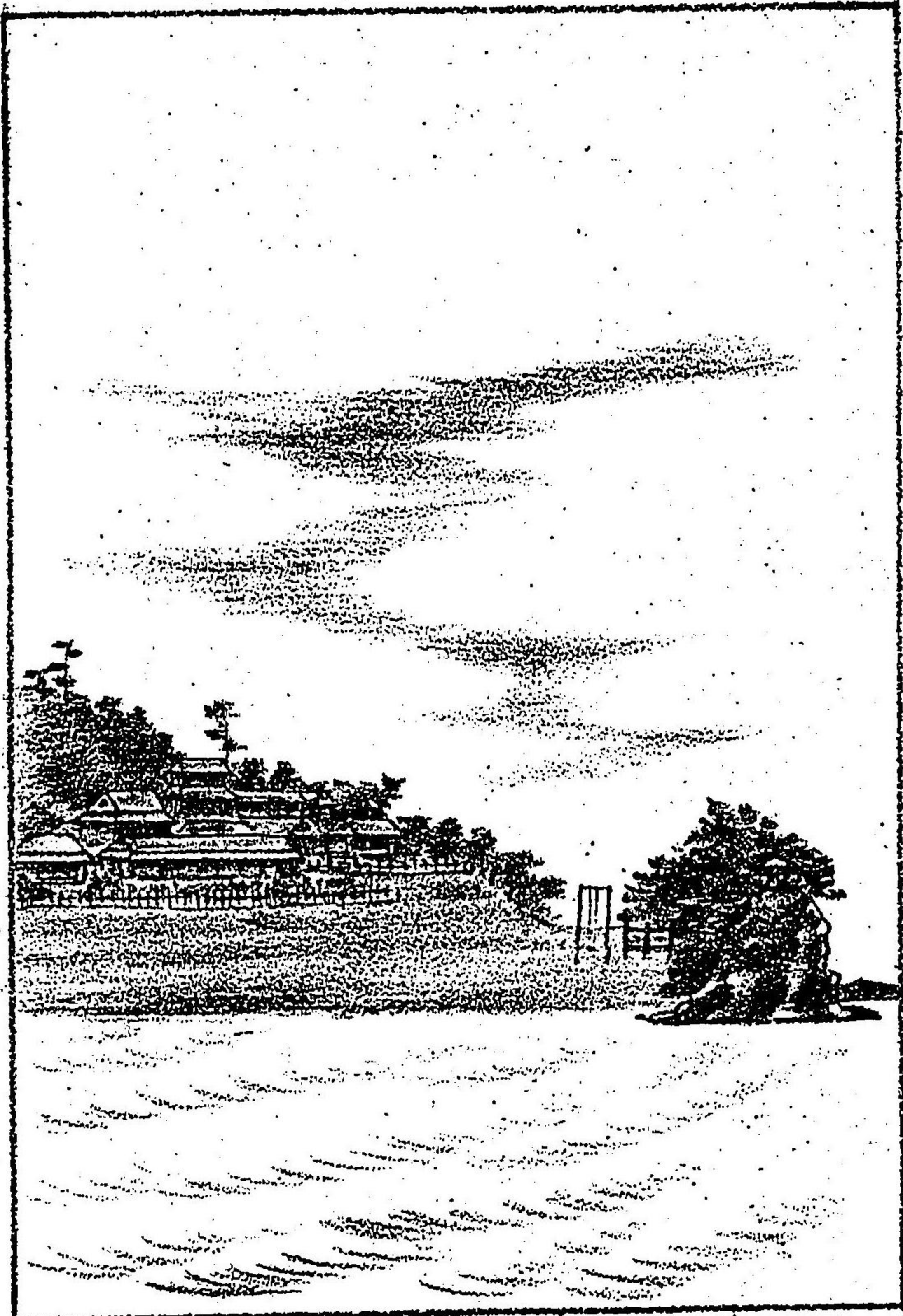
今明治二十六年ニ於ケル六種傳染病及患者死亡者ノ數ヲ示メスユト左ノ如シ

病名	處列拉	腸管扶斯	發疹管扶斯	實扶里亞	赤痢	痘瘡	瘡合	計
患者	九	六五	四	三五	二八四	二八八	一、三六	二、九三
死亡	六	一五	一	一九	八九	五九	二九三	二九三

且又兒島灣沿岸ノ地川上郡ノ玉村ニ於ケルガ如キハ一種ノ地方病アリ大抵寄生蟲ノ害ヲ蒙ラサルナシ自然地理動物ノ條ヲ對照スベシ病院ハ岡山市内山下ニ岡山縣病院アリ其他邑久郡朝日村ニ久生病院眞島郡川西村ニ眞島病院兒島郡味野村ニ味野病院上房郡高梁町ニ高梁病院及高梁脚氣病院アリ岡山縣病院ハ公立ニ係リ他ハ皆私立ニ係ル中ニ就テ岡山縣病院ハ其規模最モ大ナルモノニシテ一ケ年間診察患者ノ總數一萬三千一百三十一人ニシテコレニ次クモノヲ眞島病院味野病院トナス

本縣醫師ノ數ハ九百六十一人ニシテコレヲ縣下ノ人口ニ配當スルトキハ

沙美海水浴場之圖



鈴木定一 描

醫師一人ニツキ平均一千百三十六人餘ニ當ル産婆ノ數ハ百四十一人ニシ
 テ一年ノ出産數(明治二十年)ヲ二萬九千八百人トスレハ一人ノ産婆ニシテ平
 均二百十一人餘ノ産兒ヲ取扱フ割合ニ當レリ今左ニ醫師及ヒ産婆ノ數ヲ
 類別シテコレヲ示スベシ

要項	醫			師		産婆	
	試験ニヨルモノ	卒業ニヨルモノ	履歷ニヨルモノ	從來ノ免許ニヨルモノ	内務省免許	地方廳免許	
備前	一九	八二	一八	二二九	五五	三一	
備中	二二	四五	五	二四三	六	三三	
美作	一三	二〇	三	二三六	四	一一	
合計	五三	一四七	二六	七〇八	六五	七六	

右ノ外齒科眼科整骨科等ノ専門醫等二十七人其ノ他鍼術七十一人灸治二百二十三人入齒拔等二十五人アリ

礦泉及海水浴ノ衛生ニ補益アルコト大ナリトス礦泉ノ事ニ關シテハ其泉

質主治ノ効用等既ニ自然地理ノ條ニ於テコレヲ述ベタル故ニコレヲ畧シ
 茲ニハ唯海水浴ノ事ニ關シ一言附記スル所アルベシ本縣ニ於テ海水浴場
 ノ著名ナルモノハ淺口郡黑崎村ノ沙美兒島郡田口村ノ琴浦邑久郡牛窓村
 ノ牛窓全郡朝日村ノ久々井等トス今是等海水浴場ニ於ケル間場日數及ヒ
 浴客人員ヲ左ニ示スベシ

浴場名	開場日數	浴客人員
沙美海水浴	一〇〇	四八九
琴浦海水浴	六〇	三〇〇
牛窓海水浴	五三	一四五九
久々井海水浴	四〇	一二八
合計	二五三	二三七六

九、教育

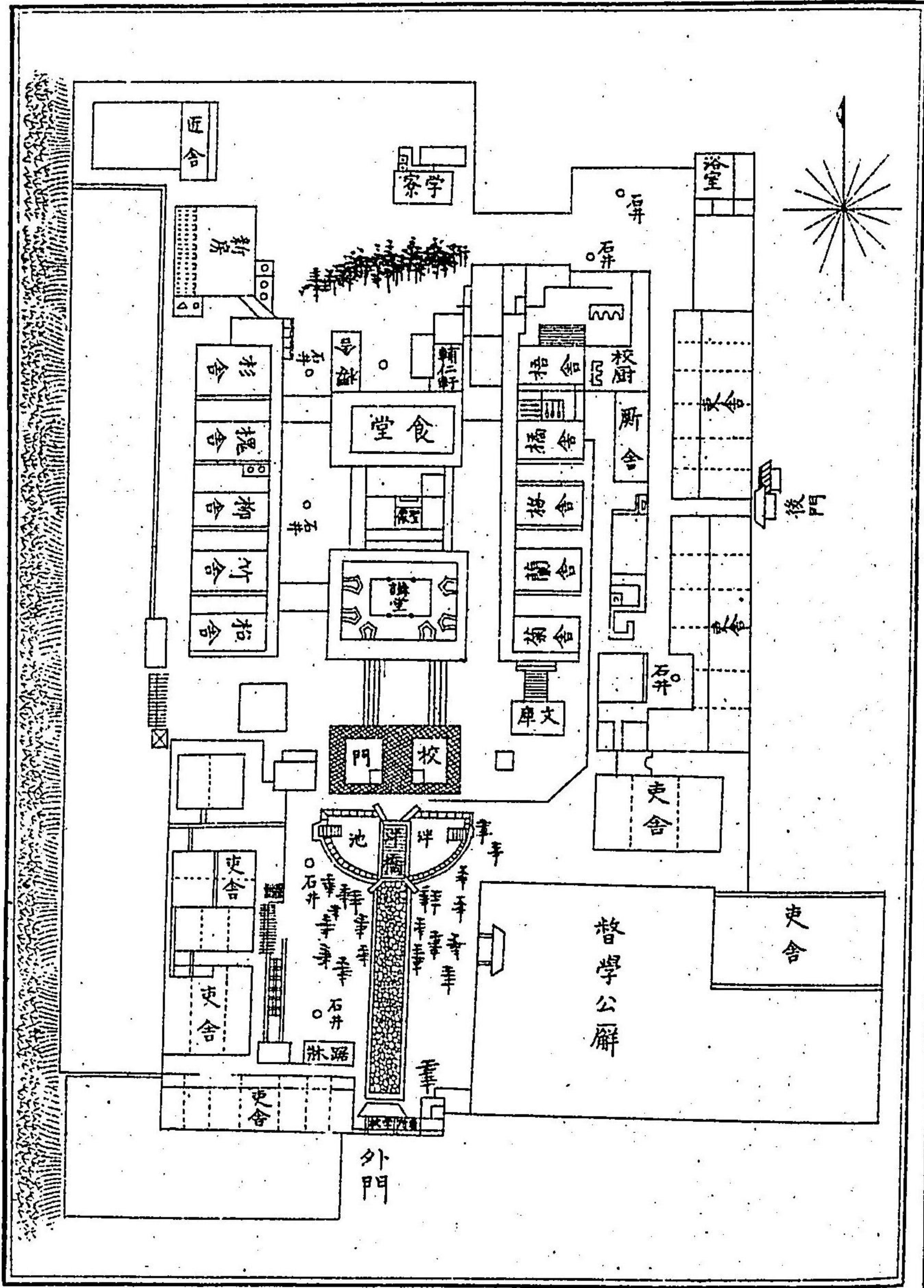
本縣ノ教育ハ全國中比較上進歩ノ位置ヲ占メタルモノニシテ縣下學齡兒
 童ノ數ハ男九萬三千七百〇七人女子ハ八萬一千三百九十七人ニシテ修
 兒童ノ數ハ男七萬〇八百二十一人女子四萬三千七百四十八人ノ多キニ至
 リ今左ニ學齡人員ノ統計ヲ示スベシ

(イ) 小學校

小學校ノ數ハ尋常四百十五高等七十併置二校ニシテ中ニ就テ備前ハ尋常
 百二十四併置一高等二十三備中ハ尋常百六十九高等二十三美作ハ尋常百
 二十二併置一高等二十四アリトス

學 齡 人 員	學 修 就		學 不 就		備 前 國	備 中 國	美 作 國	合 計
	學 就		學 不 就					
	年 末 現 員	本 年 卒 業 退 學 者	貧 窮 疾 病 其 他	未 卒 業 退 學				
女	一、九〇五	一、六五五	一、七五九	一、八〇六	二、六〇五	二、〇九二	二、九一八	五、六一〇
男	二、三二六	二、〇八五	二、一〇九	二、一〇九	三、〇〇二	二、四〇九	三、〇〇三	五、四一五
女	一、六五五	一、四〇五	一、五〇九	一、五〇九	二、〇九二	一、六〇五	一、九一八	三、六〇七
男	二、〇八五	一、八三〇	一、八〇〇	一、八〇〇	二、四〇九	一、八〇九	二、〇八五	四、二一四
女	一、八〇六	一、五五九	一、六〇九	一、六〇九	二、一〇九	一、六〇九	一、九一八	三、六二七
男	二、一〇九	一、八五九	一、八〇〇	一、八〇〇	二、四〇九	一、八〇九	二、〇八五	四、二一四
女	一、七五九	一、五〇九	一、六〇九	一、六〇九	二、〇九二	一、六〇五	一、九一八	三、六〇七
男	二、〇八五	一、八三〇	一、八〇〇	一、八〇〇	二、四〇九	一、八〇九	二、〇八五	四、二一四
合計	一、九〇五	一、六五五	一、七五九	一、八〇六	二、六〇五	二、〇九二	二、九一八	五、六一〇
合計	二、三二六	二、〇八五	二、一〇九	二、一〇九	三、〇〇二	二、四〇九	三、〇〇三	五、四一五

岡山藩學校之圖



義若準縮寫(岡山藩學校教員見可之圖)

(口) 縣立學校

小學校教員ノ數ハ尋常科正教員男五百八十六人女二十五人高等科男百七十八人ニシテ女子ヲ關シ准教員ハ男一千〇〇九人ニシテ女子四人アリ專科正教員ハ尋常高等コレヲ關シ專科准教員ハ尋常科ニ於テ女四十七人高等科ニ於テ男四十二人女三十人アリ

小學校生徒ノ數ハ十萬九百六十七人ニシテ就中テ男六萬三千八百七十二人女三萬七千〇九十五人アリ今コレヲ三國ニ類別スルトキハ左ノ如シ

尋常科	備前		備中		美作		合計
	男	女	男	女	男	女	
尋常科	27,232	3,334	33,436	2,333	2,333	5,033	68,338
高等科	3,952	4,133	4,133	7,736	2,755	10,850	24,769
合計	31,184	7,467	37,569	10,069	5,088	15,883	93,107

尋常師範學校尋常中學校ハ縣立ニ係リ共ニ岡山市ニアリ尋常師範學校尋常中學校ハ有名ナル岡山藩學校ノ在リシ所ニシテ其規模今ニ存スルモ多シ此校舊國主池田光政ノ創立スル所ニ係リ工ヲ寛文九年正月ニ創メ同年七月ニ竣ル面積七千餘坪屋宇宏敞當時稱シテ天下第一トナス功竣ルヤ熊澤了介ヲ播磨ヨリ迎テ以テ開校ノ典ヲ行ヒシト云フ其境域東西狹ク南北廣ク南ニ正門ヲ置キ門内植ユルニ松樹十數株ヲ以テス門ヲ入ル數間ニシテ泮池ヲ鑿テ架スルニ石橋ヲ以

ナシ以テ校門ニ通ズ門ノ左右ニ塾アリ塾ノ北ニ長廡ヲ架シ方磚ヲ敷ニスコト東西兩階ノ通路ト
ナス階ヲ經テ堂ニ躋ルコト講堂トナス東西十二間南北十間堂ノ北ニ中室ヲ設ク東西六間南北三
間其ノ正面ヲ孔子ノ廟トシ光政ヲ以テ其ノ右室ニ配祀ス中室ノ北ニ食堂アリ南北六間東西十
一間而シテ中室ノ左右ニ廊ヲ架シ以テ二堂ニ通ズ堂ノ東西庭ヲ隔テ舍ヲ設ケ舍前栽ユルニ草
木ヲ以テシ以テ舍名ニ附ス東ニ菊園梅樹梧桃ノ六舍アリ西ニ松竹柳槐杉ノ五舍アリ其ノ東方
菊舍ハ習禮ノ處蘭梅樹梧ハ讀書ノ處桃舍ハ庶務ノ局ナリ西方松舍ハ灌漑ノ處其ノ南庭ヲ
弓銃場トシ調馬場其ノ西ニアリ竹柳ハ演武ノ所槐杉ハ生徒寄宿ノ房ナリ其他文庫校厨及官吏
ノ邸舍悉ク備レリ學制ハ諸士子弟八歳ヨリ十九歳ヲ小生トシ一六二七四九ノ日ヲ以テ校ニ出
テシメ食堂ニ机ヲ列シ書字ヲ學ハシム而シテ指揮司其ノ中央ニアリ小生其ノ令ニ應ジ各舍ニ
就テ業ヲ受ク督學講官亦其ノ中央ニアリテ勤惰ヲ監督ス其ノ散スルニ及テ長幼ノ序ヲ以テ講
堂ニ列坐シ奏者ノ禮ヲ行ヒ順次ニ退出ス大生ハ舍ニ入りテ留學スルアリ會テ期シテ通學スル
アリ三八ノ日講官書ヲ講堂ニ講シ士庶ヲシテ出テ聽カシム又御野郡南方村ニ於テ炮術及游泳
ノ演習場ヲ設ケ以テ學校ノ所轄トシ學田二千石ヲ付シテ學校ノ諸費ニ充テシト云フ廢藩置縣
ノ時ニ至リ岡山縣ノ管理ニ屬シ爾來頗ル改良ヲ加ヘテ面目ヲ改ムルモノ多シトイヘドモ猶舊
觀ヲ失ハザルモノアリ蓋創立以來二百餘年ノ久シキニ彌リ未ダ一日モ弦誦ノ聲ヲ絶チシコト
ナキハ恐ラクハ世間未ダ其比ヲ見サル所ニシテ本縣奎運ノ盛ナル他國ニ凌駕スルモノ其素養
遠キニアルコトヲ知ルベシ尋常師範學校ハ生徒百三十名ニシテ尋常中學校ハ生徒三百八
十名アリ

(ハ)官立學校
第三高等學校醫學部ハ岡山市内山ニアリ文部省直轄ノ學校ニシテ生徒三百七十八人アリ

(ニ)私立學校

私立學校ハ其數四十餘アリ中ニ就テ其ノ著名ナルモノヲ舉クンバ岡山市ニ關西尋常中學校野田屋町、岡山簿記學校西中山下等アリ其他御野郡石井村ニ岡山普通學校上道郡三權村ニ山陽女學校アリ和氣郡伊里村ニ閑谷學校シノヤ此校ハ寛文十年池田光政ノ創設ニ係リ其後延寶二年聖堂ヲ建テ元祿十四年聖像ヲ鑄造シテコレヲ安置シ堂ヲ大成殿ト稱ス同十五年講堂ヲ造ク其建築支那風ニ摸擬シ結構ノ壯麗天下ニ冠タリ寶永元年光政ノ肖像ヲ鑄造シ祠ヲ建テ、コレヲ芳烈祠ト號セリ後改メテ閑谷神社トナシ以テ縣社ニ列ス

アリ後月郡西江原村ニ興讓館嘉永三年坂谷朝、上房郡高梁町ニ順正女學校アリ西北條郡津山町ニ津山普通學校等アリ

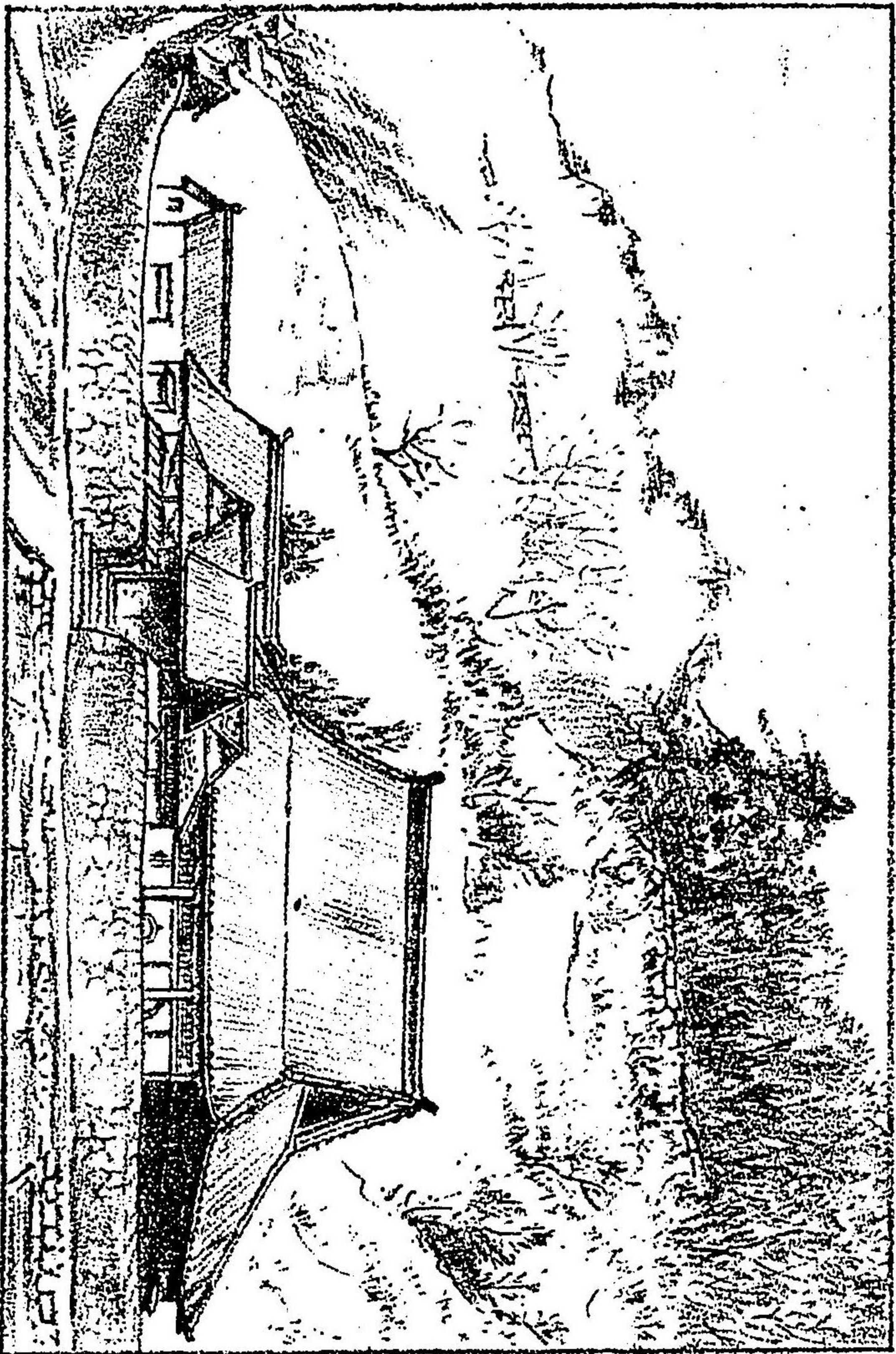
第二章 宗教

本縣ニ行ハル、宗教ハ神教佛教及ヒ耶蘇教ニシテ其最モ盛ナルモノヲ神教佛教トナシ耶蘇教ハ最モ微々ナリ

神教ニ神宮教、宮比教、大社教、天理教、蓮門教、金光教、黒住教、多賀教、大眞瓊教等ノ諸派アリテ各教會所ヲ諸所ニ設ケ以テ布教ヲ圖レリ中ニ就テ黒住教黒住教ハ安永ノ頃備前國御野郡上中野村ノ人黒住左京ナルモノ、創メタルモノナリ左京天資質直教神ノ念厚カリシガ遂ニ黒住教ナル一派ヲ開キ布教傳道スルコト三十

一、神教及神社

迎應孫寺大権



國々校學公局

七年齡七十一歳ヲ以テ嘉永三年二月二十五日死ス其後安政三年三月八日宗忠大明神ノ神號ヲ賜ハリ文久二年京都神樂岡ニ鎮座セシガ慶應元年十二月勅願所トセラレ從四位下ヲ宣下セラレ遂ニ明治九年十月神道黒住派ト稱シテ一派ヲ立ツルコトヲ允サレタリ金光教ノ三者ヲ崇敬スベキコトヲ唱ヘ遂ニ一派ヲ創メ力ヲ弘教ニ盡セシヨリ信徒次第ニ増加シ現今ニ至リ信徒ノ數ハ他府縣ヲ合セテ六萬以上ニ及ヒ教會ノ支部四十余ヶ所ノ多キニ及ブ教會ノ本部ハ淺口郡吉備村大谷ニアリ其社願ハ莊麗ナラザルモ賓客常ニ絶ユルコトナシ時トシテ數百人ノ隊伍ヲナシ至ルコトアリト云フ蓮門教ハ現今ニ至リ次第ニ隆盛ニ赴クトイフ

縣下神官ノ數ハ六百四十一人ニシテ神社ノ數ハ合セテ一千六百七十八ニシテ中ニ就テ國幣中社ニ列セラル、モノ三縣社ニ列セラル、モノ二十三郷社九十四村社一千五百六十一境外無格社七千五百五十八アリ國幣中社ハ備前ニ安仁神社邑久郡大宮村藤井ニアリ創立ノ時代ヲ詳ニセス仁明帝ノ承和八年名神應永三年四月火災ニ罹リ爾來邑久郡大宮村藤井ニアリ創立ノ時代ヲ詳ニセス仁明帝ノ承和八年名神遂ニ舊觀ニ復スル能ハズトイフ備前ニハ吉備津神社賀陽郡真金村宮内ニアリ仁德帝ノ朝勅命ニヨリテ建立セラレタルモノニシテ爾來舊觀ヲ守リテ再造シ嘗テ其結構ヲ變シタルコトナケレ賀陽郡真金村宮内ニアリ仁德帝ノ朝勅命ニヨリテ建立セラレタルモノニシテハ規模ノ宏大建築ノ壯麗ナル山陽道中ニ稀ニ見ル所トナス美作ニ中山神社西北條郡一宮村西一宮ニアリリ吉備津彦尊ヲ祀ル其ノ中山ト稱スルモ津高郡一宮村一宮ノ吉備ノ中山ニ擬シタルヨリ起ルトイフ縣社ハ備前ニ吉備津彦神社津高郡一宮村一宮

ニセメ其後一條帝ノ長保六年白河院ノ應德年中鳥羽帝ノ天永元年高倉帝ノ嘉應二年後深草天皇ノ建長四年ニ勅營アリ後慶長五年宇喜多秀家同六年小早川秀秋コレヲ再建セシモ皆功ヲ竣ヘズンテ止ム慶長九年池田輝直コレヲ造營シ元祿十年池田綱政コレヲ再建シ以テ今ニ至ルトイフ

岡山神社 岡山市石關町ニアリ清和帝貞觀年中ノ創建ニ係ル始メ岡山城内ノ地ニアリシヲ天正元年宇喜多直家ノ岡山城ヲ築クニ當リ今ノ地ニ移スト云フ

三勳神社 上道郡三權村門田ニアリ和氣清磨兒島高德補正行ヲ合セ祀ル因ツテ三勳神社ト稱ス

閑谷神社 和氣郡伊里村閑谷新田ニアリ寶永元年ノ創建ニシテ池田光由加神社ト稱ス

火々出見尊豐 東照宮 上道郡三權村門田ニアリ正保二年池田由加神社ト稱ス

赤坂郡山方村 **伊勢神社** 岡山市小春日神社 御野郡古鹿田村 今村宮 御野郡今村今村ニアリ

社 窪屋郡高村笹沖ニ 賀陽郡岩田村 八幡神社 上房郡松山村ニアリ 天照大神仲哀天皇貞觀年中ノ創建ニ係ルアリ 美作國ニハ 德守神社 西北條郡津山町宮脇町ニアリ 天平ヲ樂

社 西々條郡院庄村神戶ニアリ明治二年ノ創建

志呂神社 久米南條郡福渡村下神目ニアリ神祀ル和同六年ノ創

高野神社 西々條郡二之宮村ニアリ彦波瀲武鸕鷀草葺不合尊ヲ祀ル安閑帝建ニ係ルト云フ

二、佛教及佛

神馬ヲ獻ズ其後靈元帝ノ寛文年間森長繼更ニ大ニコレヲ修營シ以テ今日ニ至ルト云フ

天石門別神社 英田郡河會村瀧宮ニアリ社ノ境内ニ深布アリ風致ニ富ム

社 西北條郡西吉田村總社ニシテ 刑部神社 佐波良神社 共ニ大庭郡神湯村ニアリニ社共ニ祭氣清磨ガ其ノ高祖父佐波良ヲ祀リシモノナリト云フ 往時ハ社頭宏

大隅神社 東南條郡東津山貴布禰神社 久米北條郡倭文東村桑ニアリ堀河帝ノ

郷社村社等 二至リテモ亦莊大ノモノアリトイヘドモ此ノ書ノ能クスル所ニアラサレバ皆コレヲ畧ス

佛教ハ各宗大率行ハル、トイヘドモ中ニ就テ其最盛ナルモノ、眞言宗トナシ、天台、日蓮、曹洞、三宗、コレニ次ク、縣下寺院ノ數ハ一千五百四十五境外佛堂ノ數ハ三千百〇六ニシテ住職一千百九十二人アリト云フ今左ニ寺院ヲ宗別スルトキハ左ノ如シ

宗別	天台	眞言	淨土	臨濟	曹洞	黄蘗	眞	日蓮	總計
寺數	三〇	六七	五	二九	一八五	五	六	一八五	一四五

而シテ其ノ寺院ノ著名ナルモノヲ舉クレバ備前ニ於テハ國清寺岡山市小橋

宗ニ屬ス慶長年中池藥師院岡山市磨屋町ニアリ眞言宗ニ屬ス建蓮昌寺岡山市東田町ニアリ

田利隆ノ創建ニ係ル賢ノ創建ニ係ル元賢法名ヲ蓮昌トイフ因リテ寺號トナス岡山寺岡山市磨屋町ニアリ天台宗

天正年中宇喜多直家コソテ修築シ以テ今ニ至ルト云フ岡山寺岡山市磨屋町ニアリ天台宗

師ノ創立ニ係ル始メ岡山城内ノ地ニアリシモ天正年中宇喜多直家ノ城ヲ築クニ當リ此地ニ移

ス寺ニ宇喜多直家ノ靈位アリ因リテ光珍寺ト稱セシモ(宇喜多直家ノ法名ハ露月光珍ト云フ)

慶長中小早川秀秋ノ時觀音寺御野郡牧石村金山ニアリ一ニ金山寺ト稱ス天台宗ニ屬ス天平勝

岡山寺ト改ムト云フ觀音寺寶元年報恩大師ノ創建ニ係ル此寺始妙見峯(一ニ本松トイフ)ニ

アリシモ屢風火ノ災ニ罹ルヲ以テ康治年中今ノ處ニ移ス弘治年中日蓮宗ニ改宗セサルヲ以テ

松田將監ノ燒ク所トナル天正中宇喜多直家寺領ヲ寄セシモ小早川秀秋ノ没收スル所トナリ慶

長九年池田照直ノ時ニ至リ舊圓城寺津高郡上田村圓城ニアリ日蓮宗ニ屬ス元正帝ノ靈龜元

領ニ復スルヲ得タリトイフ圓城寺年ノ創建ニ係リ往時ハ正法寺ト稱シ本宮山ニアリシモ

後今ノ地ニ移弘法寺邑久郡大宮村千手コソテ眞言宗ニ屬ス天智帝ノ頃創建セシモ養老年中雷

セシト云フ弘法寺火ノ災メニ燒亡シ天平勝實三年報恩大師コレヲ再建セシモ延曆中再燒失

シ僧空海コレヲ餘崇寺邑久郡今城村上寺ニアリ天台宗ニ屬ス天平勝實年大賀島寺邑久郡

再建スト云フ餘崇寺中ノ創建ナリ城内廣敷風致ニ富ムヲ以テ著ハル大賀島寺豐原村

大賀島大雄山ノ巔ニアリ天台宗ニ西大寺上道郡西大寺村ニアリ眞言宗ニ屬ス天平勝實

屬ス天平勝實年間ノ創建ニ係ル西大寺中周防ノ人藤原皆足ノ創建ニ係ルトイフ古ハ金岡莊

中島ニアリシヲ寶龜八年僧安隆今ノ地ニ移ス當時摩訶寺ト稱セシガ後醍醐天皇コレヲ改メテ

西大寺ト稱セリト又一説ニ足利尊氏西上ノ時コレヲ改ムトイフ毎年陰曆一月元日ヨリ二七日

ノ間修正ノ法會アリ十四日ノ夜ニ至リ法會終リ神木ヲ參詣ノ人ニ授與ス是ヲ會陽ト稱シ參詣

ノ人裸體被髮トナリ先ツ身體ヲ吉井川ノ水ニ清メテコレヲ拾ヒ取ルコトヲ競フ肩摩被髮暗齋

ノ聲一二里ノ外ニ聞ユ既ニシテ一人神木ヲ得テ能ク群ヲ脱スルモノアレバ其場即チ散ズ此ノ

一大競爭ヲ見シカクメニ遠近ノ老幼來集シ殆ニ萬人ノ多キニ及フ實ニ日本ノ一大奇蹟ニシテ

亦一大奇蹟蓮臺寺兒島郡木見村山ニアリ眞言宗ニ屬ス天平年中僧行基ノ創建ニシテ

觀トナス蓮臺寺ヲ往時ハ從王山瑜珈寺ト稱セシモ天和年中今ノ名ニ改ムト云フ等アリ備

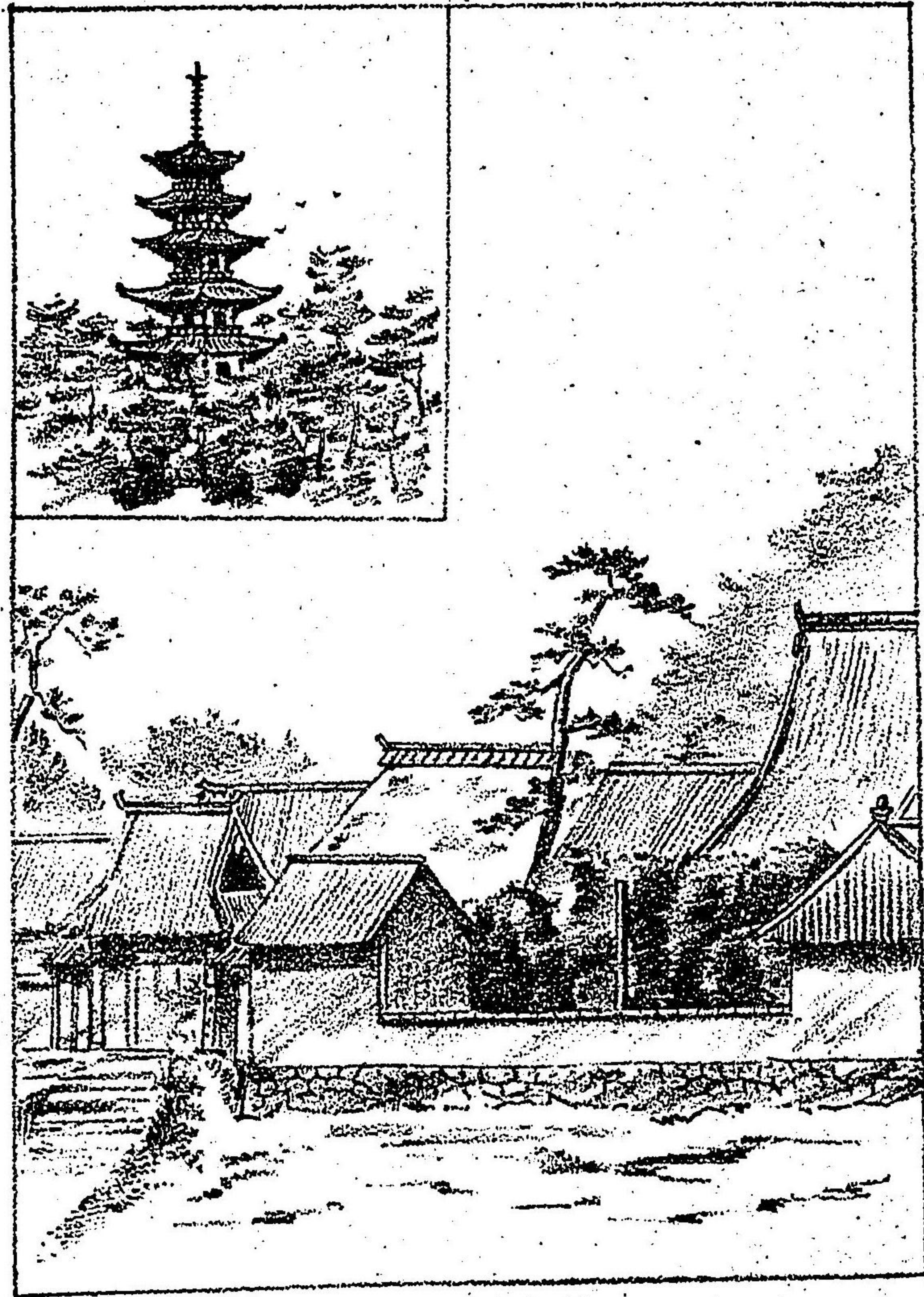
中ニハ國分寺窪屋郡三須村上林ニアリ眞言宗ニ屬ス天平九妙教寺賀陽郡高松村稻荷ニ

客常ニ絶ニ寶福寺淺尾村井尻野ニアリ眞言宗ニ屬ス貞永三圓通寺淺口郡柏崎村ニアリ元錄中

ルコトナシ寶福寺年ノ創建ニシテ僧純庵ノ開基ニ係ル圓通寺ノ創建ニシテ僧長高ノ開基

ニ係ル宗派ハ禪宗ニ屬セリ老松翁傳トシテ四境ヲ圍ミ園庭ニハ巨巖累々トシテ起伏シ躑躅花

圖之寺分國



描一定木鈴

ノ創建ニ係ル始安國寺ト稱セシモ後永正十二年上野賴久コレヲ再建シ賴久寺ト號
 ス天保十年回祿ニ罹リ堂宇燒失セシテ僧桂巖コレヲ再建ス宗派ハ臨濟宗ニ屬ス 安正寺 房
 郡高梁町ノ東方ニアリ宗派ハ曹洞宗ニ屬ス開基ハ僧一溪ナリ 巨福寺 上房郡松山村ニアリ慶長
 創立ノ年代未詳ナラズ天保十年二月板倉勝職ノ建築ニ係ル 源樹寺 成羽村佐原ニアリ慶
 宗派ハ日蓮 深耕寺 川上郡落合村原田ニアリ寛弘三年ノ創建ニシテ 源樹寺 長元年四月ノ創建ニ
 宗ニ屬ス 深耕寺 宗派ハ禪宗ニ屬シ花山法皇ノ開基ニ屬ス 源樹寺 長元年四月ノ創建ニ
 シテ宗派ハ禪宗ニ屬シ帶屋 四郎ナルモノ、開基ニ係ル等アリ美作ニ於テハ誕生寺 久米南條郡稻岡南村テリ安元元
 空出生ノ地ニシテ堂宇宏壯ニシテ一流ノ深 本山寺 久米南條郡吉岡村ニアリ天台宗ニ屬ス 佛教
 水松林ヲ環リ域内ノ國色頗ル閑雅トナス 本山寺 天平勝寶六年唐僧鑑真ノ開基ニ係ル 佛教
 寺 久米南條郡龍川村ニアリ和同六年肩野物部乙磨ノ開基ニ係ル眞言 豐樂寺 久米南條郡福渡村下
 宗ニ屬ス永享及天正ノ頃兵火ニ罹リ爾來頗ル舊觀ヲ失フト云フ 豐樂寺 神目ニアリ眞言宗
 ニ屬ス天平七年僧 泰山寺 久米南條郡龍川村ニアリ天平ノ頃唐僧鑑真コレヲ開創セシガ其後廢
 立防ノ開基ニ係ル 泰山寺 絶シ寛正元年豐樂寺ノ僧來リテコレヲ興復セリト云フ宗派ハ眞言ニ
 屬ス 両山寺 久米北條郡大井和村ニ上山嶺ニアリ僧最澄ノ創ムル所ナリト云フ又一説ニ僧空海ノ
 内海ヲ眺メ北伯耆ノ大山ヲ候ヒ西備中 瑞慶寺 大庭郡河内村上河内ニアリ永徳年中僧
 ノ高嶺ヲ望ミ東播磨ノ邊境ヲ窮ムベシ 瑞慶寺 實峰ノ開基ニ係ル宗派ハ曹洞宗ニ屬ス 圓融寺
 大庭郡河内村上河内ニアリ永觀中創ムル所ナリ天台宗ニ 藥王寺 大庭郡米來村目木ニアリ一
 屬ス初別宮寺ト号セシモ寛永十六年今ノ名ニ改ムト云フ 藥王寺 目木寺ト云フ宗派ハ眞言ニ屬
 セリ 木山寺 一ニ普善寺ト云フ眞島郡下方村木山ニアリ其開基ヲ詳ニセ 化生寺 眞島郡高田村
 開基ニ係リ源翁心昭ヲ勸シ 神林寺 眞島郡天津村杉山ニアリ和同二年ノ開創ニ係ル其後四百八十
 積シテ開山ノ祖トナス 神林寺 餘年ヲ經テ僧圓譽開山トナリコレヲ依興セリト云フ宗派ハ眞

三、耶蘇教及教會

言ニ金剛頂寺 西々條郡中谷村山城ヨアリ天武帝大寶
 屬ス金剛頂寺 三年ノ建立ニ係ル宗派ハ眞言宗ニ屬ス 圓通寺 一ニ總持院ト云フ西北條郡香
 僧空海ノ創ムル所トナ 萬福寺 西北條郡一ノ宮村東田邊ニアリ和同年中ノ開創ニ係ル陰曆一月十
 ス宗派ハ眞言ニ屬セリ 妙願寺 西北條郡津山町戸川町 本源寺 西北條郡津山町寺町ニアリ宗派ハ禪
 雲集シテ頗ル雜 沓ヲ極ムト云フ 妙願寺 西北條郡津山町戸川町 本源寺 西北條郡津山町寺町ニアリ宗派ハ禪
 泰安寺 西北條郡津山寺町ニアリ淨土宗ニ 妙法寺 西北條郡津山町寺町ニアリ法華宗ニ屬ス 菩提寺 勝北郡豐並村ニ
 屬ス 舊藩主松平氏ノ菩提所ナリ 國分寺 勝南郡河邊村國分寺ニアリ天平
 新善光寺 勝北郡勝加茂村ニ 年問ノ創建ニシテ天台宗ニ屬ス 大聖寺 吉野郡吉野
 アリ眞言宗ニ屬ス 靈山寺 吉野郡大野村ニ 安養寺 英田郡倉敷村ニア 長福寺 英田郡河會村ニア 蓮華
 宗ニ屬ス 眞言宗ニ屬ス 寺 英田郡土居村大蓮華寺 等ヲ其最モ著名ナルモノトナス

耶蘇教ハ近時都邑ノ地ニ行ハルトイヘモ未ダ隆盛ニ至ラズ教會ノ著名ナ
 ルモノニハ岡山市ニ岡山基督教會 東中山下 岡山天主教會 弓之町 あり津山
 町ニ基督教會 戸川町 基督教會 美濃職人 あり高梁町ニ基督教會 向町 あり各
 牧師アリテ專ラ布教ニ從事スト云フ

第三章 都邑

人民ノ聚合スルハ河海ニ接シ交通運輸ノ便宜シク土地豊饒ニシテ耕作ノ利多ク生業上供給多キ地方ナレバ國郡ニ都邑ノ排置セラルモ大率河海ノ沿岸ニ其位置ヲ占ムルモノナリ本縣ニ於ケル屈指ノ都邑モ亦此ノ自然ノ法則ニ基キ大率河若クハ海ノ沿岸ニ發達セシテ見ル因リテ左ニ河領ト海岸トノ區別ニ從ヒ以テ都邑ノ形勢ヲ畧説スベシ

第壹節 朝日河領ノ都邑

岡山市ハ朝日河ノ流ヲ挾ミテ御野上道兩郡ニ跨リ北緯三十四度四十分東經百三十三度五十四分ニ位ス幅員ハ東西二十町南北一里街衢端正ニシテ縱橫相通シ町數八十四兵國、廣瀨町、小畑町、上出石町、中出石町、下出石町、石關町、弓之町、難波町、瀧本町、下市町、富田町、岩田町、萬町、野田屋町、丸龜町、山崎町、柿屋町、桶屋町、野殿町、磨屋町、東田町、西田町、下田町、上西川町、下西川町、上之町、中之町、下之町、榮町、内山下、東中山下、西中山下、紙屋町、川崎町、西大寺町、橋本町、船着町、天瀬、常盤町、仁王町、高砂町、濱田町、瓦町、大雲寺町、大工町、尾上町、七軒町、櫻町、瀨尾町、小野田町、小原町、兒島町、紺屋町、片瀬町、久山町、上内田町、油町、平野町、藤野町、高橋町、山科町、新道、船頭町、下内田町、二日市町、西中嶋町、東中嶋町、小橋町、花畑、門田屋敷、大黒町、上片上町、下片上町、古京町、森下町

一、岡山市

アリ中ニ就テ最モ盛ナルモノ橋本町西大寺町榮町紙屋町上之町中之町及下之町トナス是ノ所謂ル大道ニシテ東西ト南北トニ通シテ一直角ヲ畫シ戸數一萬〇三百五十五人口四萬五千十六アリ縣廳ハ弓之町ニアリ市中最高ノ地位ニアリ西洋風ノ木造建築ニシテ前縣令高崎五六氏ノ在職中新築シタルモノナリ其他市内ニ官衙諸會社及ヒ公私立ノ諸學校頗ル多シ今其重ナルモノヲ舉クニハ即左ノ如シ

名稱
岡山市地方裁判所
岡山市郵便電信局
岡山市役所
岡山市監獄署
第三高等學校醫學部
岡山縣尋常師範學校
岡山縣尋常中學校
兵庫縣立測候所
農商會社
岡山縣立測候所
岡山縣立測候所
關西土木會社

所在地
弓之町
下之町
中之町
東中山下
二日市
内山下
西中山下
西中山下
西中山下
大雲寺町
船着町
西中山下
天瀬

名稱
備前商社
關西尋常中學校
岡山縣警察署
岡山縣監獄拘留監
岡山縣隊區司令部
第二十二國立銀行
加島倉庫會社
旭日會社
岡山製糸會社
岡山精米會社
岡山電燈會社

所在地
橋本町
野田屋敷
門田屋敷
網濱
榮町
弓之町
西中山下
船着町
片瀬町
西中山下
西中山下
內山下
內山下

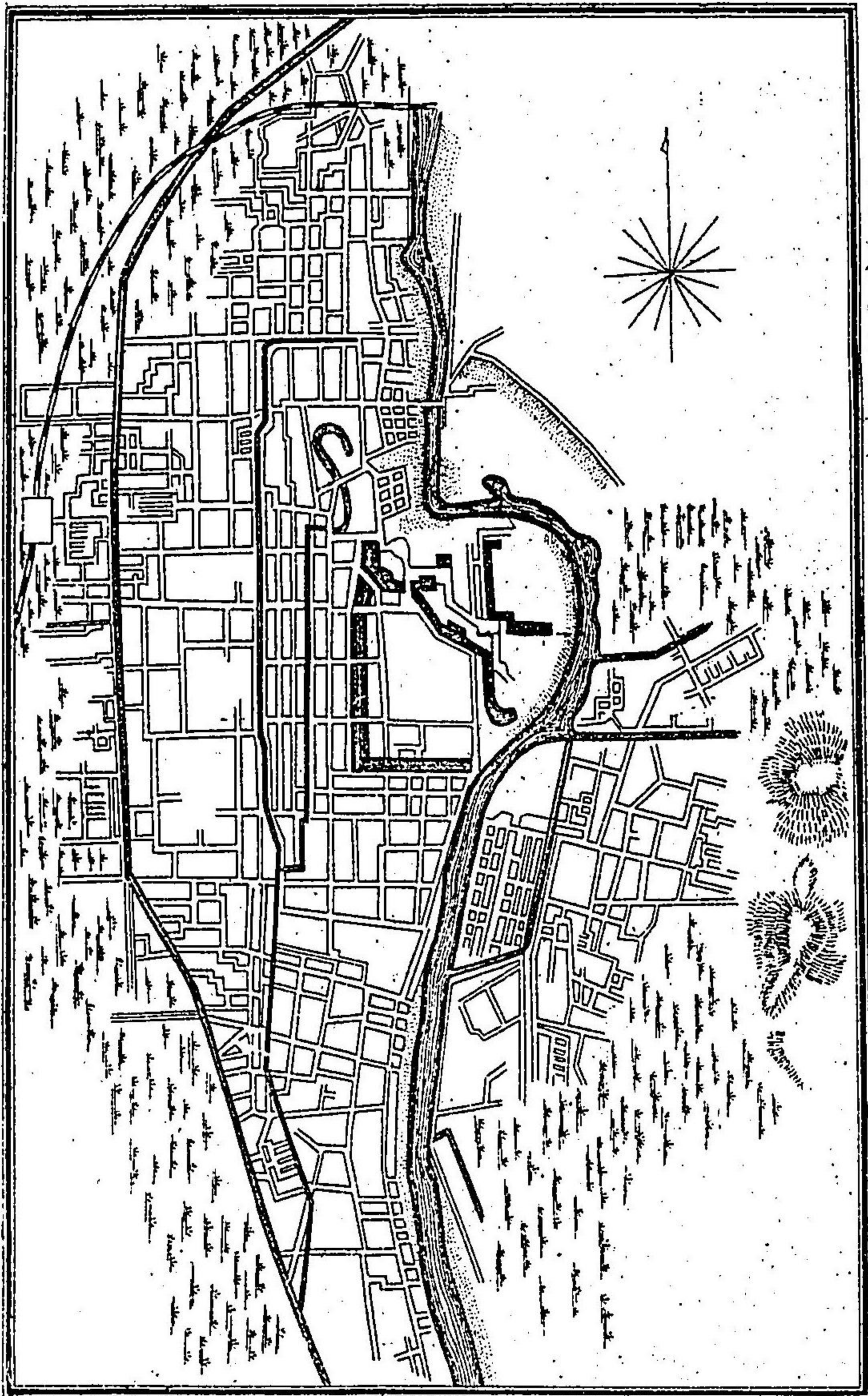
(ロ)沿革

岡山ハ池田氏三十萬石ノ舊城下ニシテ城趾今尙市ノ東部ニアリ僅ニ天主閣ヲ存スルノミ始天文弘治ノ際金光宗高ナルモノ茲ニ居リシカ天正ノ頃宇喜多直家コレヲ滅シ其後大ニ城廓ヲ改築シ備前備中及ヒ美作ノ三國ヲ領セシモ其後秀家關原ノ戦ニ敗レテ封土ヲ失ヒ小早川秀秋徳川氏ノ封ヲ受ケテ茲ニ治シ卒シテ子ナク國除カレ慶長八年池田忠繼コレニ代リ光仲ニ至リテ因幡ニ徙リ池田光政コレニ代リ後其ノ子孫相受ケテ慶政ニ至リ以テ明治維新ニ至ル其後廢城ニ歸スルニ至レリ

市内公園二ヶ所アリ一ヲ後樂園ト云ヒ一ヲ亞公園ト云フ又市ノ東郊上道郡三權村操山ノ麓ニ東山公園アリ以テ市人ノ遊覽ニ便ニス中ニ就テ後樂園最モ著ハル

(ハ)公園

後樂園ハ旭川ヲ隔テ、岡山市ノ東北ニ位シ古京町ニ属ス面積二萬七千十三坪周圍九百三十二間四面塙ヲ以テコレヲ繞ラシ園中池沼ヲ鑿ツモノ四、澤池、花葉池、花交池、廉池、是ナリ其水ハ朝日川上流ヨリ溝渠(所謂ル公園用水)



岡山市街之圖

義若準描

ヲ通シテコレヲ導キ迂回縈曲或ハ溪澗トナリ或ハ池沼トナリ其終リ又朝
日川ニ落ツ水流ニハ石橋或ハ圮橋ヲ架シ以テ徑路ヲ通ズ徑路亦縱橫交錯
シテ往來轉便利ナリ園ノ東南土地高崇ニシテ雜樹鬱葱タルモノコレヲ唯
心山ト云フ一目以テ園中ノ勝概ヲ盡スベシ唯心山ノ東滿地皆楓樹ナリ晚
秋ノ候紅葉繁トシテ錦繡ノ如シコレヲ二色岡トナス園ノ北方ハ松林森茂
ノ陰影晝暗ク頗ル深山ノ趣キアリ中央ハ平衍廣敞ニシテ大厦長屋其西ニ
連ルコレヲ延養亭トナス近年新ニ修營ヲ加ヘ結構頗ル壯麗ナリ以テ縣會
議事堂ニ充ツ其ノ位置東南ニ面シ眺望最モ廣ク近ク鳥城ノ城閣ヲ眺メ遠
ク東山ノ雲烟ヲ望ムベシ其他流店ノ水花交ノ瀑布等千入ノ紅葉境澤ノ蓮
常盤ノ松等其ノ風致ノ愛スヘキモノ極メテ多シトナス此園ハ貞享年間舊
藩主池田綱政ノ創設スル所ニシテ園元ト舊藩主ノ或ハ稼穡ノ艱難ヲ視察
シ或ハ藩士ノ武技ヲ演習シ或ハ儒臣ヲ延キテ經典ヲ講セシムルノ用ニ供
シ其他近隣ノ親藩侯伯ヲ招延接待シ且ツ諸藩ノ使節ヲ饗シタル所ニシテ

其名始メハ御茶屋敷ト稱シ後單ニ後園ト呼ヒシヲ明治四年後樂園ト更メ
尙池田侯ノ私有ニ屬セシガ明治十七年岡山縣ノ所有トナシ以テ縣下ノ公
園トナスニ至レリ明治十六年 聖上ノ岡山ニ幸セラルハ鳳輦ヲ園中
ニ駐メ玉ヒ玉座ヲ延養亭ニ設ケサセ玉ヒ親シク園内ヲ天覽アラセラレタ
リ爾來名聲四方ニ喧傳シテ日夕市人ノ遊賞スルモノ常ニ踵ヲ絶タザルノ
ミナラズ苟モ足中國ノ雲ヲ蹈ムモノ必スコレヲ訪ハサルハナシ世ニ此園
ヲ水戸ノ偕樂園金澤ノ兼六園ト並ベ稱シテ本邦ノ三名園トナス蓋シ其名
ニ背カスト云フベシ

亞公園ハ岡山弓之町天神山ニアリ明治十五年ノ新設ニシテ面積一千四百
四十五坪中ニ七層樓アリコレヲ集成閣ト云フ明治廿四年十月二日ヲ以テ
王ヲ起シ翌年三月二十日ヲ以テ竣ハル高八十尺亭榭環列シ樓其中ニ聳立
ス遠ク兒島ノ灣頭ヲ望ミ近ク全市ノ勝概ヲ盡スベシ
偕樂園ハ一ニ東山公園ト云フ上道郡三權村ニアリ園内ニ招魂社アリ明治

十年西南陣亡諸士ノ忠魂ヲ吊慰ス此地市街ノ東端ニ空起シ頗ル眺望ニ富
メリ

(ニ)物産

岡山著名ノ物産ハ紋絨熊野染調布黃薇團子玉川銘酒牛肉罐詰等ニシテ正
阿彌ノ金屬鑲鑄等ハ美術品トシテ最モ有名ナルモノナリ

二、金川

金川村ハ岡山ヲ北ニ距ル四里三十町宇甘川ノ朝日河ニ合流スル所ニアリ
テ津高郡ノ中央東部ニアリ此地ハ備作交通ノ要路ニ當リ郡中第一繁華ノ
地ナリ津高郡役所警察署岡山區裁判所出張所郵便局等アリ

三、福渡

福渡ハ金川ヲ距ル三里誕生寺川ノ朝日川ニ合流スル十餘町ノ左岸ニアリ
此地ハ因幡街道ト伯耆街道トノ會合點ニアリテ久米南條郡中繁華ノ名邑
ナリ

四、弓削

弓削ハ福渡ヨリ朝日川ヲ離レテ北ニ距ルユト三里誕生寺川ノ左岸ニアリ
此地ニ久米南條久米北條郡役所津山區裁判所出張所警察署郵便局等ア
リ此地ハ旭川ヨリ津山ニ出ツル要路ニシテ郡中第一繁華ノ處ナリトス物

五、落合

産ノ著名ナルモノニハ燒酎アリ
落合ハ眞島郡ノ南部ニアリ福渡ヨリ旭川ニ沿フテ溯ルユト八里備中川ノ
朝日川ニ會流スル所ニアリ伯耆街道ノ一驛ナリ大庭眞島ノ地方ヨリ岡山
ニ出ヅルモノ此地ヨリ飛船ニ乘リテ朝日川ヲ下ルノ便アリ

六、久世

久世ハ大庭郡ノ南部ニアリ落合ノ北二里旭川ノ左岸ニアリ此地山陰街道
ノ要路ニ當リ市況稍盛ナリ信友會社久世製絲場等ノ製絲會社大田松田及
中川等ノ煙草製造場アリ

七、勝山

勝山ハ舊ト高田ト稱ス眞島郡ノ東南部ニアリ久世ヲ距ル一里餘高田川ノ
左岸ニアリ戸數三百八十人口二千三百二十一人此地亦山陰街道ノ要路ニ
當リ人家稠密ニシテ郡中第一繁華ノ地ナリ大庭眞島郡役所。勝山區裁判
所。警察署。郵便局等アリ高田硯煙草及晒葛ハ此地ノ名産トス

(イ)沿革

此地ハ明和以降三浦氏二萬三千石ノ治處ニシテ城趾今尙邑ノ北部ニアリ
原ト大総山城ト稱シ三浦氏十三世茲ニ居ル三浦氏亡ヒテ後毛利氏ノ有ニ

八、美甘

歸シ其臣樽崎元忠ヲシテ茲ニ居ラシム幾モナクシテ宇喜多氏ノ備作二州
ヲ併スニ及ヒテ三浦氏ノ舊臣ヲ召シテ此ノ地ニ居ラシム宇喜多氏亡ビ小
早川氏ノ有ニ歸シ其臣服部某等ユレテ守レリ幾ナラスシテ小早氏國除セ
ラル、ニ及ビ森氏ノ有ニ歸シ其臣大塚某此ニ居リ五世ヲ傳ヘテ明和元年
ニ至リ三浦明次封ヲ此ニ移シ爾後九世ニシテ明治維新ニ至レリ
美甘ハ眞島郡ノ中央西北部ニアリ勝山ヨリ神代川ニ沿フテ溯ルユト三里
ノ處ニアリ山陰街道ノ一小驛ナリ

九、新庄

新庄ハ美甘ヲ距ル二里人口一千九百十五アリ亦山陰街道ノ一驛ナリ

一〇、湯本

湯本ハ大庭郡ノ中央朝日川ノ左岸ニアリ伯耆街道ノ一驛ニシテ勝山區裁
判所出張所アリ此地温泉湧出シ夏時浴客ノ來遊スルモノ多シ此地山ヲ擁
シ水ニ臨ミ頗ル風致ニ富ム奥田子章カ此村ノ風景ヲ咏ズルノ詩ニ曰ハク
澗水悲鳴澗月孤。秋風夕浴氣將蘇。令此地無神井。綠樹青山可病軀ト實ニ
此ノ村ノ實況ヲ盡スト云フベシ

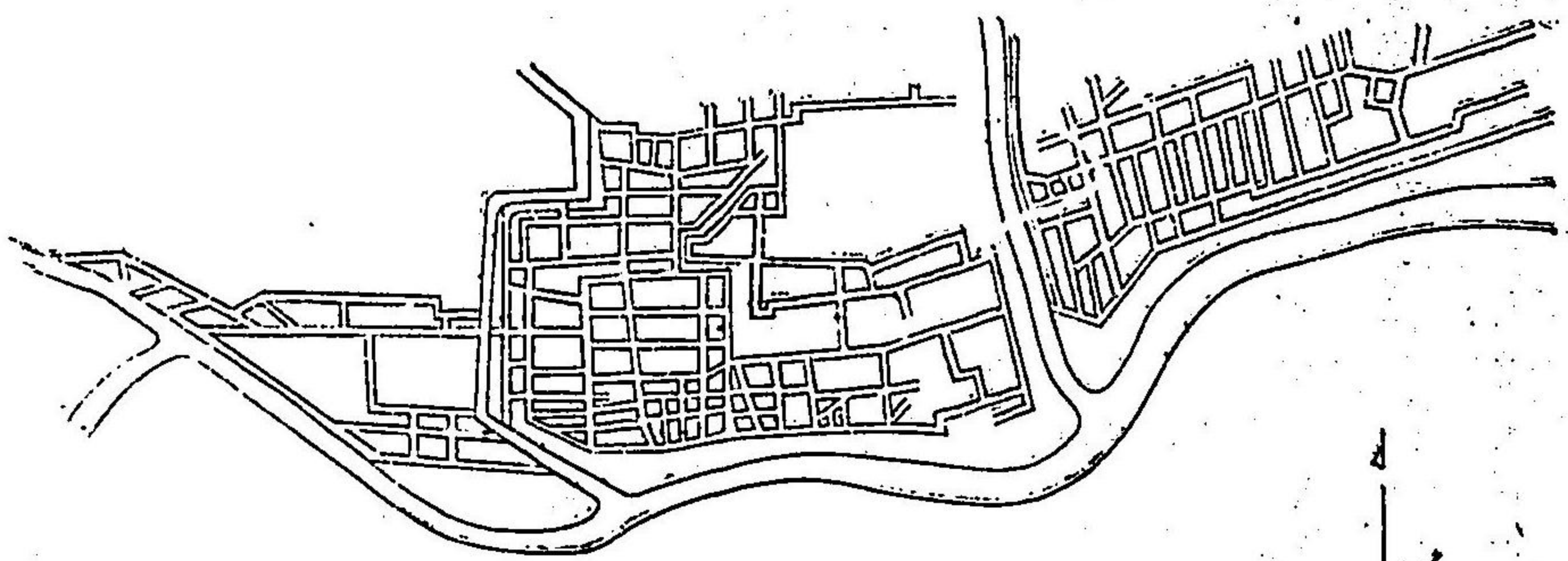
第二節 吉井河領ノ都邑

一、津山町

津山町ハ西々條郡ノ東南隔ニアリテ津山川ノ左岸ニアリ東經百三十四度一分北緯三十五度四分ニ位ス町數三十六山下北町、田町、椿高下、城代町、村木町、伏見町、京町、河原町、堺町、船頭町、小性町、吹屋町、二階町、元魚町、二丁目、三丁目、新職人町、新魚町、桶屋町、南新座、戸川町、福渡町、美濃職人、下紺屋町、鍛冶町、細工町、上紺屋町、坪井町、宮脇町、西今町、鐵砲町、西寺町、茅町、安岡町、新茅町ナ有シ戸數二千四百餘人口一萬二千三百五十アリ宮川ハ市街ノ東端ヲ流レテ東南條郡ノ津山東町ト自ラ一條ノ境ヲ劃セリ此地ハ美作東部凡五十方里内ニアル大小諸川ノ集合スル所ニシテ南ハ舟運ノ便内海ニ通スルノミナラス凡因伯二州ニ産スル貨物ニシテ吉井川ノ水利ニアルモノハ大率津山町ニ輻湊シ來ルヲ以テ商業ノ繁盛ナル縣下第二ノ都會ナリ津山區裁判所東南條東北條西北條郡役所岡山縣監獄支署郵便及電信分局津山銀行鑄物製造所等アリ此地ハ松平氏十萬石ノ城下ニシテ城趾今尙市街ノ北部ニアリ西南ハ老松林ヲナシ北麓ハ竹林濠ヲ蔽ヒ東ハ懸崖數仞宮川ノ小流ニ臨ミ眺望最モ秀

(イ)沿革

津山町之圖



磯石準描

絶ナリ戦國ノ頃山名忠政始メテ城ヲ此ニ築ク後慶長中ニ至リ森忠政徳川氏ノ封ヲ受ケ山名氏ノ舊壘ニ據リ此ノ城ヲ築キ傳ヘテ長成ニ至リ嗣ナクシテ國除セラレ元録十一年松平宣福ユレニ代リ以テ維新ノ始ニ至ル

二、津山東町

津山東町ハ東南條郡ノ西南隅ニアリテ津山河ノ左岸ニアリ宮川ヲ隔テ、津山町ト殆ト連簷ノ市街ヲナス町數七上之町橋本町林田町勝間田町中之町西新町東新町有シ戸數七百餘人口三千六百餘アリ此ノ地津山町ト同シク水陸交通ノ要路ニ當リ商業亦盛ナリ

(ロ)公園

津山町ニ一ノ公園アリ衆樂園トイフ藩政ノ時松平氏ノ庭園ナリシヲ後市ノ所属トナセシモノナリ往時ハ其規模宏壯ナリシモ今ハ頗ル縮少シテ僅ニ其ノ十カ一ヲ存スルニ過キス

(ハ)物産

三、二ノ宮

津山ノ名産ハ雲齋織足袋初雪宮川漬等トス
二ノ宮ハ津山町ヲ西ニ距ル十八町津山川ノ左岸ニアリ人口千三百九十八
此地山陰街道ノ一驛ニシテ是ヨリ津山ニ至ル直道十數町ノ間青松道ヲ夾

ミテ平坦塔ノ如シユンチニ宮松原ト云フ此ノ地ニ高野神社ナリ地名ノ起ルユレニヨル

四、坪井

坪井ハ久米北條郡ノ北部ニアリテ津山ノ西四里ニアリ山陰街道ノ通スル所ニシテ有名ノ古驛ナリ

五、吉ヶ原

吉原ハ津山ヲ距ル六里吉井河ノ左岸ニアリ

六、周匝

周匝ハ赤坂郡ノ東北部ニアリ吉原ヲ距ル一里餘吉野川津山川ノ會合點ニアリ

七、湯郷

湯郷ハ吉野川ノ右岸ニアリ戸數百二十有名ナル鷺湯ノアル所ナリ旅店客舍相連リ郡中繁華ノ地トナス

八、倉敷

倉敷ハ英田郡ノ西境梶並川ノ吉野川ニ合流スル所ニアリ戸數四百六十人口二千七百〇四人アリ此地津山以東交通上ノ要處ニシテ吉野英田郡役所津山區裁判所出張所郵便局等アリ

九、勝間田

勝間田ハ勝南郡ノ北部ニアリテ瀧川ノ左岸ニ位ス此地ハ山陰街道ノ一驛

一〇、眞加部

ニシテ勝北勝南郡役所津山區裁判所出張所警察署郵便局等アリ眞加部ハ勝北郡ノ東部梶並川ノ右岸ニアリ郡中東部ノ名邑ナリ

一一、土居

土居ハ吉野郡ノ東部勝間田ノ東凡四里ニアリ山陰街道ノ一驛ナリ

一二、上小原

上小原ハ一ニ古町ト稱ス吉野郡ノ中央ニアリ因幡街道ノ一驛ニシテ郡中第一繁華ノ地トス

十三、和氣

和氣ハ和氣郡ノ北部吉井川ノ左岸ニアリ津山ヨリ舟運ノ便ヲ借リテ吉井河ヲ下ル所ノ旅客及貨物ハ大抵此ノ處ヨリ氣車ニ轉乘スルカ故ニ運輸交通上最モ要樞ノ地ナリトス

十四、三石

三石ハ和氣郡ノ東部ニアリ金剛川ニ沿フテ上ルコト三里山陽道ノ一驛ナリ大坂石筆會社出張所三石煉化會社等アリ此地ニ産スル蠟石ハ三石蠟石ト稱シテ世ニ著名ナルモノナリ

十五、澤原

澤原ハ磐梨郡ノ中央小野田川ノ左岸ニアリ舊ト磐梨郡役所ノアリシ所ナリ

十六、町蒨田
及輕部

町蒨田及輕部ハ赤坂郡ノ中央ニアリ郡中小繁華ノ地ナリ而シテ輕部ニハ赤坂磐梨郡役所及郵便局等アリ

十七、西大寺

西大寺ハ上道郡ノ南部ニアリ吉井川ノ右岸ニ位ス人口三千三百四十三アリ兒島灣ヲ距ル凡一里餘此地四邊豐饒ナル平野ヲ有シ西ハ岡山ニ通シ南ハ九幡港ニ近ク運輸交通最便利ニシテ商業頗ル盛ニ毎歲輸出入ノ額七十萬圓ニ超ユト云フ此地邑久上道郡役所岡山區裁判所出張所警察署郵便局電信分局其他西大寺精米會社西大寺銀行倉庫會社等アリ

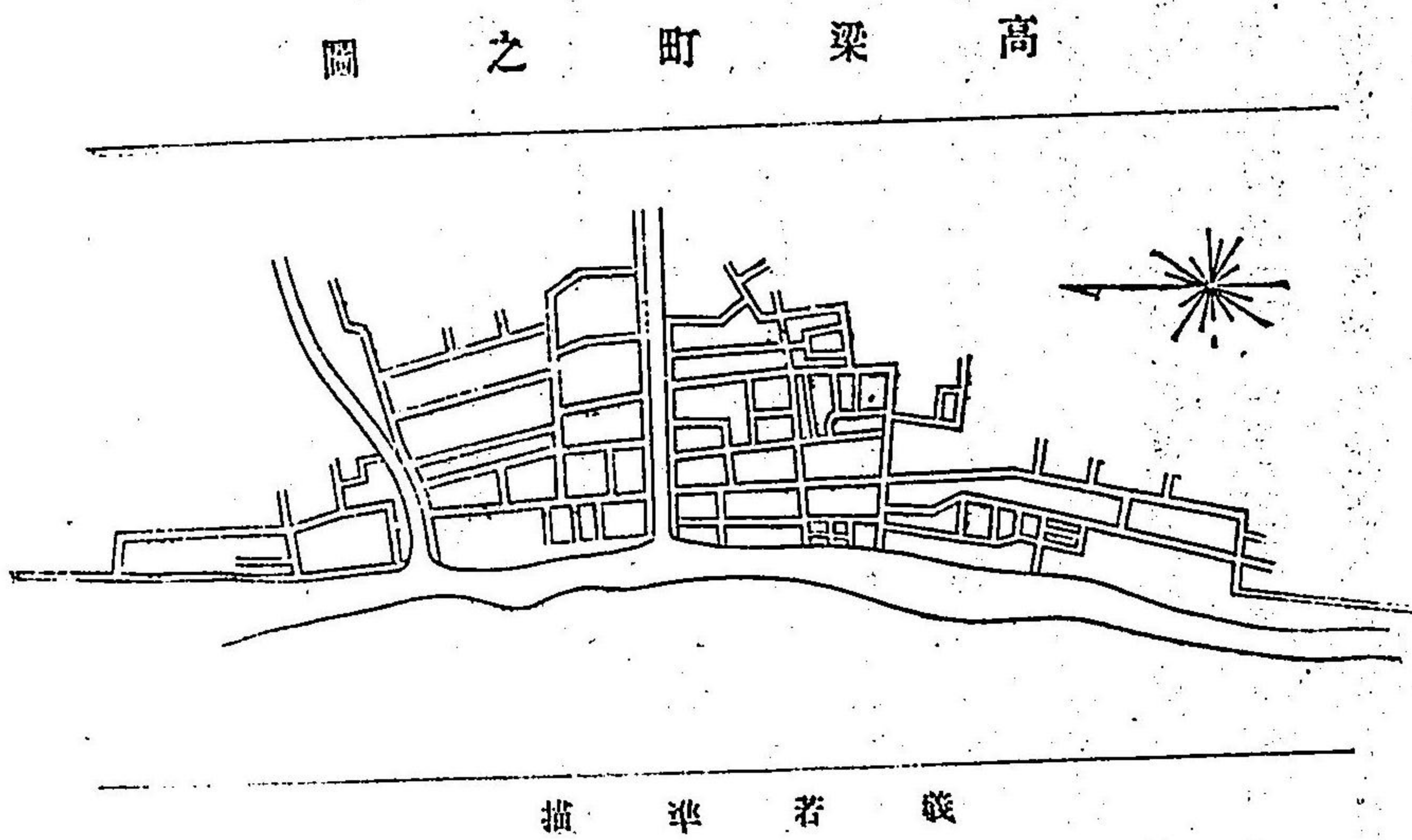
十八、金岡

金岡ハ西大寺ノ南ニアリ西大寺ト相接ス殆連簷ノ市街ヲナス人口一千六百四十アリ商業上樞要ナル地位ヲ占ムルコトハ亦西大寺ニ同シ

第三節 高梁河傾ノ都邑

一、高梁町

高梁町ハ上房郡ノ西南高梁川ノ左岸ニアリ東經百三十三度三十八分北緯三十四度四十八分ニ位ス町數二十五内山下川端町本町新町片原町中之町頼久寺町石火矢町御前町小高下伊賀町寺町向町間之町甲賀町八幡町荒神町柿木町大工アリ地勢山ニ沿ヒ川ニ枕ミ市街東西町下町南町鍛冶町中間町弓之町鍛冶町



高梁町之圖

鐵若準描

ニ狹ミ南北ニ長シ土地狹隘ナルモ運輸便利ニシテ實ニ山間ノ一都會タリ
戸數一千二百人口五千七百餘アリ上房川上郡役所高梁區裁判所警察署其
他塞子製造所共立社等アリ此地舊ト松山ト稱セシモ明治廢藩ノ後今ノ名
ニ改メシト云フ

(イ)沿革

此地ハ板倉氏五萬石ノ城下ニシテ市街ノ北端臥牛山ニ今尙其ノ城趾アリ
仁治年間秋庭重信ナルモノ始メテ城ヲ此ノ地ニ築キ子孫五世相繼テ此ノ城
ニ居リ元弘元年ニ至リ高橋宗康ナルモノ此ノ地方ノ守護トナリ秋庭氏
ニ代リテ此ノ城ニ居ル文和年間高師秀州ノ守護トナリ高橋氏ニ代リテ亦
此ノ城ニ居リシモ正平中秋庭重明ナルモノ南朝ニ應シ師秀ヲ追ヒテ自ラ
守護代トナリ亦此ノ城ニ據ル永正六年上野信孝秋庭氏ヲ逐フテ代リテ此
ノ城ニ居リ其子頼久ノ時ニ至リ天文二年莊爲資ノタメニ滅サル爲資亦此
ノ城ニ居リシガ其ノ子高資ノ時ニ至リ永錄三年三村家親ノ滅ス所トナル
家親亦此ノ城ニ居リ其子元親ノ時ニ至リ天正二年毛利氏ノタメニ滅サレ

其ノ城邑悉ク毛利氏ノ有ニ歸ス幾モナクシテ宇喜多氏ノ有ニ歸シ宇喜多

氏亡ヒテ小早川氏ノ有ニ歸シ小早川氏滅ヒテ其後小堀氏元和元年小堀政次此地ニ封セラレ其子一

政ニ至ルマ池田氏元和六年池田長幸茲ニ居城シ六萬石ヲ食ミ水谷氏寛永十六年水谷勝隆常

テ居城ス勝賢ニ至リ嗣ナクシテ國除セラル安藤氏元禄八年安藤重傳上野ヨリ移リテ茲ニ居城シ六石

シ七萬石ヲ食ミシガ其子勝宗其孫川氏正徳元年石川總慶山城ヨリ移リテ茲ニ居城シ延享元年ニ至リ伊勢ニ轉ズ

勝賢ニ至リ嗣ナクシテ國除セラル五諸侯相尋テ茲ニ居城シ延享元年ニ

至リ板倉勝澄ユレニ代リ爾來子孫相受ケテ明治維新ニ至レリ

新見ハ阿賀郡ノ西南部ニアリ高梁町ヨリ高梁川ニ沿フテ上ルコト九里熊

谷川ノ左岸ニアリ人口凡三千九百此地ハ備中北部交通ノ要地ニシテ關氏

一萬八千石ノ治處タリシ所ナリ阿賀哲多郡役所新見區裁判所警察署郵便

局等アリ

小坂部ハ小坂部川ノ右岸ニアリ新見區裁判所出張所郵便局等アリ

下原ハ川上郡ノ東部高梁町ノ西二里餘成羽川ノ右岸ニアリ戸數四百人口

一千九百餘アリ地勢南ニ鶴首山ヲ負ヒ北ニ成羽川ヲ帶ヒ南北ニ狹ク東西

二、新見

三、小坂部

四、下原

(イ)沿革

ニ長シ郡中第一繁華ノ地ニシテ吹屋ノ製銅撈加拉ノ如キ皆此地ヲ經由シ

テ玉島ニ輸出セリ高梁區裁判所出張所兵庫大林區派出所郵便局等アリ

此地ハ山崎氏一萬石ノ治處ニシテ其居趾ハ今尙成羽村ノ中央ニアリ元和

三年山崎家治ナルモノ茲ニ居リ寛永十六年水谷勝隆ユレニ代リ後幕府ノ

直轄トナリ代官小川藤右衛門ユレテ領シ萬治元年山崎豐治茲ニ封セラレ

爾來十三世茲ニ治ス明治四年成羽縣ヲ茲ニ置ク八年ユレテ廢シ小田縣ニ

合セリ

此地ニ産スルモノハ酒醬油茶繭下駄刻煙草撈加拉等アリ

吹屋ハ川上郡ノ北境成羽ヲ距ル三里餘ノ處ニアリ地勢高爽海面ヲ拔ク殆

五百尺ノ所ニアリ戸數三百人口千貳百アリ此地ノ名産ニハ撈加拉銅醬油

等アリ

美袋ハ賀陽郡ノ西北部高梁川ノ左岸ニアリ高梁街道ノ通スル一小邑ナリ

總社ハ郡ノ西南部ニアリ直税及間税兩分署郵便局アリ

(ロ)物産

五、吹屋

六、美袋

七、總社

八、眞金

眞金ハ賀陽郡ノ東南部ニアリ戸數四百七十五人口二千五百十一アリ岡山驛ヲ距ルニ里二十三町アリ此地舊ト板倉ト稱シ山陽國道ノ一驛ナリ

九、足守

足守ハ賀陽郡ノ中央東部ニ位シ足守川ノ上流ニアリ人家足守川ヲ夾ミテ相接シ東ニハ突兀タル鍛冶山アリ西ニハ鬱葱タル宮地山アリ此地舊木下氏一萬五千石ノ治處ニシテ郵便局アリ

十、倉敷

倉敷町ハ窪屋郡ノ南部ニアリ東經百三十三度四十六分北緯三十四度三十六分ニ位ス戸數千六百八十八人口七千七百〇六アリ北ニ鶴形山ノ公園アリテ市人ノ遊賞ニ便ニシ南ニ潮川アリテ物貨ノ運送ニ利ス此地往時幕府ノ直轄ニ屬シ代官所ヲ置キテユレテ治メシモ維新ノ後縣廳ヲ此ノ地ニ置キシモ幾モナクシテユレテ廢セリ都宇窪屋郡役所倉敷警察署收稅部出張所郵便局倉敷精米會社倉敷紡績會社倉敷煙草會社倉敷銀行等アリ此地ノ產物ハ紡績絲精米紙茶麥藁帽刻煙草等アリ
撫川ハ都宇郡ノ東端ニアリテ足守川ノ左岸ニアリ戸數四百六十人口二十

十一、撫川

二百アリ警察署岡山區裁判所出張所郵便局三友社製蕪社等アリ此地ニ産スルモノニハ有名ナル撫川團扇アリ

十二、庭瀬

庭瀬ハ賀陽郡ノ東南端ニアリ撫川ト相接シテ連簷ノ一市街ヲナス此地ハ板倉氏一萬石ノ治所ニシテ撫川精米會社アリ

十三、早島

早島ハ都宇郡ノ中央南部ニアリ戸數九百九十餘人口三千六百餘アリ此地疊表錦蕪等ノ製造盛ナリ

十四、妹尾

妹尾ハ都宇郡ノ東南部ニアリ戸數千五百五十人口四千五百十九アリ四國街道ノ一驛ニシテ商業繁盛ナリ此地ノ產物ニハ疊表錦蕪ノ製造盛ナリ其他鰻牡蠣伏老モ亦此地ノ名産トス

十五、岡田

岡田ハ下道郡ノ東部高梁川ヲ距ル里許ノ處ニアリ此地ハ伊東氏一萬三百石ノ治所ニシテ下道郡役所郵便局等アリ

十六、矢掛

矢掛ハ小田郡ノ中央北部ニアリ山陽國道ノ一驛ナリ戸數九百五十二人口四千三百七十九アリ市街東西ニ長ク南北ニ短シ前ハ小田川ニ枕ミ後ハ雄

十七、井原

倉山ヲ負ヒ頗ル風景ニ富メリ往時ハ商業盛ナリシモ近年ニ至リ漸ク衰微ノ兆候ヲ呈セリ笠岡警察分署小林區署等アリ柚餅子ヲ此地ノ名産トナス井原ハ後月郡ノ中央ニアリ小田川其ノ東北ヲ環流シ西南ニ横手山屹立シ東南ノ地平坦ニシテ田圃遠ク連レリ市街東西ニ長ク南北ニ狹シ戸數八百人口四千十一人アリ此地東西交通ノ要路ニ當リ郡中第一繁盛ノ處ナリ笠岡警察分署金穀貸附會社藍玉製造會社等アリ綿刻煙草藍玉ヲ此地ノ名産トス

十八、高山

高山ハ後月郡ノ極北ニアリテ川上郡ニ接ス山間ノ一小驛ナリトイヘドモ交通ノ要路ニ當リ商業稍盛ナリトス

第四節 沿海ノ都邑

一、笠岡

笠岡ハ小田郡ノ南部ニアリ東經百三十三度三十一分北緯三十四度三十一分ニ位ス戸數千八百四十六人口八千五百餘アリ市街東西ニ長ク南北ニ狹シ港ハ市街ノ東西兩端ヨリ灣入シ東西百二十間南北二百二十間港内水淺

二、寄島

ク大船ノ泊舟ニ便ナラズ潮落ツレバ全底ヲ露出シ潮滿ツルモ深一丈ヲ超エス舟泊ノ便ハ北風ニ惡シク西風ニ宜シ然レドモ地勢備中ノ南部ニ位シ交通上ノ要路ニ當ルカ故ニ商業頗ル盛ナリ小田郡役所笠岡警察署玉島區裁判所出張所笠岡郵便局明十銀行恒心社吉備土木會社笠岡倉庫會社等アリ此地ノ物産ニ著名ナルモノハ生糸理化學器械動物剝製品等アリ

三、玉島

寄島ハ淺口郡ノ西南沿岸ニアル一小邑ナル人口五千五百〇二同名ノ港アリテ南ニ向ツテ開ク深九尺小船ノ繫泊ニ便ナリ玉島ハ備中淺口郡東南部ノ海岸ニアリ玉島トハ玉島阿賀崎乙島柏崎ノ四村ヲ總稱シタルモノニシテ四村ノ人家軒ヲ連ヌルモ政治上各經濟ヲ異ニシ港口ハ正南ニ向ヒ東西ノ濱岸遠ク海上ニ突出シ左右相對シテ港頭ヲ形成ス東西三町南北十五町備中第一ノ要港ナレドモ水淺クシテ大船巨舶ノ停泊ニ便ナラズ淺口郡役所玉島區裁判所警察署郵便局電信局玉島紡績所玉島精米所共益社榮盛會社廿二國立銀行支店畿江銀行有信銀行等アリ

輸入ノ重ナルモノハ肥料ニシテ其ノ量五十萬俵ニ及ビ輸出ハ鐵銅米煙草等ヲ主ナルモノトス

四、呼松

呼松ハ兒島郡ノ西濱ニアリテ水島灘ニ面セル一小邑ニシテ兒島郡西部沿岸中稍繁華ノ地トナス

五、下津井吹
上田之浦

下津井ハ兒島郡ノ西南角ニアリテ四國街道ノ盡クル所ナリ港口東南ニ向ヒ東西五町南北一町山陽南海交通ノ要津ニシタル泊舟ニ便ナリ吹上及田之浦ハ其東ニアリシ共ニ海岸ニ沿ヘル小繁華ノ地ナリ

六、味野及下
村

味野ハ兒島郡ノ西南ニアリ四國街道ニ沿ヘル繁盛ノ所ナリ人口一千九百六十八郡役所區裁判所出張所郵便局等アリ食塩製造ノ盛ナル所ニシテ多ク長崎新潟ニ輸出ス東ニ隣レル下村モ亦泊舟ノ便アル地ニシテ此地ニ下村紡績所アリ

田口ハ兒島郡南部ノ良港ニシテ兒島縣道ノ盡クル處ニアリ小倉織眞田織ヲ此地ノ名産トス

八、日比

日比モ亦兒島郡ノ南部ノ要港ニシテ田ノ口ノ東ニアリ港口東南ニ向ヒ東西六町南北八町頗ル泊舟ニ便ナリ

九、胸上

胸上ハ兒島郡ノ東南ニアリ沿海小繁華ノ地ナリ

十、小串

小串ハ兒島郡ノ東端ニアリ上道郡ノ外波鼻ト相對シテ兒島灣ノ口ヲ扼シ亦小繁華ノ地ナリ

十一、郡及八
濱

郡及八濱ハ兒島灣ニ沿ヘテ繁華ノ地ニシテ八濱ハ郵便局區裁判所出張所等アリ

十二、鹿忍

鹿忍ハ邑久郡ノ東南ニアル小繁華ノ地ニシテ人口二千六百二十一アリ

十三、牛窓

牛窓ハ邑久郡ノ東南ニアリ戸數八百人口三千九百二十四アリ備前第一ノ良港ニシテ港口ハ西南ニ向ヒ東西十五町南北四町餘内海ヲ航スル船舶大率此港ニ碇泊ス牛窓警察署アリ

十四、虫明

虫明ハ邑久郡東部ノ一小港ニシテ亦舟泊ニ便ナリ海鼠腸煎干ヲ此地ノ名産トス

十五、片上

片上ハ和氣郡ノ西南部片上灣頭ニアリ山陽道ノ一驛ニシテ市街灣ニ沿ヒ泊舟ニ便ナリ片上區裁判所警察署和氣郡役所等アリ

十六、日生

日生ハ和氣郡東部ノ一小港ニシテ鹿久居島其ノ前ニ横ハリ風浪ヲ避クルヲ以テ頗ル泊舟ニ便ナリトス

第三章 交通

一、道路

道路ニハ國道縣道里道及ヒ鐵道ノ四種アリ而シテ國道縣道ノ重ナルモノハ西國街道四國街道山陰街道因幡街道伯耆街道及高粱街道トナス

(イ)西國街道

西國街道。一ニ山陽街道ト云フ國道ハ播磨ノ有年驛ヨリ來リ和氣郡ニ入り三石片上香々登テ經テ邑久郡ノ北隅ヲ貫キ吉井川ヲ渡リ上道郡ニ入り藤井ヲ經テ岡山市ニ至リ旭川ヲ渡リ津高郡ヲ經テ賀陽郡ニ入り眞金ヲ過キ都宇窪屋ノ兩郡ヲ貫キ高粱川ヲ渡リ下道郡ニ入り小田川ヲ渡リ出部高屋ノ二驛ヲ經テ備後ノ神邊驛ニ通ズ道程二十六里八町アリ

縣道ハ岡山市ニ至リ御野郡ヲ經テ賀陽郡ノ南部ニ入り庭瀨ヲ經テ都宇郡

(ロ)四國街道

ニ入り撫川ヲ過キ窪屋郡ニ入り倉敷ヲ經テ東川ヲ渡リ淺口郡ニ入り西阿知ヲ經テ西川ヲ渡リ玉島ヲ經テ小田郡ニ入り笠岡ヲ過キ備後ノ大門驛ニ通ズ道程十四里アリ

四國街道ハ四國ニ通スル要路ニシテ國道ハ岡山市ヨリ起リ御野郡ヲ經テ都宇郡ニ入り妹尾ヲ過ギ兒島郡ニ入り味野ヲ經テ下津井ニ達ス道程八里十町アリ

(ハ)山陰街道

山陰街道ハ因幡伯耆ニ至ルノ要路ニシテ國道ハ播磨ノ作用驛ヨリ來リ英田郡ニ入り土居ヲ經テ吉野川梶並川ヲ渡リ勝南郡ニ入り勝間田ヲ過キ瀧川新田川加茂川ヲ渡リ東南條郡ヲ貫キ津山東町ヨリ西北條郡ニ入り津山町ヲ經テ西々條郡ニ入り二宮ヲ經テ津山川ノ上流ヲ渡リ久米北條郡ニ入り坪井ヲ經テ大庭郡ニ入り目木川ヲ渡リ久世ヲ經テ眞島郡ニ入り勝山ヲ過キ高田川ヲ渡リ美甘新庄ヲ經テ伯耆ノ板井原ニ達ス道程二十二里アリ縣道ハ岡山市ヨリ起リ御野郡ヲ經テ津高郡ニ入り金川ヲ經テ旭川ヲ渡リ

久米南條郡ニ入り福渡弓削ヲ經テ津山ニ至リ國道ニ接ス道程十五里二十
七町アリ

(ニ)因幡街道

因幡街道ハ因幡ニ至ル要路ニシテ國道ハ播磨ノ平福驛ヨリ來リ吉野郡ニ
入り古町坂根ヲ經テ因幡ノ駒歸驛ニ通ス道程五里アリ
縣道ハ岡山市ヨリ起リ御野郡ヨリ旭川ヲ渡リ(此ノ渡津ヲ幸 佐ノ渡ト云フ)赤坂郡ニ入り
町荊田周匝ヲ經テ吉井川ヲ渡リ(此ノ渡津ヲ周 匝ノ渡ト云フ)英田郡ニ入り福本倉敷ヲ經
テ吉野郡ニ入り國道ニ接ス道程二十里アリ又別路アリ東南條郡ヨリ山陰
國道ト別レ勝北郡ヲ横キリ楢關本ヲ過キ因幡ノ智頭驛ニ通ス道程十里餘
伯耆街道ハ伯耆ニ至ル要路ニシテ縣道ニ屬シ岡山市ヨリ起リ山陰街道ト
福渡ヨリ左ニ別レ誕生寺川角石川通谷川ノ下流ヲ貫キ朝日川ヲ渡リテ眞島
郡ニ入り落合ヲ經テ再ヒ朝日川ヲ渡リ大庭郡ニ入り久世ヲ過キ三坂峠ヲ
越ヘテ釘貫小川湯本下長田等ヲ經テ犬狹峠ヲ越ヘ伯耆ノ倉吉驛ニ通ス道
程三十二里十四町

(*)伯耆街道

(ハ)高梁街道

高梁街道ハ備中ノ北部ニ至ル要路ニシテ岡山ヨリ西國街道ヲ經テ賀陽郡
ニ入り眞金ニ至リ國道ト分レ總社美袋ヲ經テ上房郡ニ入り高梁川面ヲ過
キ高梁川ヲ渡リ川上郡ニ入り哲多郡ニ出テ再高梁川ヲ渡リテ阿賀郡ニ入
リ更ニ轉シテ高梁川ヲ渡リ哲多郡ニ入り石盤ヲ經テ復高梁川ヲ渡リ再阿
賀郡ニ入り新見ヲ經テ熊谷川ノ下流ヲ渡リ復哲多郡ニ入り井村ヲ過キ伯耆
ノ日野郡上石見村ニ通ス道程二十六里其他二條ノ支道アリ一チ小坂部街
道ト云ヒ一チ吹屋街道ト云フ吹屋街道ハ高梁街道ト上房郡松山村ヨリ分
レ高梁川(此ノ渡津ヲ阿 部ノ渡ト云フ)ヲ渡リ川上郡ニ入り成羽川ヲ渡リテ下原ヲ過キ再
ヒ成羽川ヲ渡リテ成羽ヲ經テ吹屋ニ達ス道程五里小坂部街道ハ上房郡津
川村ニ於テ高梁街道ト分レ多和山峠ヲ越ヘ阿賀郡ニ入り下中津井下咎部
ヲ經テ木谷ノ峻坂ヲ過キ小坂部川ヲ渡リ小坂部ニ達ス道程十里三十四町
以上ハ國道縣道ノ重ナルモノナリ其他兒島郡ノ日比田口和氣郡ノ和氣片
上上道ノ西大寺邑久郡ノ牛窓等小繁華ノ土地ヲ連絡スル縣道亦數條アリ

縣下國道縣道ノ延長里數ハ凡二百六十里ニシテ里道ノ延長里數ハ凡八千里アリ就中岡山四近ノ地ハ土地平行ニシテ村落最モ闊ケ一市九郡ニシテ全里程ノ三分ノ一ヲ占メタリ

要項	國縣道里	道合	計
備前	六〇	一、九〇〇	一、九六〇
備中	六〇	二、六〇〇	二、六六〇
美作	八〇	三、五〇〇	三、五八〇
合計	二〇〇	八、〇〇〇	八、二〇〇
附一市九郡	六〇	二、三〇〇	二、三六〇

是等ノ道路ハ大率河道ニ沿フテ設ケラレタルガ故ニ平坦ニシテ車馬ノ往來自在ナレドモ朝日高梁兩河領ヲ分

ツ所ノ分水嶺ハ頗ル高峻ニシテ殊ニ中央以北ニ至ルトキハ低處モ海面ヲ抜クコト一千尺ニ及ビ高梁街道ヨリ美作ニ通スル有漢峠ノ如キハ海拔凡一千三百八十尺ニ達シ行路極メテ峻嶮ナリ又他縣トノ境域ハ概山脉連亘回饒サルガ故ニ皆多少ノ坂路ニ據ラザルヲ得ズ播磨及ヒ備後ノ境ニハ稍交通ニ便利ナル低所アリトイヘドモ北方山陰道ノ境界ニ至リテハ所謂ル北帶山脉ノ蟠嶮スル所ニシテ最低ノ處モ二千尺ヲ超ヘ美作ノ西北伯耆ノ境

ナル香掛峠ハ海拔凡二千一百六十尺ニシテ國道ノ通ゼル四十曲峠ノ如キモ亦二千四百六十尺アリ然レドモ修繕能ク至リ山道ヲ除クノ外ハ車ノ通セザル所甚稀ナリ但其ノ道路河道ニ沿ヘル故年々洪水ノ破壞ナル所トナリ其ノ修繕或ハ新設ニ費ス所ノ金額ハ頗ル巨大ニシテ近時四ヶ年ノ平均ニヨルニ毎年新設費凡一萬七千圓修繕費凡五萬一千圓ヲ要セリ

旅客ヲ運搬スル人力車ノ數ハ備前二千一百四十八輛備中ハ一千四百八十四輛美作ハ八百五十輛ニシテ合計四千四百九十一輛アリ貨物ヲ運搬スル荷車ノ數ハ備前ハ一萬〇四百六十八輛備中ハ一萬〇六百三十五輛美作ハ四千二百七十一輛ニシテ合計二萬五千三百七十四輛アリ(明治二十七年三月三十一日現在調査)中ニ就テ美作ハ最モ少クシテ全數ノ六分一ニ過キズ是レ美作ハ山地多ク從ヒテ車ノ運搬ニ適セザルガ故ナリ馬車ノ通行ハ殆稀ナリ近年ニ至リ岡山市ト澁井トノ間ニ唯二三輛ノ往復スルヲ見ルノミ

管内各地里程一覽

備考(町村名ハ著名ナルモノハミテ掲ク)里數ハ岡山元標ヨリ起算ス

